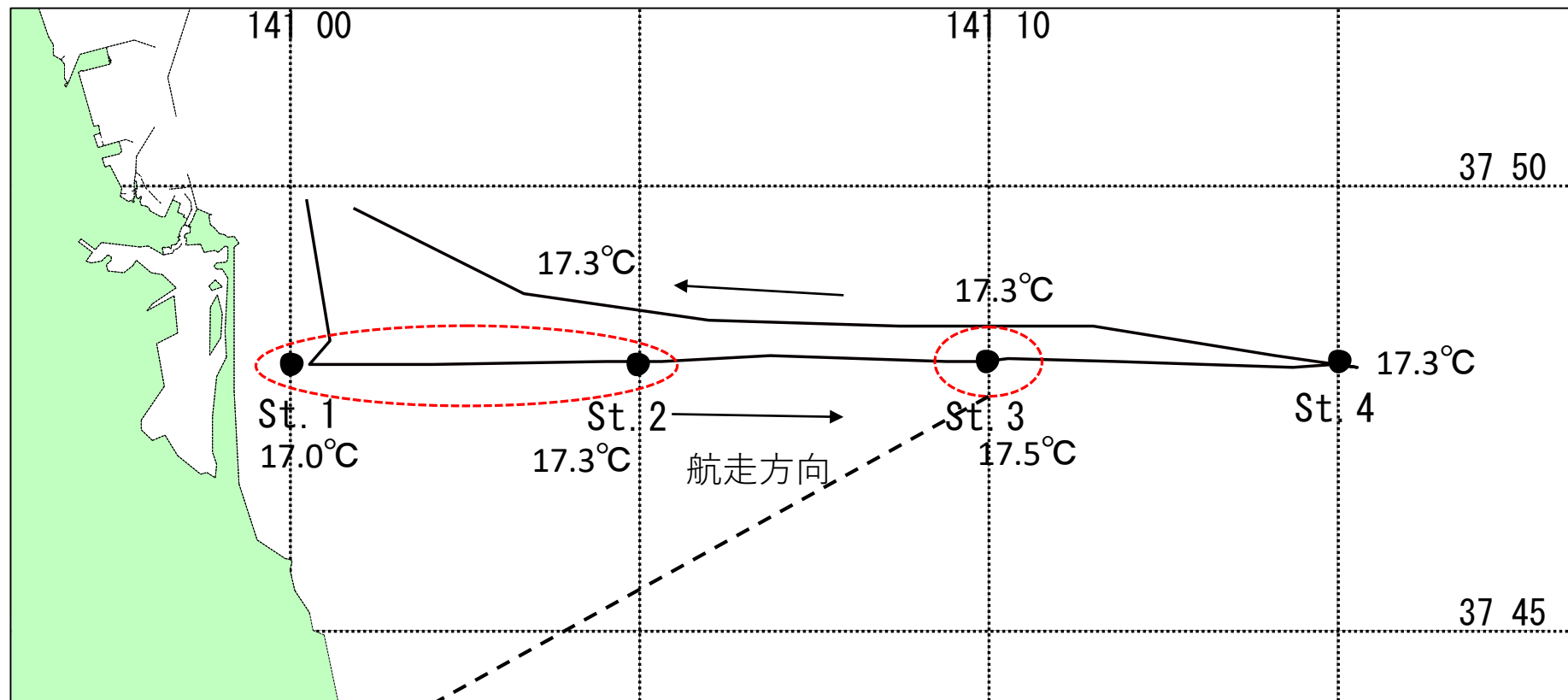
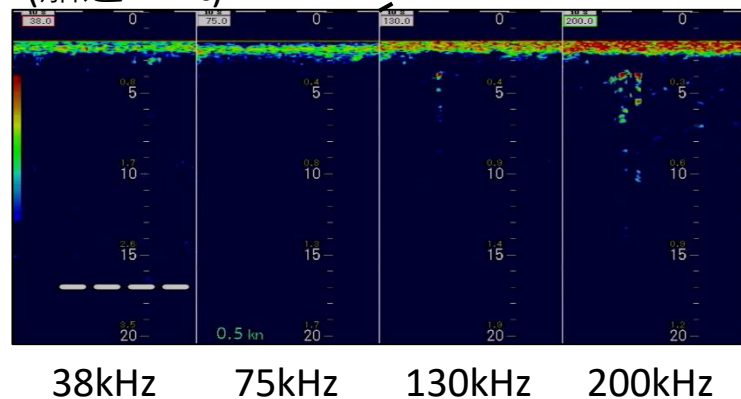


# シラス曳網調査（R5.05.23 福島県水産海洋研究センター）



(船速2.1kt)



令和5年5月19日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス採集調査（St.1～4）を実施しました。  
その際の航跡、表層水温を示します。  
**いずれの定点においても数十尾のシラスが採捕されました。St.1、2では20～30mm前後、St.3、4では10～20mm前後の大きさでした。**  
（詳細な測定結果は後日お知らせします。）  
また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。  
左図は反応の例です。

# 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 1 報)

令和 5 年 5 月 24 日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

5 月 19 日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 13m)、141-05E(水深 21m)  
141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 53m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

17.3°C~17.4°C

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 17~884 尾 (合計 1,565 尾)

今回のシラス採捕数は昨年 5 月(0~2 尾、合計 4 尾)と比較し、多いです。

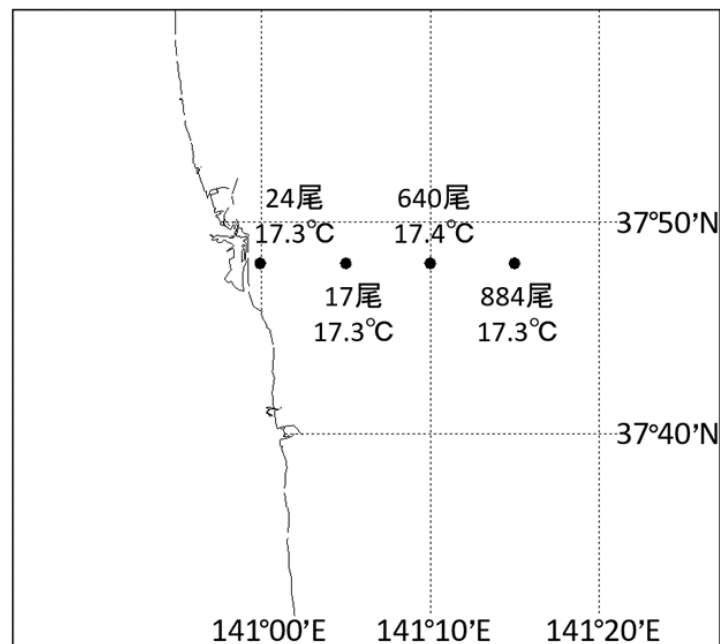


図 1 カタクチイワシシラス採捕数



(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：3.6～33.8mm(モード：10～12mm)

141-00E では全長 25mm 前後、141-05E では全長 15mm 前後、141-10E、141-15E では全長 10mm 前後にモードが確認され、沿岸に近いほど大型のシラスが採捕されました。

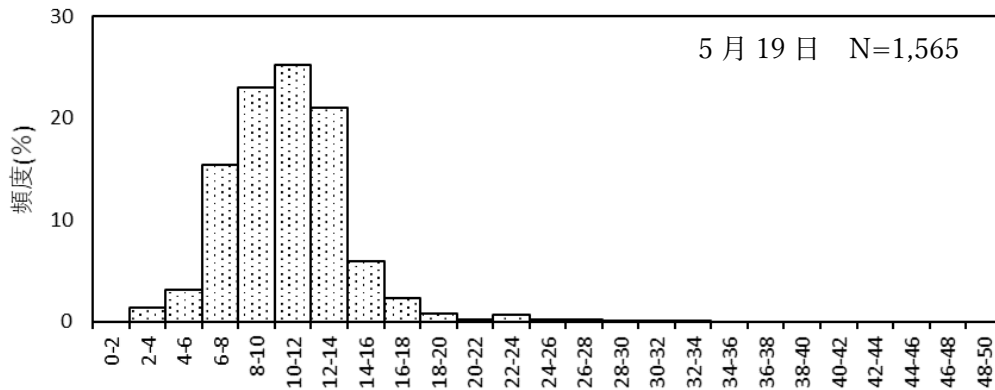


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図 3)

今回の採集数は 5 月としては平成 18 年以降で最多となりました。また、令和 4 年までに最も採集数が多かった平成 26 年の 1.8 倍の採集数となっています(図 3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。

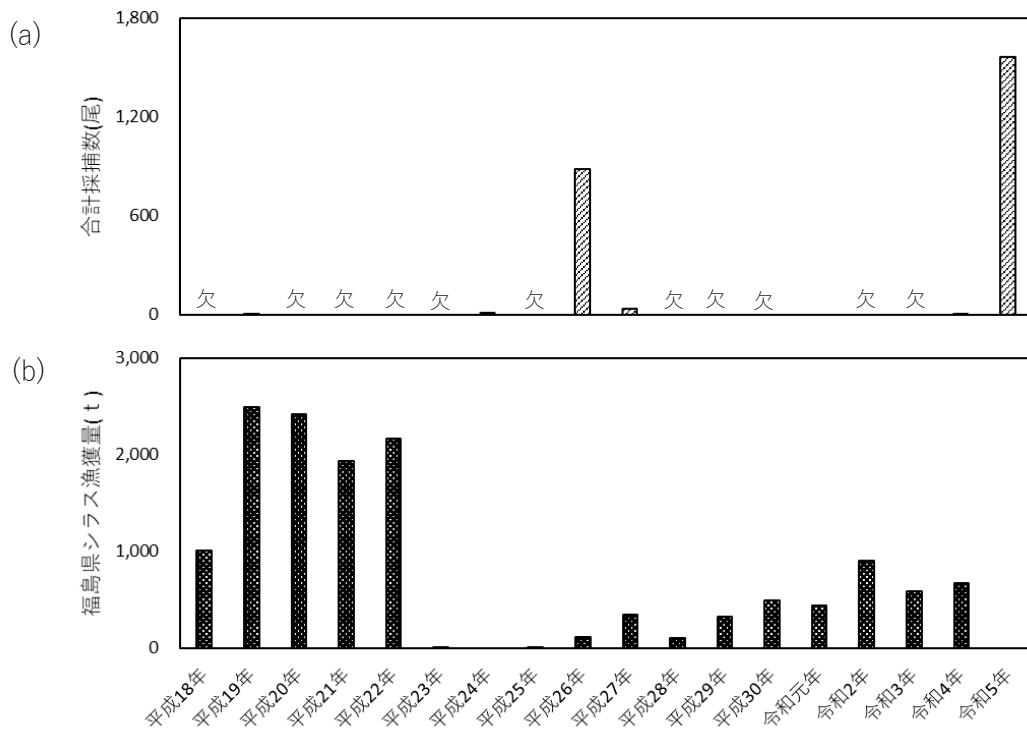
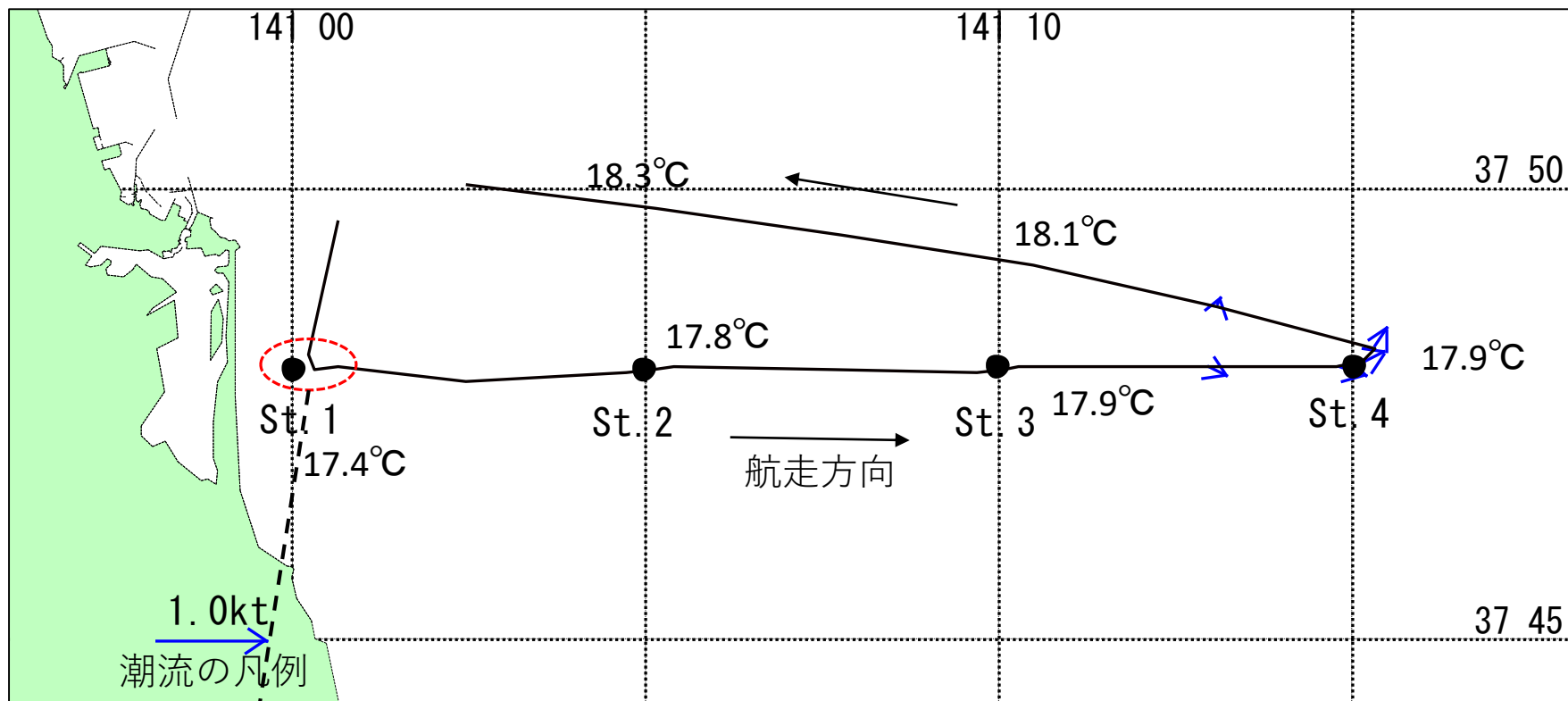
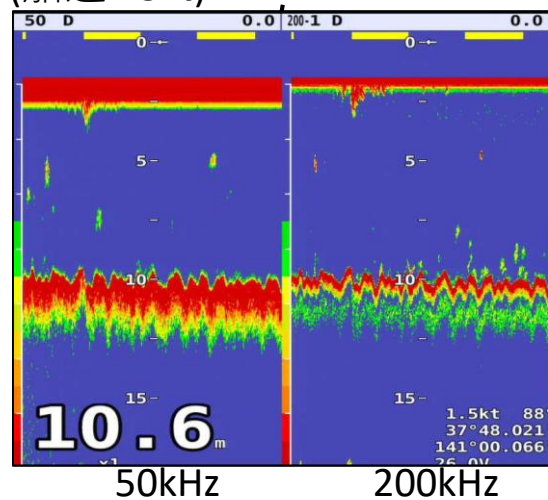


図 3 (a)相馬海域における 5 月の合計採捕数 (b)福島県の年別シラス漁獲量

# シラス曳網調査（R5.05.30 福島県水産海洋研究センター）



(船速1.5kt)



令和5年5月29日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査（St.1～4）を実施しました。

その際の航跡、潮流、表層水温を示します。

St.2～4において全長10mm程度のシラスが数十尾採捕されました。

（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。

左図は反応の例です。

## 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 2 報)

令和 5 年 6 月 1 日  
福島県水産海洋研究センター

### 1 調査日

5 月 29 日

### 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 29m)

141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 54m)

### 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (2kt)

### 4 調査結果

#### (1)表面水温(図 1)

17.4℃～18.0℃

#### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 0～223 尾 (合計 345 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(5 月 19 日、17～884 尾、合計 1,565 尾)と比較し、減少しました。

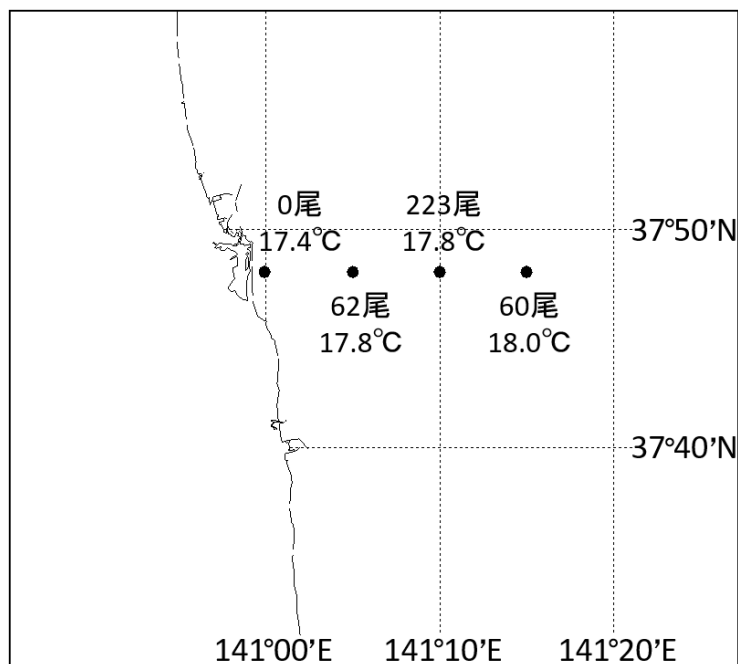


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：2.4～30.4mm(モード：2～4mm)

前回調査時(5 月 19 日、全長範囲：3.1～33.8mm、モード：10～12mm)よりも全シラス採捕数に占める小型シラス採捕数の割合が増加しました。

なお、141-05E では全長 5mm 前後と全長 15mm 前後の 2 群が確認され、141-10E では全長 3mm 前後、141-15E では全長 5mm 前後にモードが確認されました。

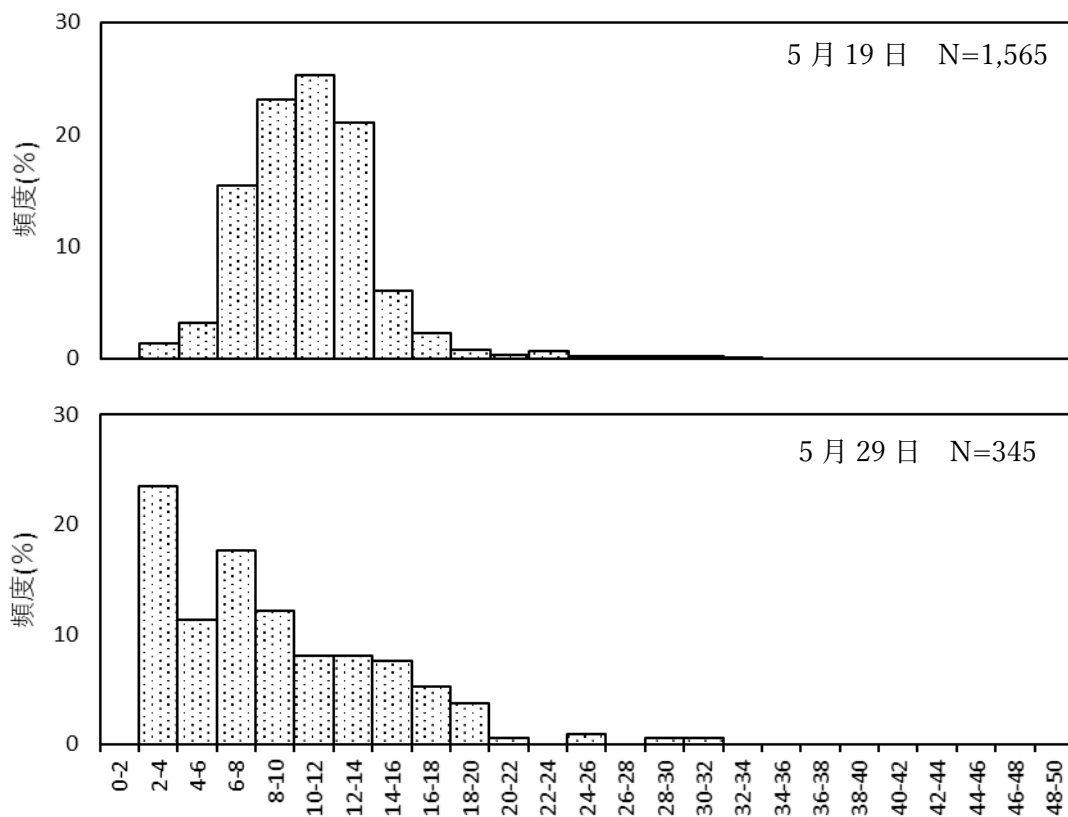


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 5 年 5 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で最多となりました (図 3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

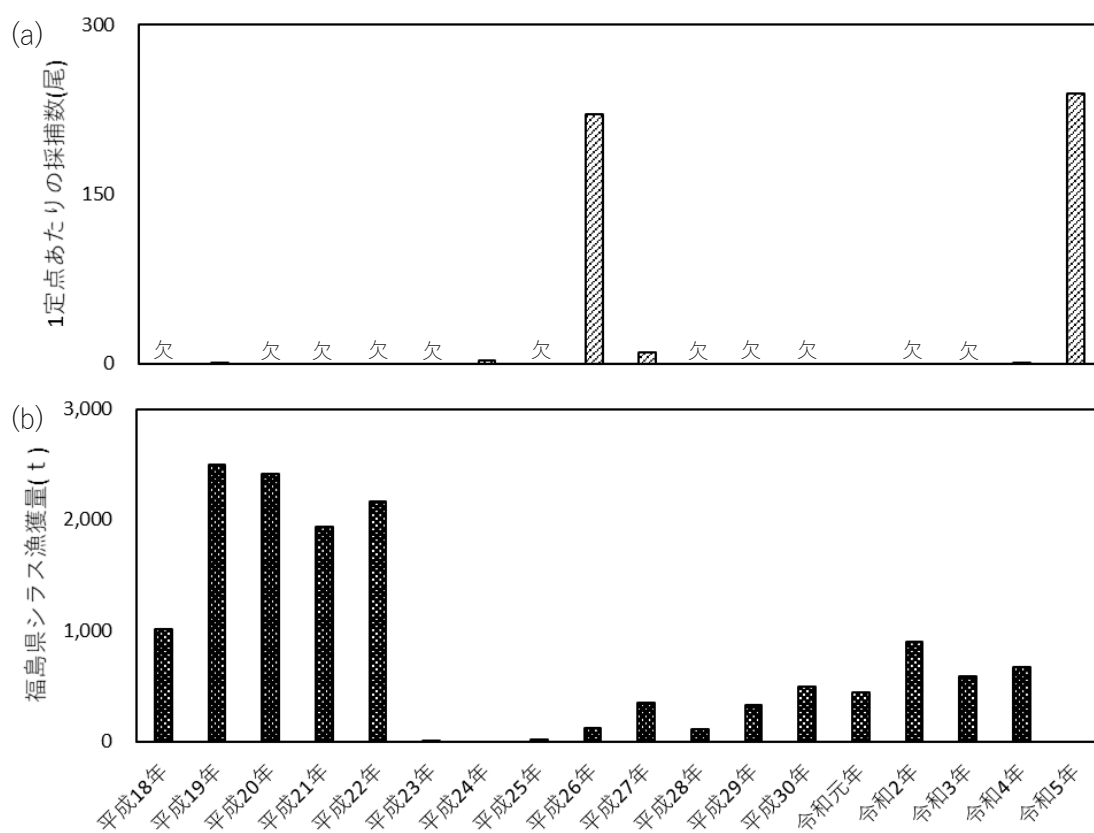
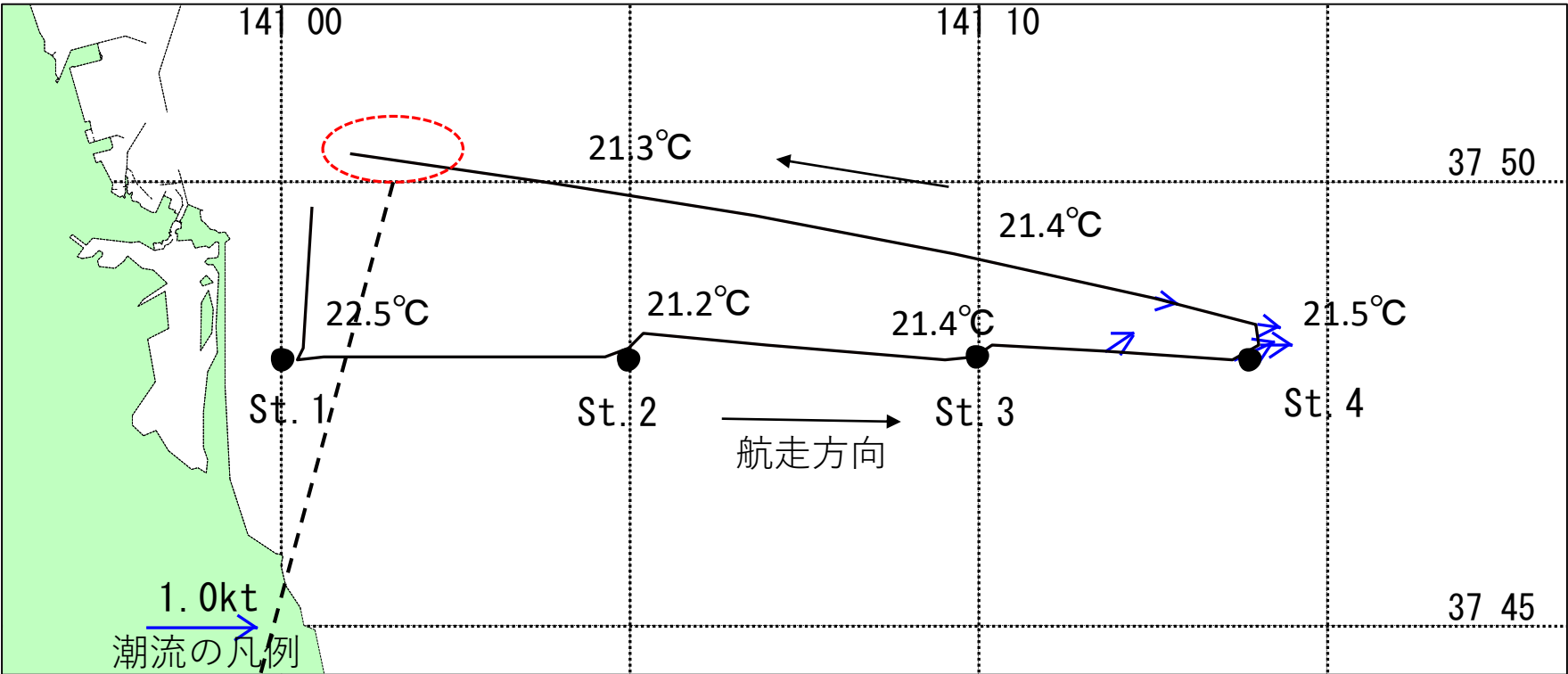
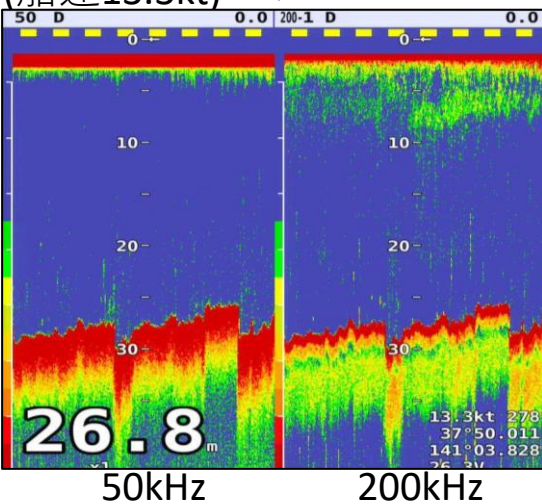


図3 (a)相馬海域における5月の1定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量

シラス曳網調査（R5.06.22 福島県水産海洋研究センター）



(船速13.3kt)



令和5年6月21日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査（St.1～4）を実施しました。

その際の航跡、潮流、表層水温を示します。

St.2、4において全長10mm程度、St.3において30mm程度のシラスが数十尾から数百尾採捕されました。

(詳細な測定結果は後日お知らせします。)

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。

左図は反応の例です。

# 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 3 報)

令和 5 年 6 月 23 日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

6 月 21 日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 9m)、141-05E(水深 26m)

141-10E(水深 38m)、141-14E(水深 48m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

21.3℃～22.4℃

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 16～1,664 尾 (合計 3,243 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(5 月 29 日、0～223 尾、合計 345 尾)と比較し、増加しました。

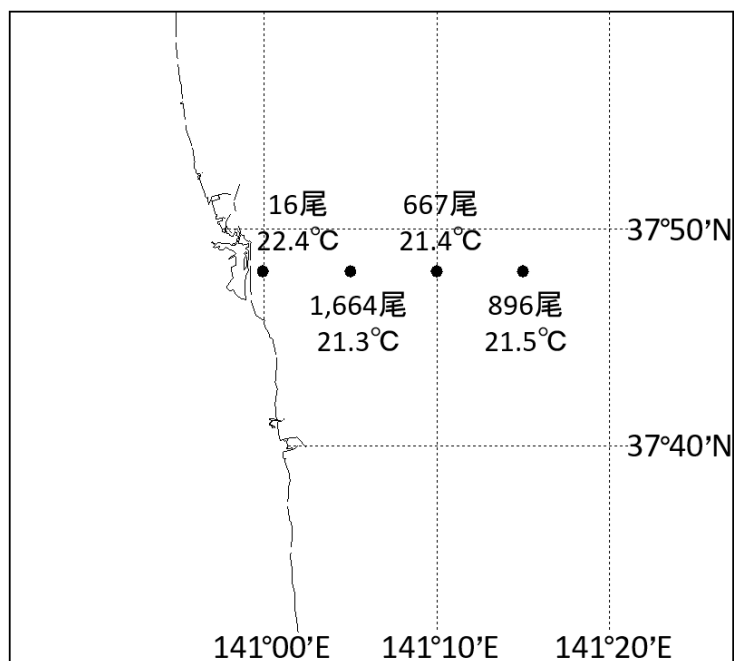


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：2.9～30.0mm(モード：8～10mm)

全長 10mm 前後の群と全長 25mm 前後の群の 2 つの群で構成されていました。

なお、141-05E では全長 10mm 前後の群が確認され、141-10E、141-14E では全長 10mm 前後と 25mm 前後の 2 つの群が確認されました。

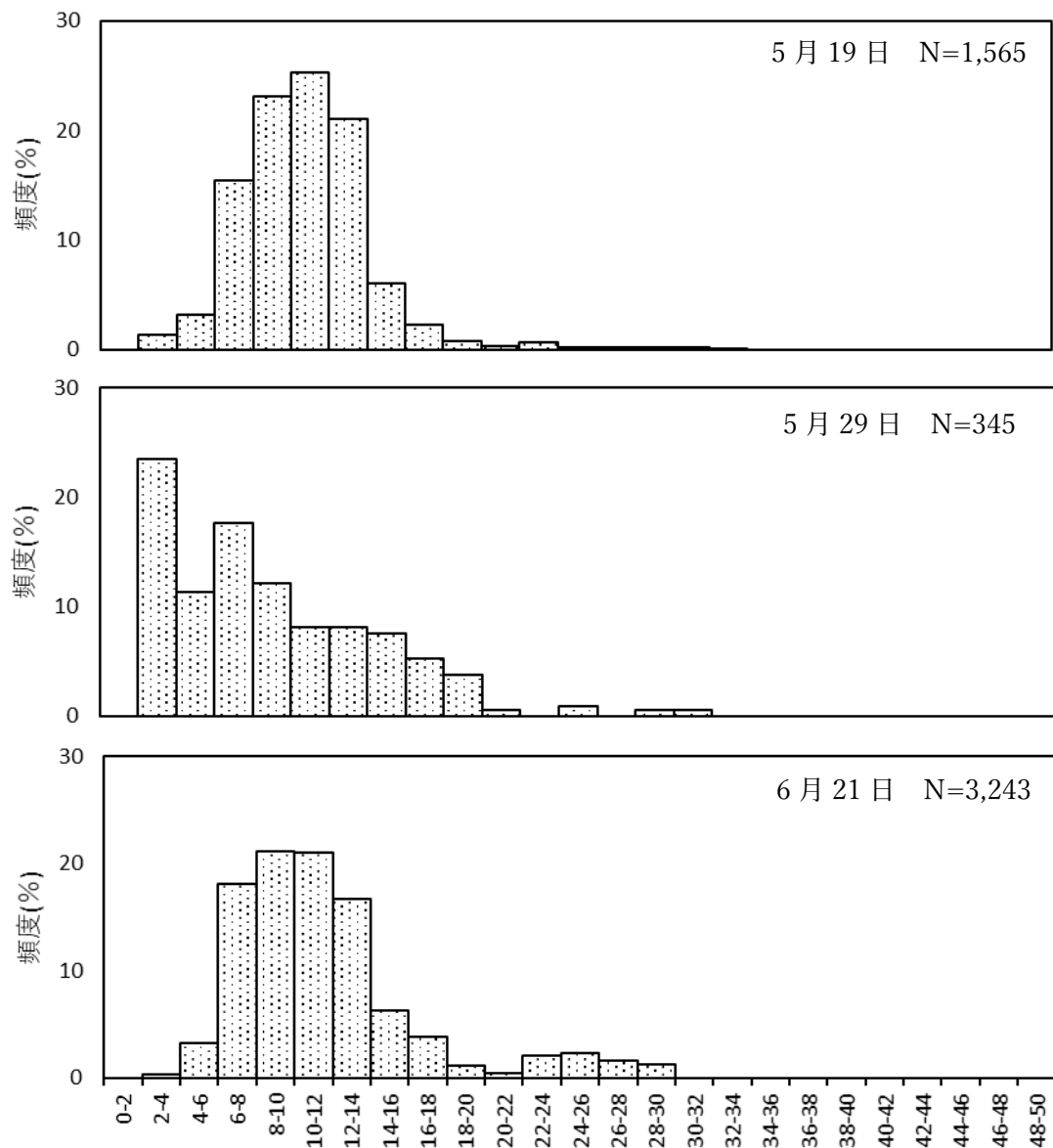


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成



(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 5 年 6 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で最多となりました (図 3(a))。  
 なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

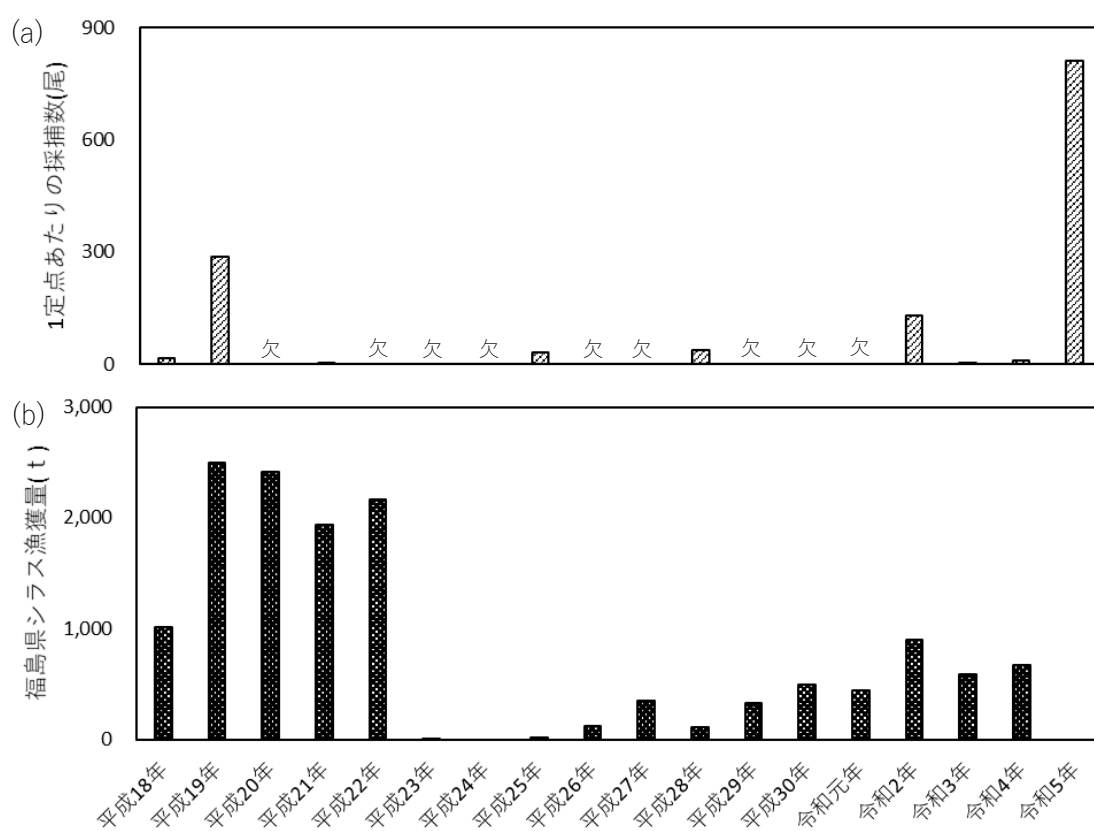
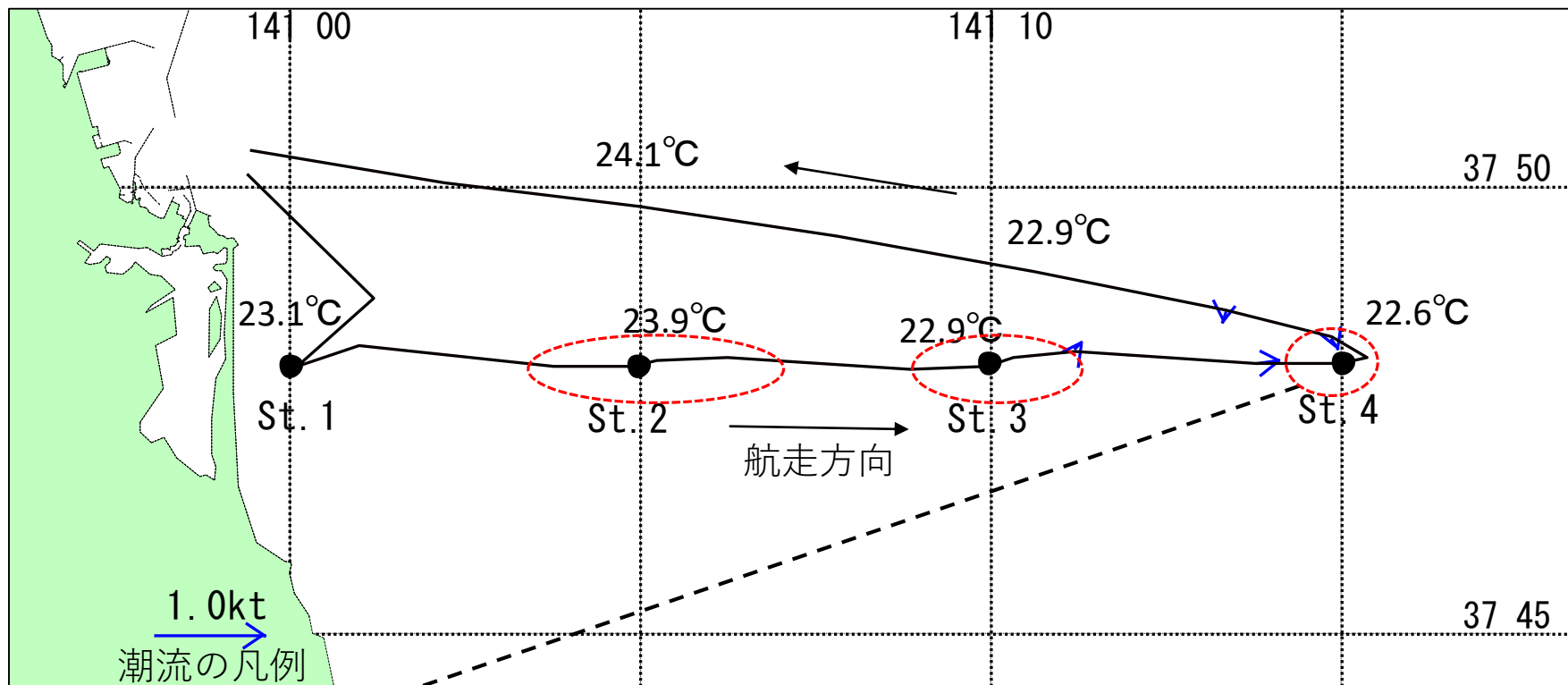
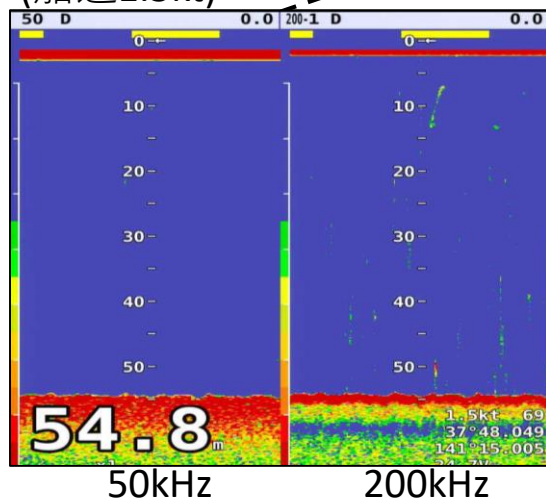


図 3 (a)相馬海域における 6 月の 1 定点あたりの採捕数  
 (b)福島県の年別シラス漁獲量

# シラス曳網調査 (R5.07.03 福島県水産海洋研究センター)



(船速1.5kt)



令和5年6月30日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査 (St.1~4) を実施しました。

その際の航跡、潮流、表層水温を示します。

St.1では数尾、St.2~4では数百尾のシラスが採捕されました。  
全長は10~25mm程度でした。

(詳細な測定結果は後日お知らせします。)

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。  
左図は反応の例です。

# 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 4 報)

令和 5 年 7 月 7 日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

6 月 30 日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 29m)

141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 53m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網(船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

22.6℃～23.9℃

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 1～8,608 尾(合計 10,897 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(6 月 21 日、16～1,664 尾、合計 3,243 尾)と比較し、増加しました。

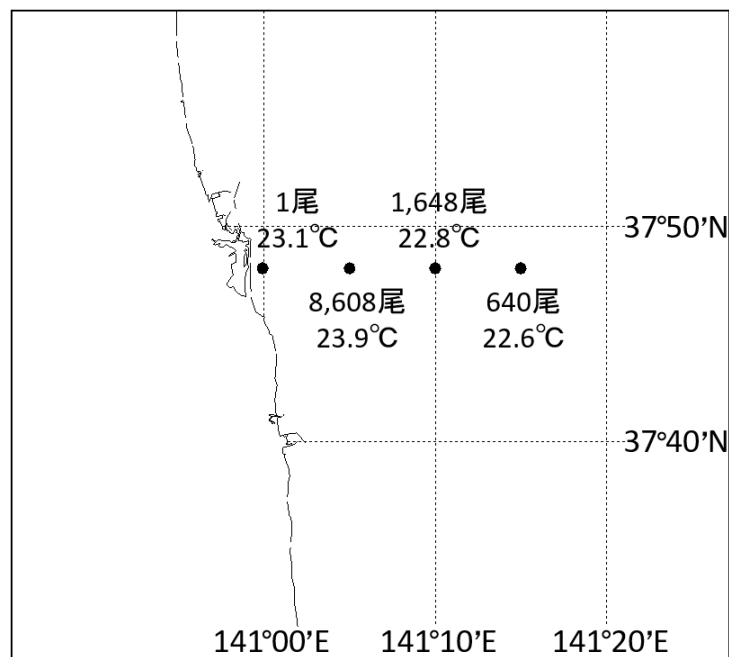


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：5.6～28.1mm(モード：10～12mm)

全長 10mm 前後の群で構成されていました。

いずれの定点においても 10mm 前後にモードがあり、141-05E では 20mm 程の大きさのシラスも確認されました。

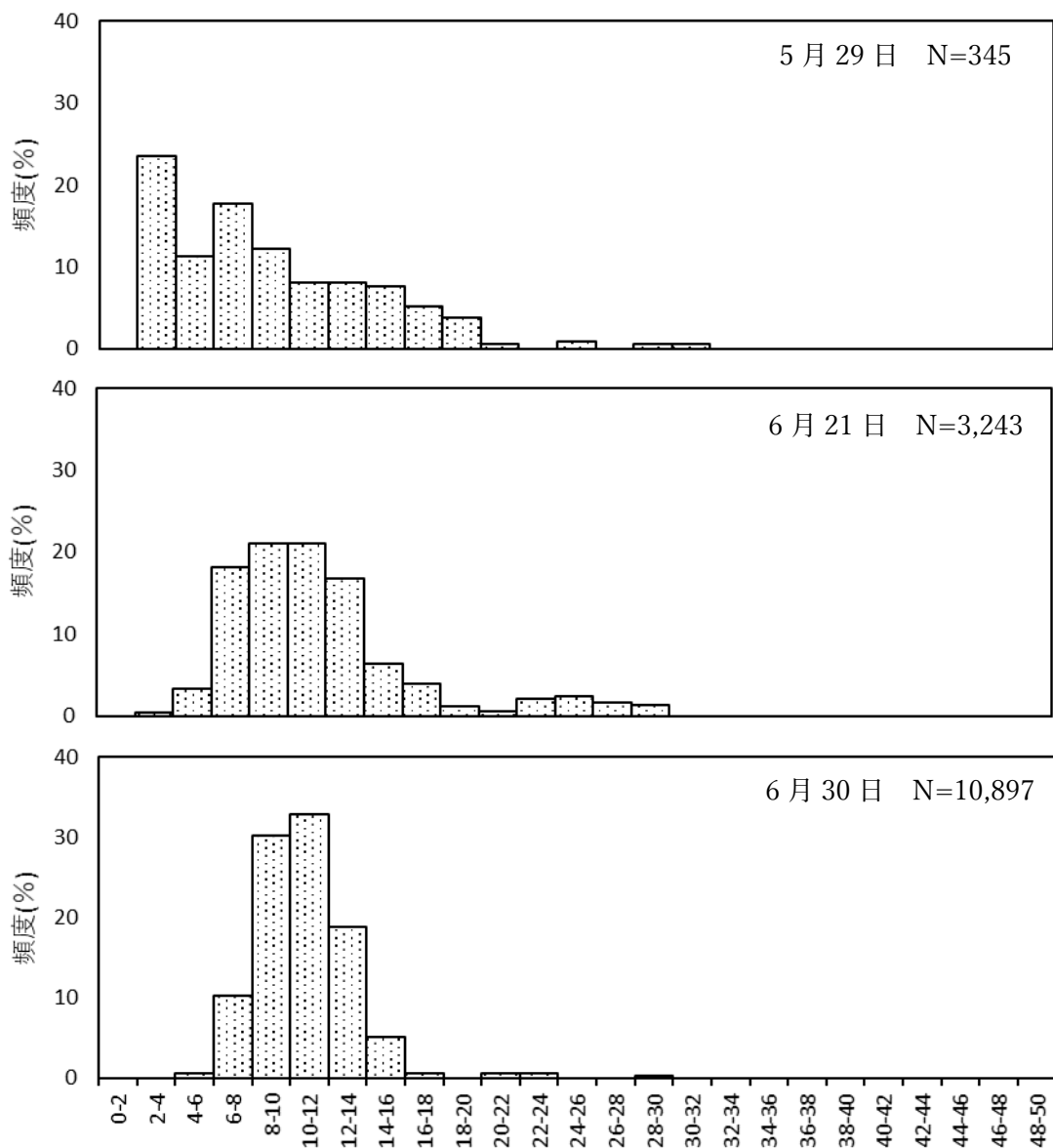


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 5 年 6 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で最多となりました (図 3(a))。

なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

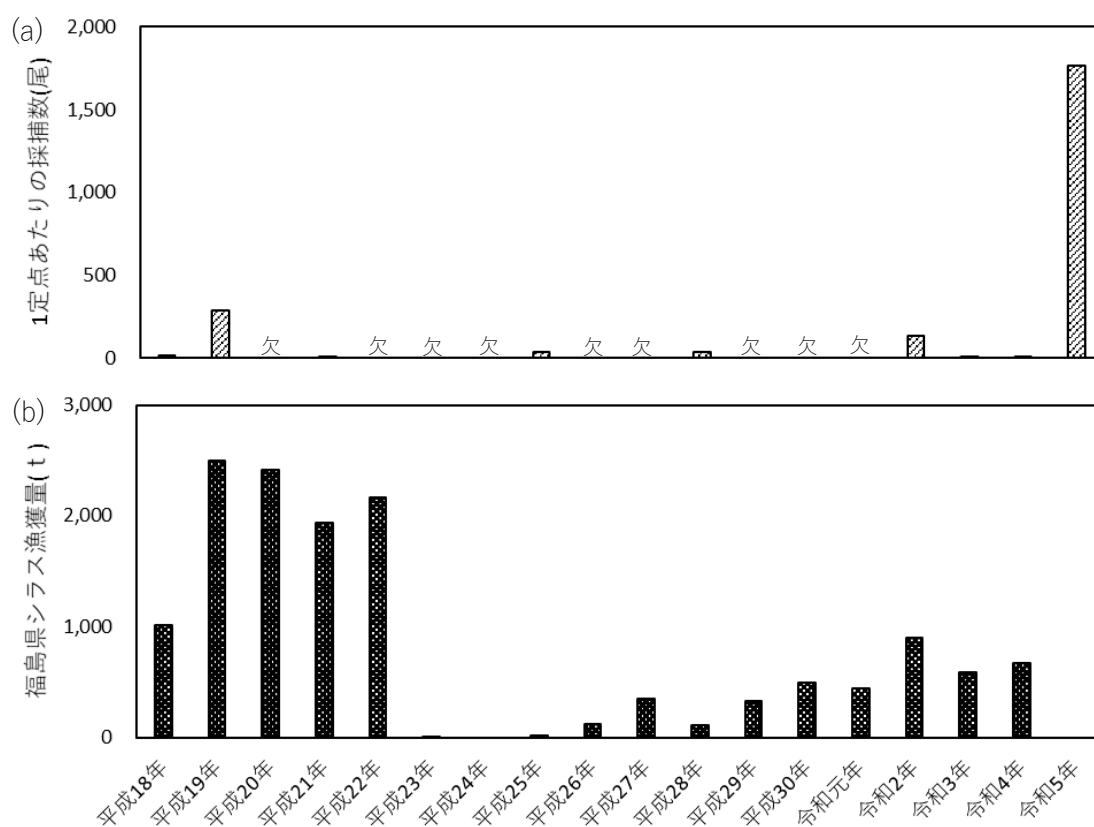
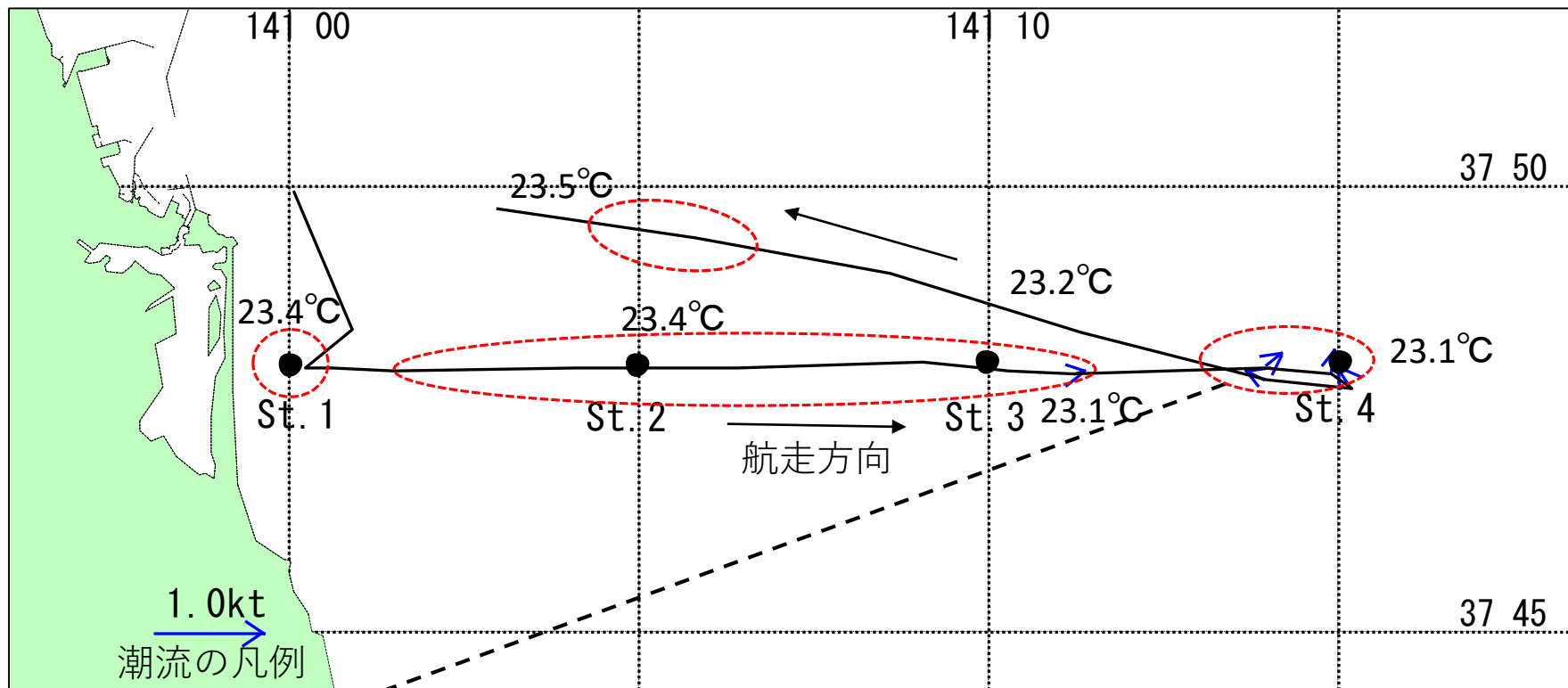
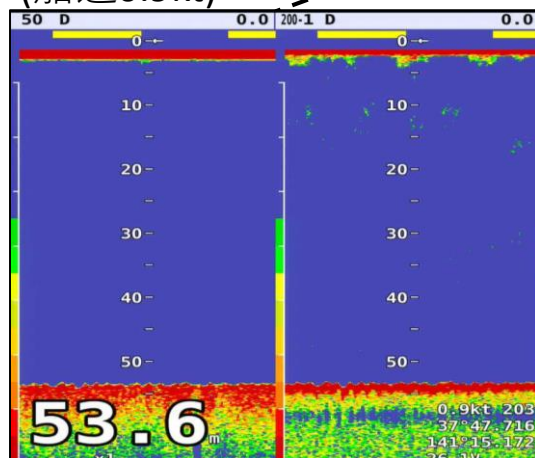


図3 (a)相馬海域における6月の1定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量

# シラス曳網調査 (R5.07.05 福島県水産海洋研究センター)



(船速0.9kt)



令和5年7月4日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査 (St.1~4) を実施しました。

その際の航跡、潮流、表層水温を示します。

St.1、2では数尾のカエリが、St.3、4では数百尾のシラスが採捕されました。シラスの全長は10~20mm程度でした。

(詳細な測定結果は後日お知らせします。)

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。

左図は反応の例です。

## 1 調査日

7月4日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 9m)、141-05E(水深 28m)  
141-10E(水深 36m)、141-15E(水深 54m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網(船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

23.1℃～23.6℃

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 0～4,064 尾(合計 5,759 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(6月30日、1～8,608尾、合計 10,897尾)と比較し、減少しました。

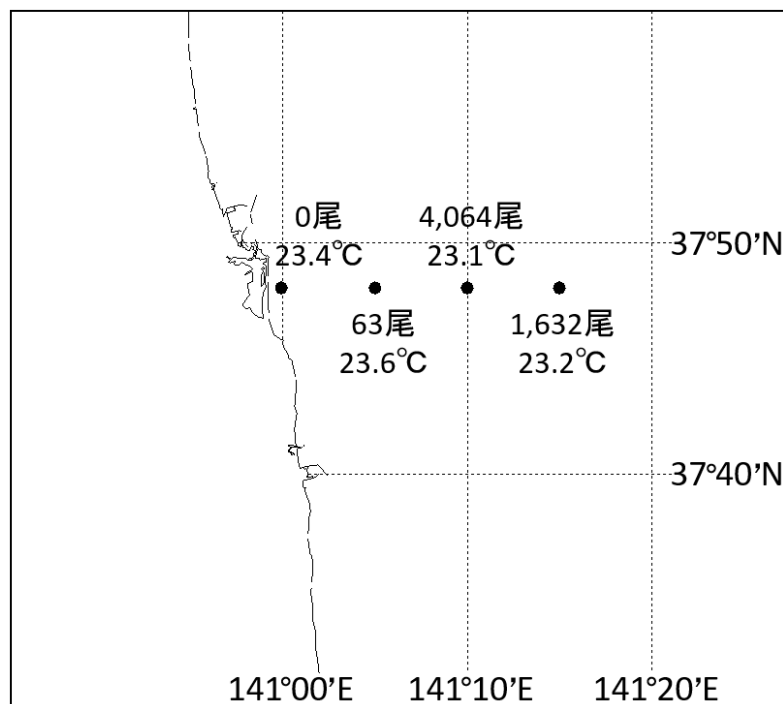


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：4.9～46.9mm(モード：20～22mm)

全長 10mm 前後の群、20mm 前後の群の 2 つの群で構成されていました。

141-05E では 20mm 前後の群、30mm 前後の群の 2 つの群、141-10E、141-15E では 10mm 前後の群、20mm 前後の群の 2 つの群が確認されました。

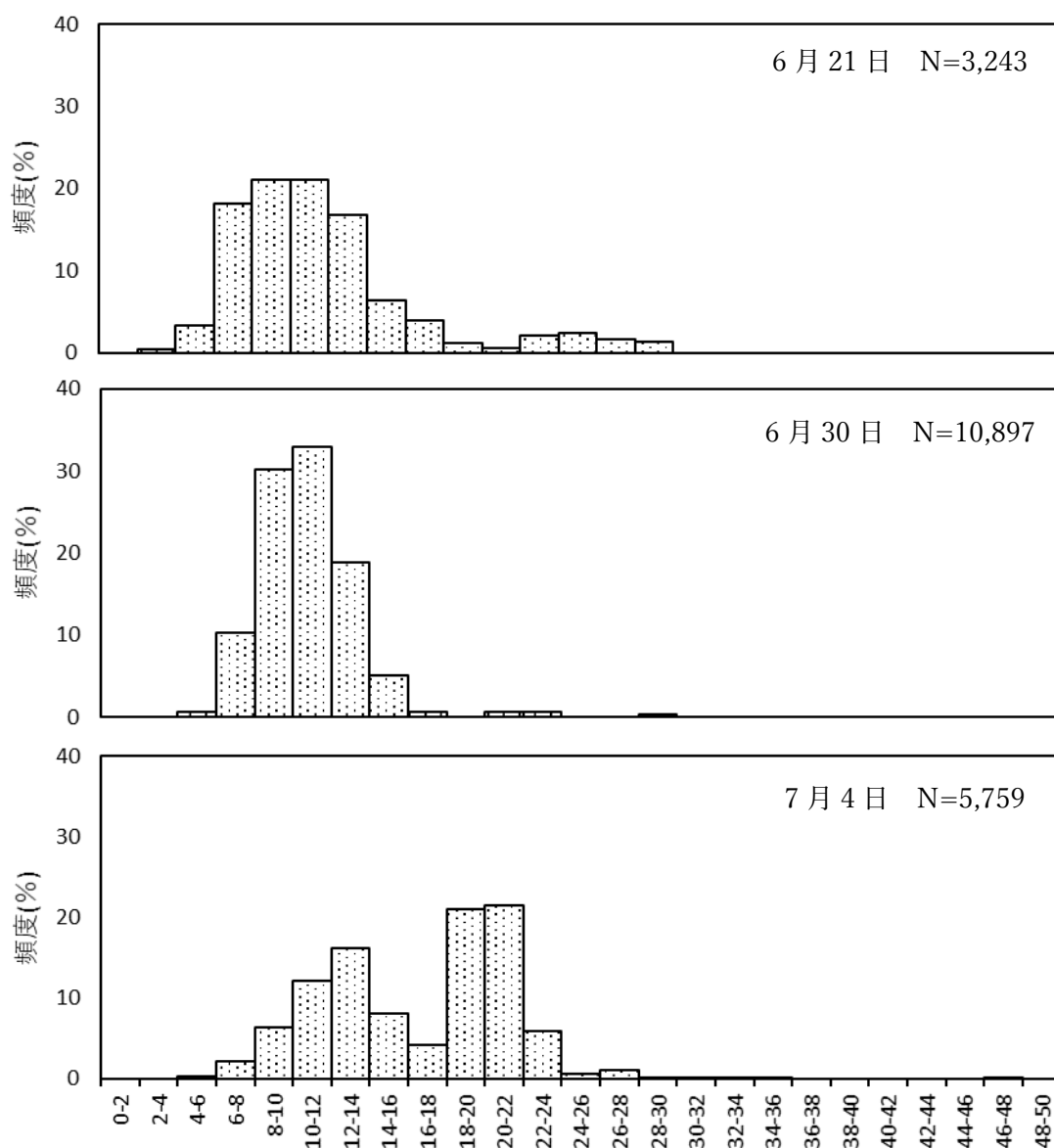


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成



(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 5 年 7 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で 4 番目に多い結果となりました(図 3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

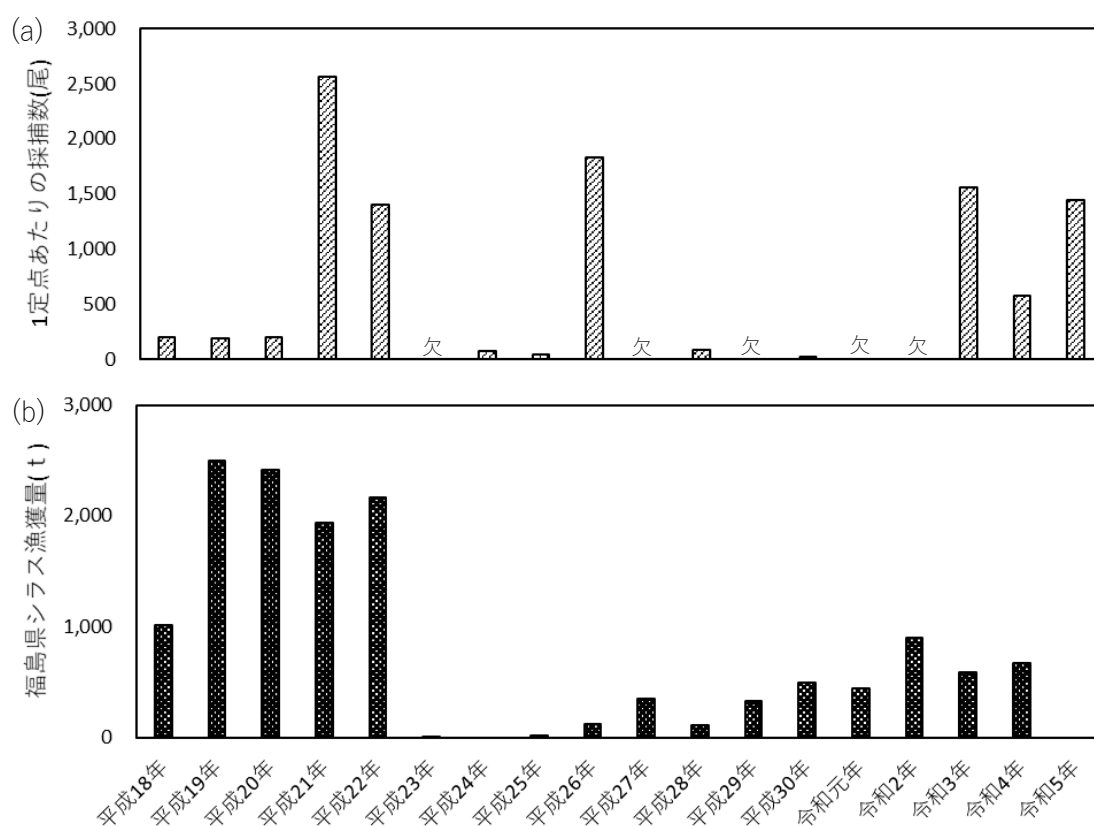
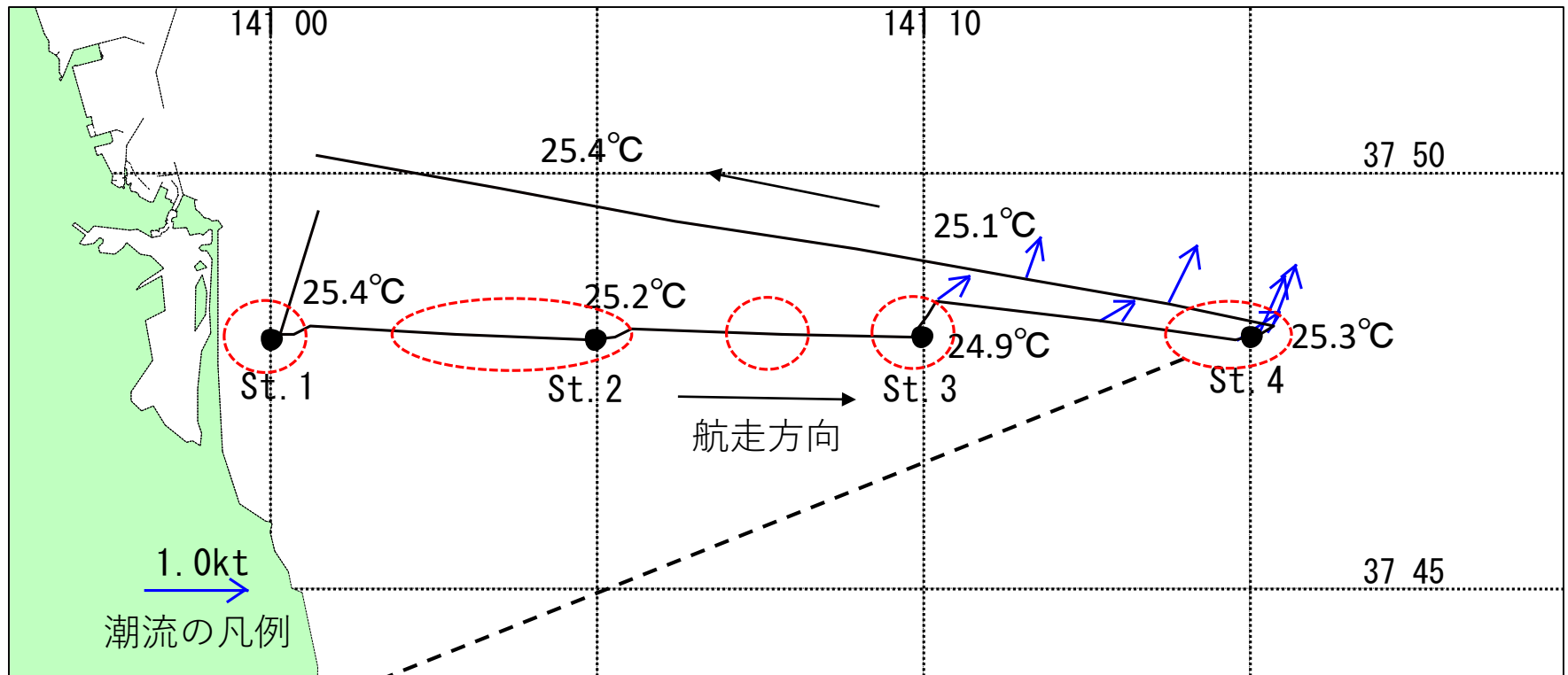
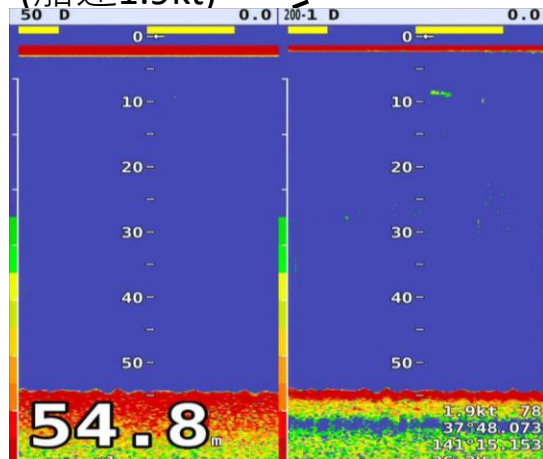


図 3 (a)相馬海域における 7 月の 1 定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量

# シラス曳網調査（R5.07.20 福島県水産海洋研究センター）



(船速1.9kt)



50kHz

200kHz

令和5年7月19日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査（St.1～4）を実施しました。

その際の航跡、潮流、表層水温を示します。

St.1～3で数尾のシラスが採捕されました。

シラスの全長は10mm程度でした。

（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。

左図は反応の例です。

# 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 5 報)

令和 5 年 7 月 25 日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

7 月 19 日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 9m)、141-05E(水深 27m)  
141-10E(水深 39m)、141-15E(水深 54m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

25.0℃～25.5℃

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 1～12 尾 (合計 20 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(7 月 4 日、0～4,064 尾、合計 5,759 尾)と比較し、減少しました。

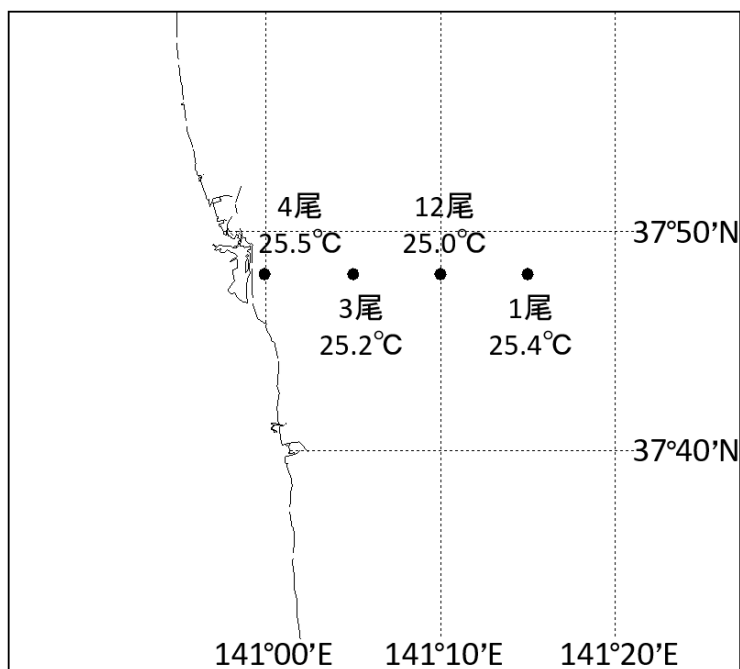


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：5.2～16.6mm

141-00E、141-05E、141-10Eにて10mm前後のシラスが採捕され、141-15Eにて16.6mmのシラスが採捕されました。

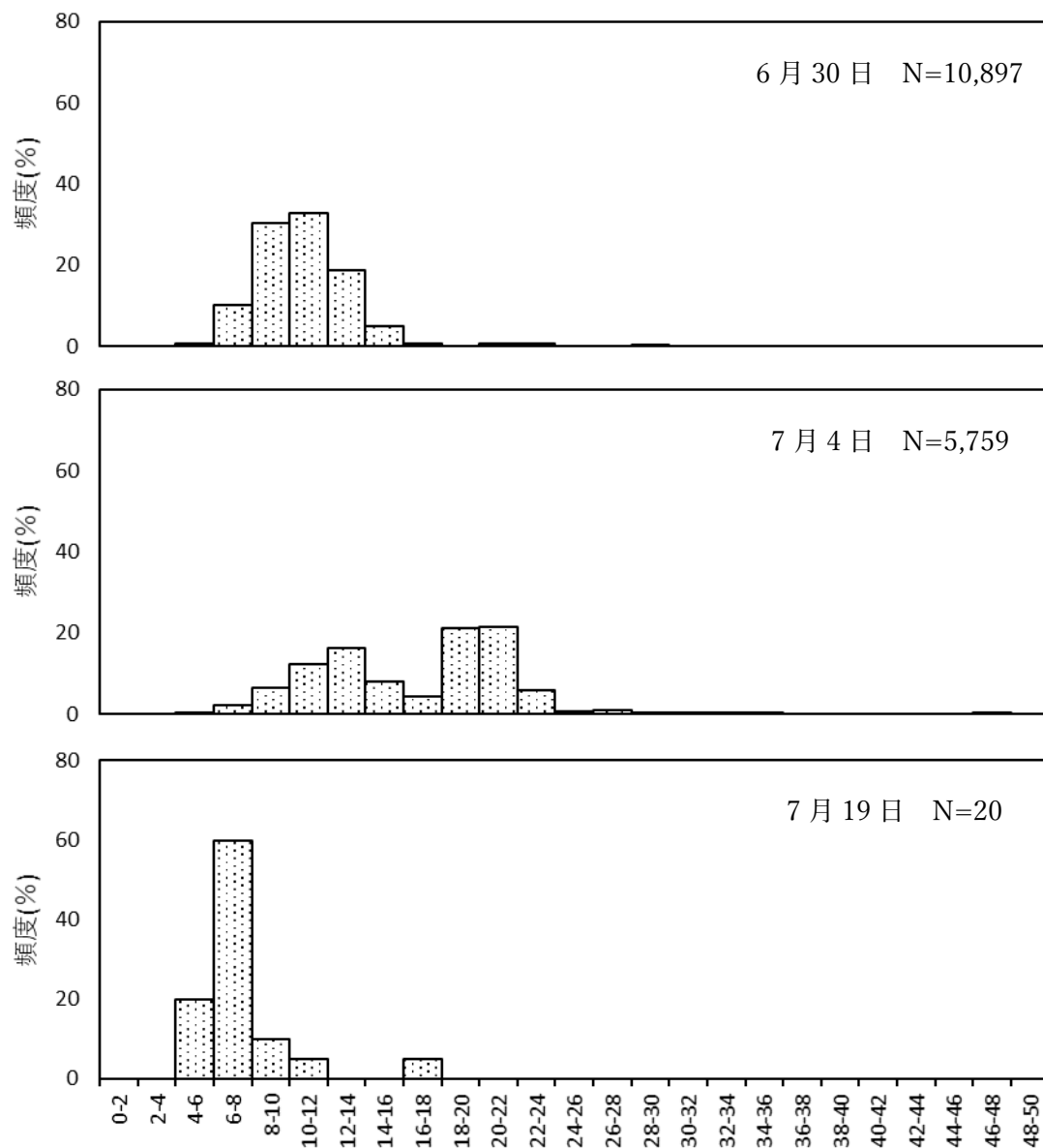


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 5 年 7 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で 5 番目に多い結果となりました(図 3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

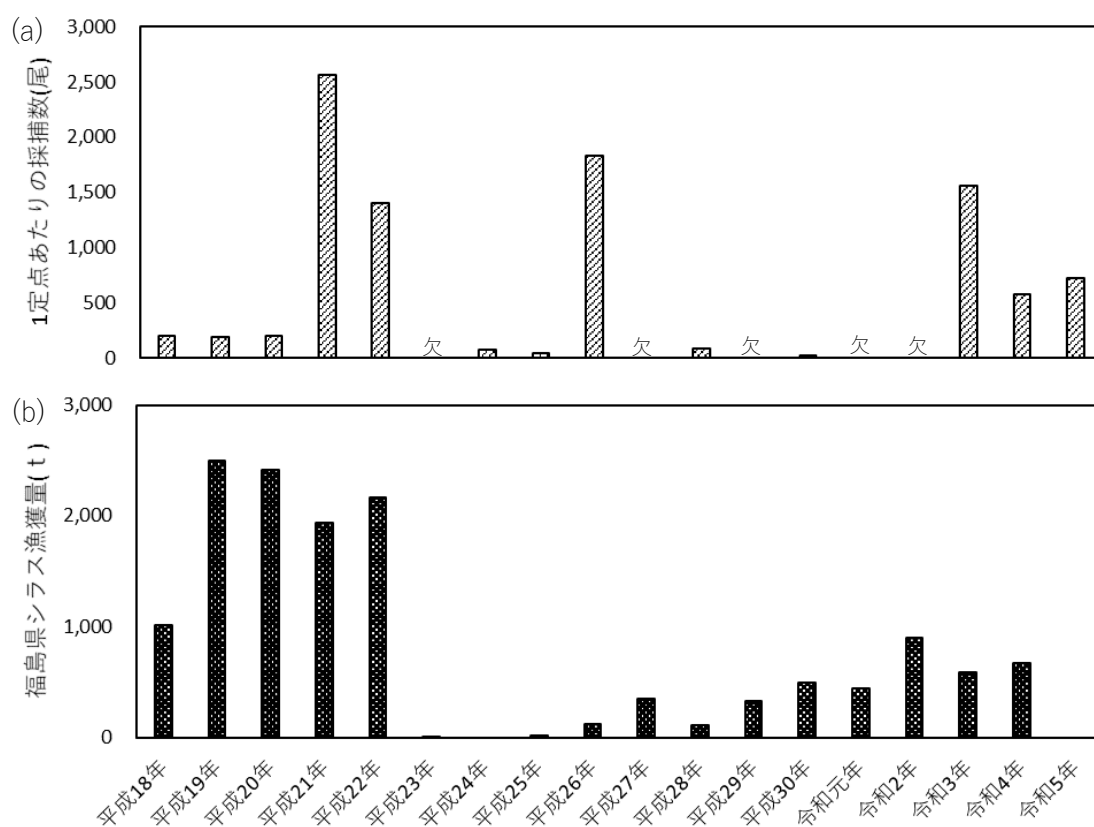
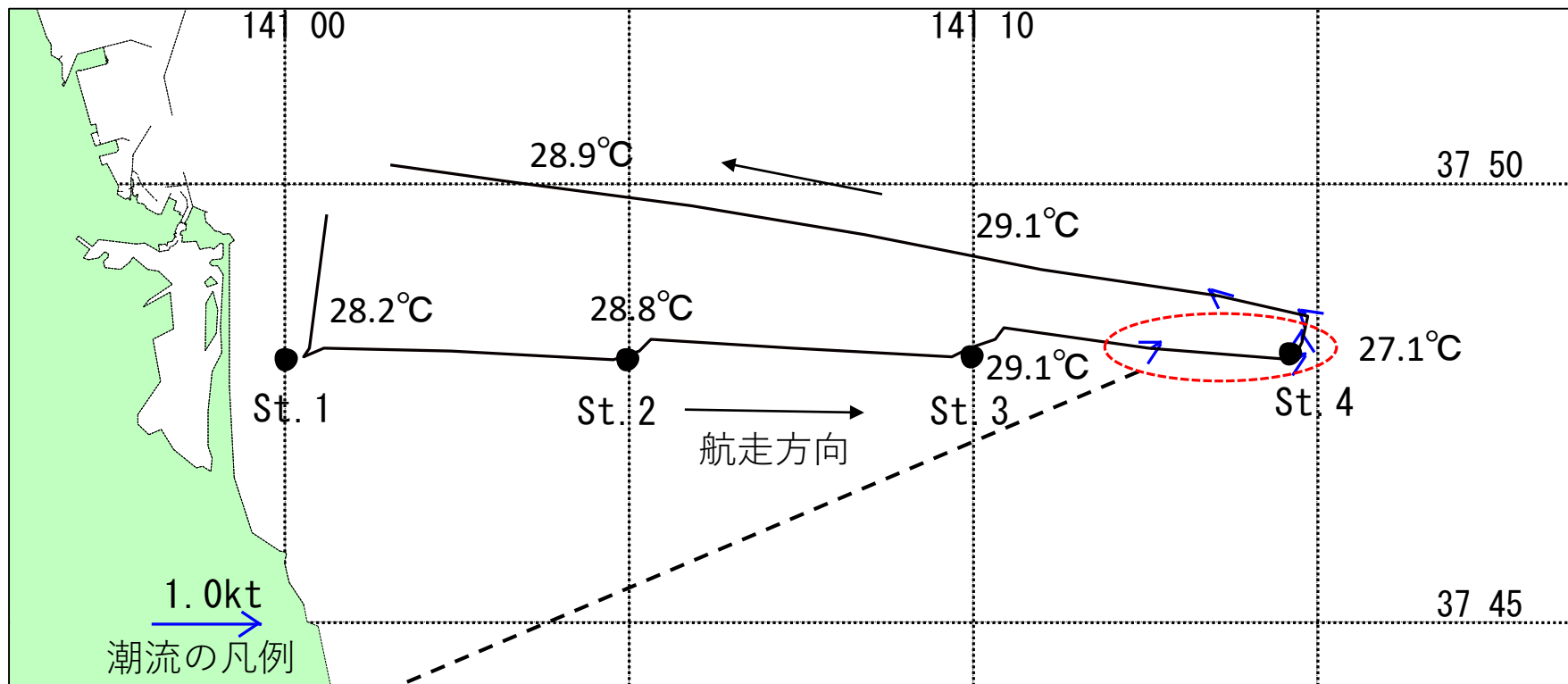
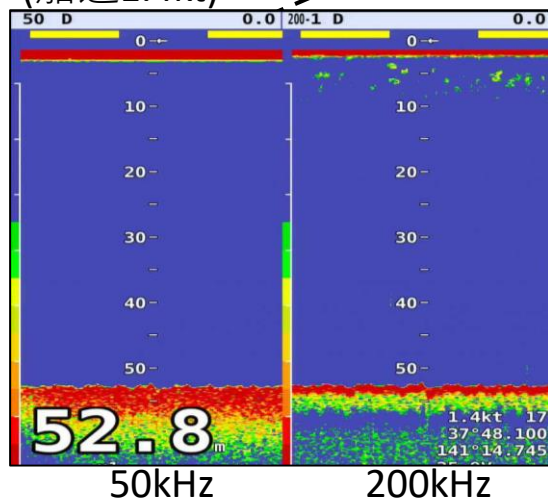


図 3 (a)相馬海域における 7 月の 1 定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量

# シラス曳網調査（R5.08.01 福島県水産海洋研究センター）



(船速1.4kt)



令和5年7月31日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査（St.1～4）を実施しました。

その際の航跡、潮流、表層水温を示します。

St.1～3で数尾、St.4で数十尾のシラスが採捕されました。

シラスの全長は10mm～30mm程度でした。

（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。

左図は反応の例です。

# 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 6 報)

令和 5 年 8 月 2 日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

7 月 31 日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 9m)、141-05E(水深 28m)  
141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 53m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

27.1℃～28.9℃

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 3～468 尾 (合計 483 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(7 月 19 日、1～12 尾、合計 20 尾)と比較し、増加しました。

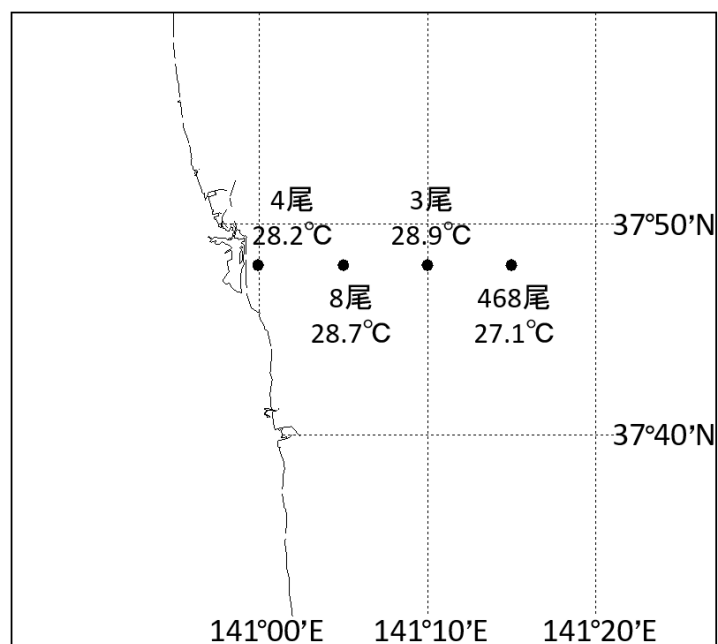


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：6.0～36.9mm(モード：14.0～16.0mm)

10mm 前後の群、15mm 前後の群、30mm 前後の群の 3 つの群で構成されていました。

141-00E では 10mm 前後、141-05E、141-10E では 30mm 前後のシラスが採捕され、141-15E では 10mm 前後、15mm 前後、30mm 前後の 3 つの群のシラスが採捕されました。

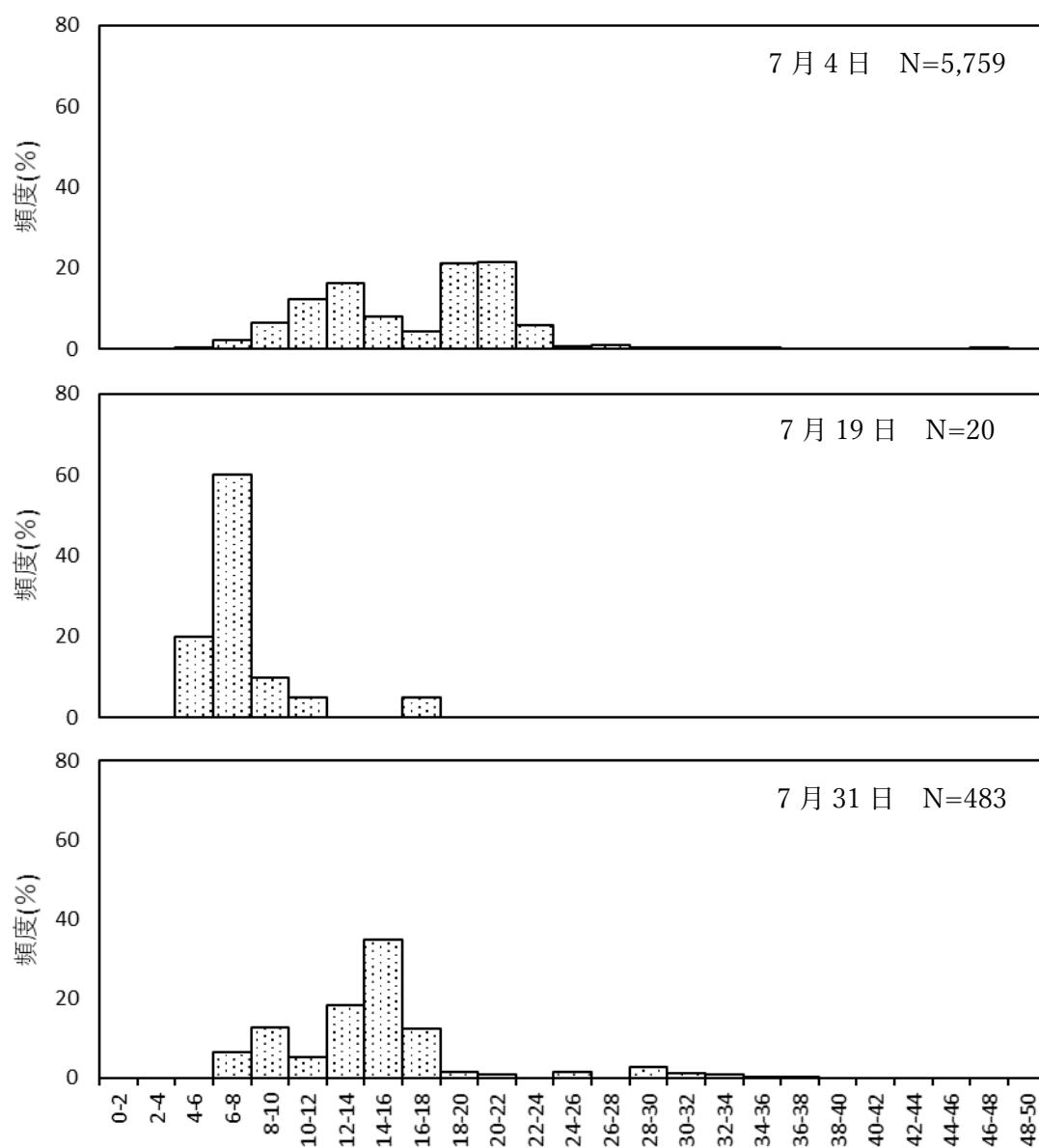


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成



(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 5 年 7 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で 6 番目に多い結果となりました(図 3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

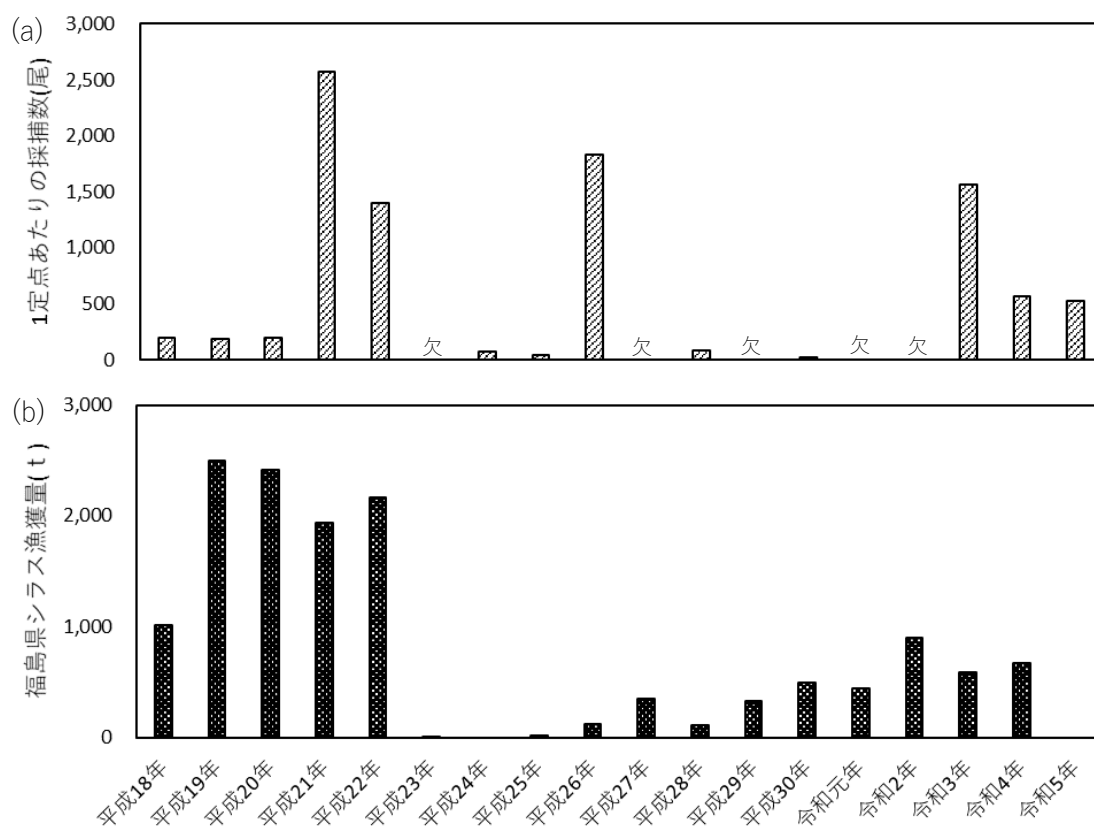
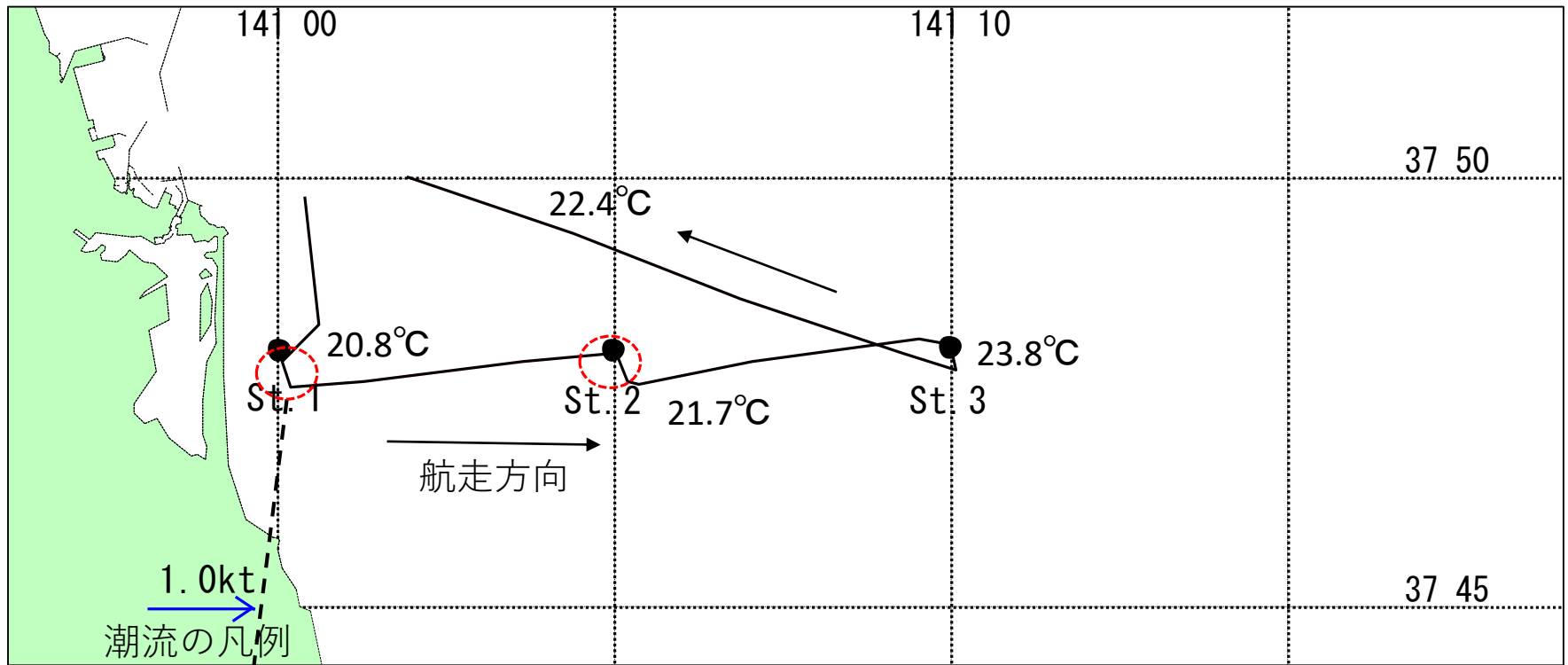
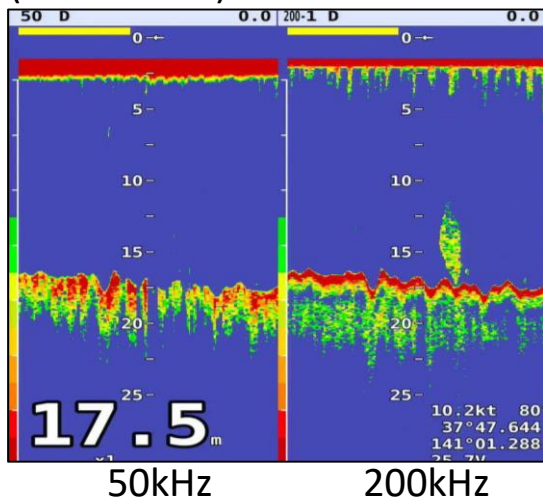


図 3 (a)相馬海域における 7 月の 1 定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量

# シラス曳網調査（R5.08.09 福島県水産海洋研究センター）



(船速10.2kt)



令和5年8月7日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査（St.1～3）を実施しました。

その際の航跡、潮流、表層水温を示します。

St.1、3で数尾、St.2で数十尾のシラスが採捕されました。

シラスの全長は10mm～30mm程度でした。

（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。

左図は反応の例です。

# 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 7 報)

令和 5 年 8 月 9 日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

8 月 7 日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 31m)、141-10E(水深 37m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

20.8℃～23.7℃

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 15～74 尾 (合計 104 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(7 月 31 日、灘側 3 点 3～8 尾、合計 15 尾)と比較し、増加しました。

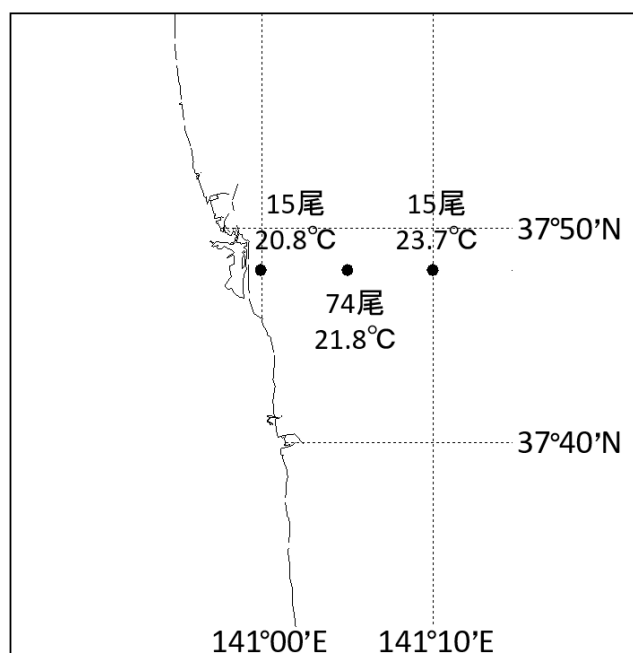


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：5.4～32.6mm(モード：8.0～10.0mm)

10mm 前後の群、15mm 前後の群、30mm 前後の群の 3 つの群で構成されていました。

141-00E では 10mm 前後、20mm 前後、30mm 前後のシラスが採捕されました。  
141-05E は 10mm 前後の群、20mm 前後の群の 2 つの群で構成されていました。  
141-10E では 10mm 前後、15mm 前後のシラスが採捕されました。

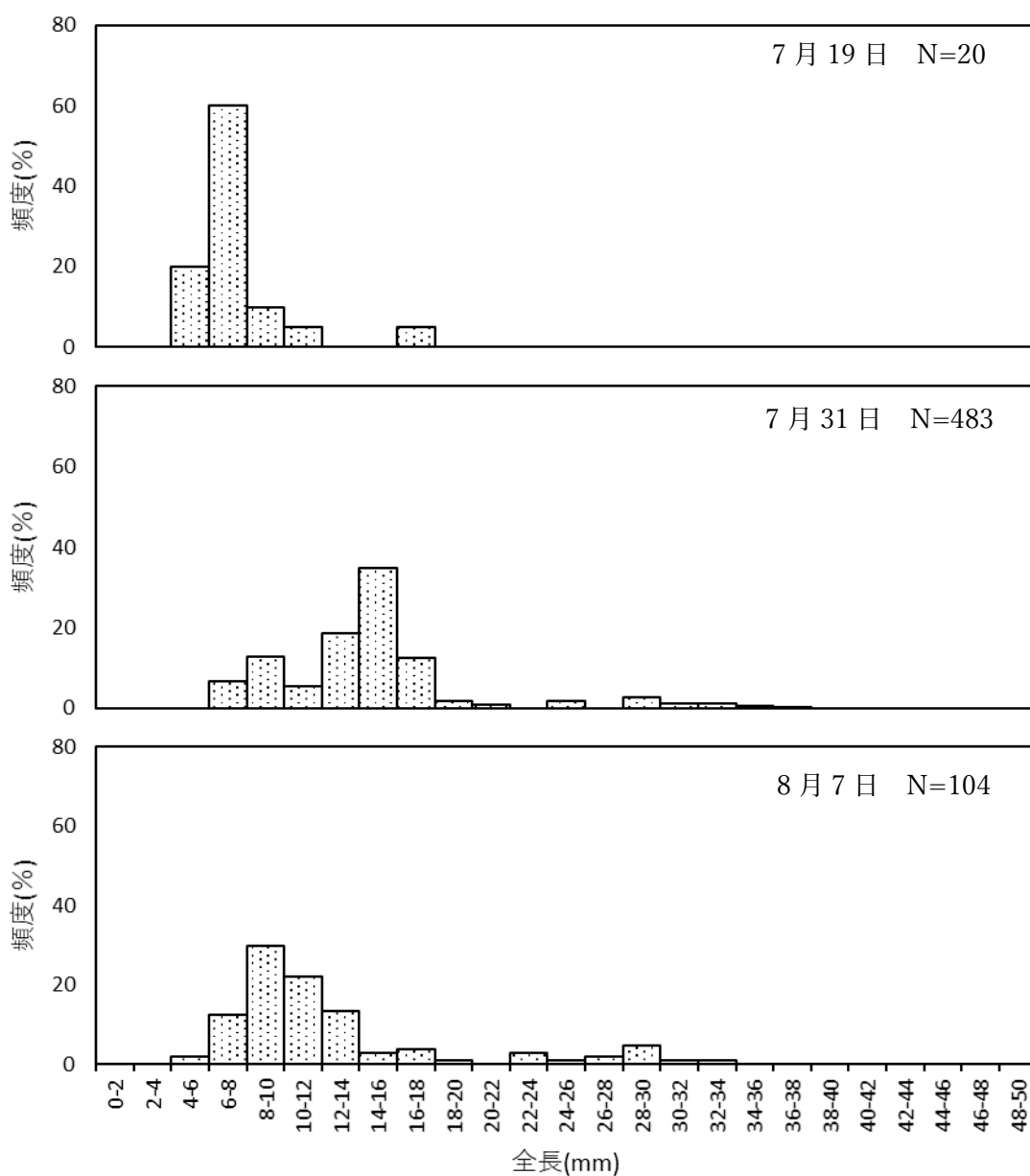


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 5 年 8 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で 3 番目に少ない結果となりました(図 3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

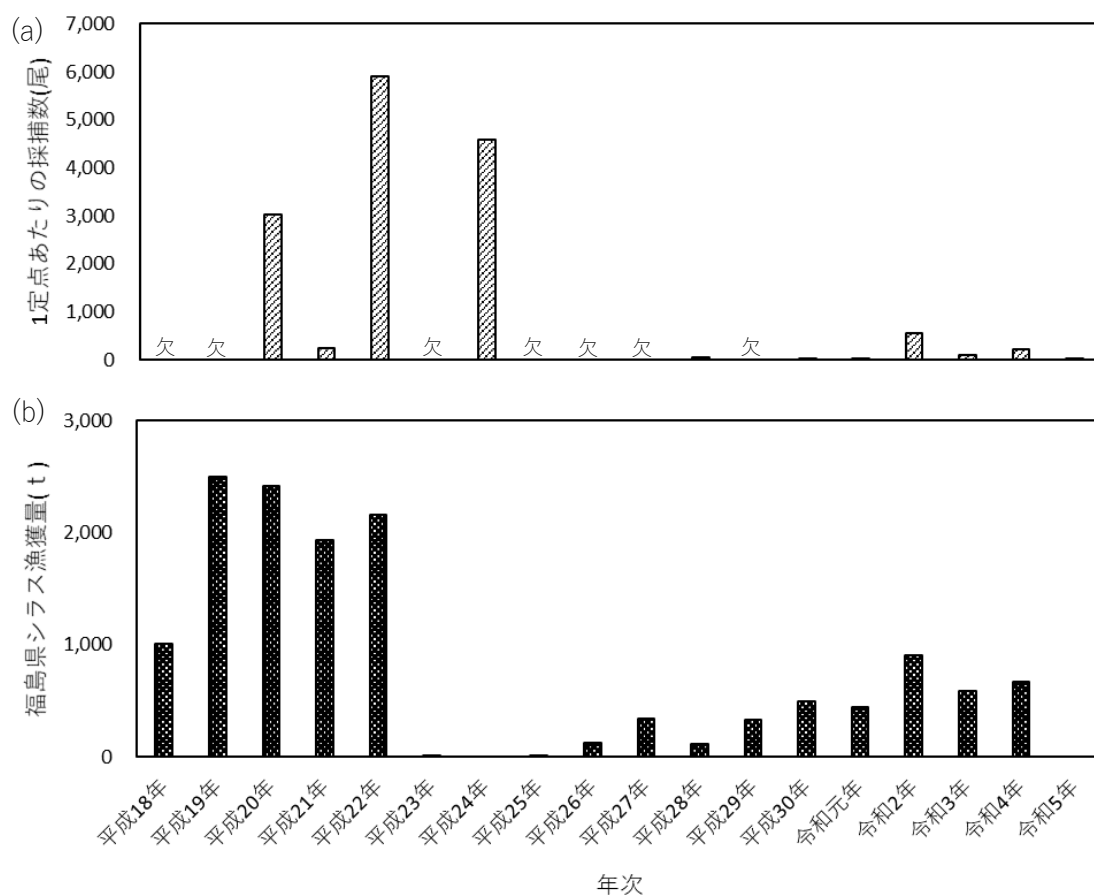
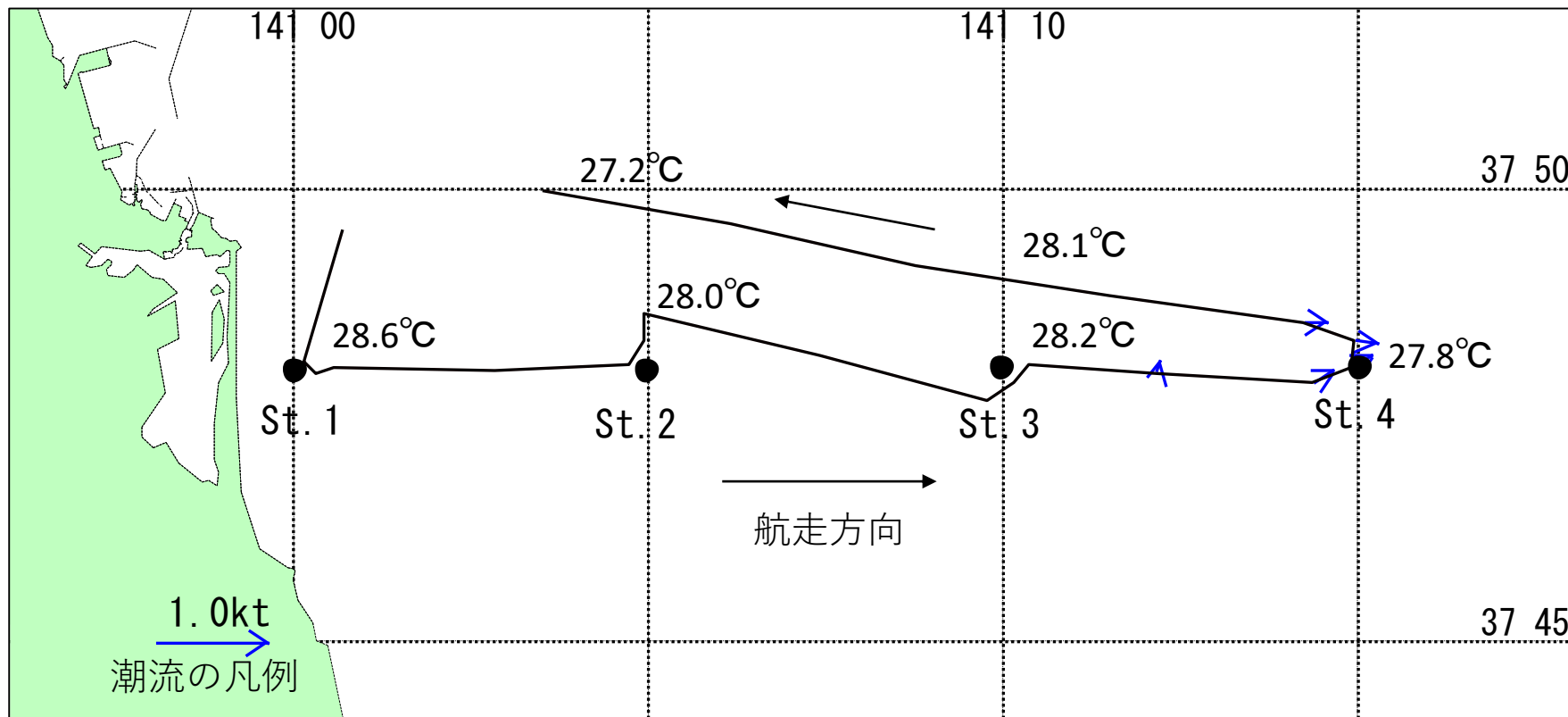


図 3 (a)相馬海域における 8 月の 1 定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量

# シラス曳網調査（R5.08.22 福島県水産海洋研究センター）



令和5年8月21日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査（St.1～4）を実施しました。  
その際の航跡、潮流、表層水温を示します。

St.1で数尾、St.2～4で数十尾のシラスが採捕されました。

シラスの全長は10mm程度でした。

（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

なお、高周波に特異的な魚探反応は確認されませんでした。

# 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 8 報)

令和 5 年 8 月 23 日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

8 月 21 日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 9m)、141-05E(水深 30m)

141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 53m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

27.6℃～28.5℃

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 1～1,088 尾 (合計 2,255 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(8 月 7 日、15～74 尾、合計 104 尾)と比較し、増加しました。

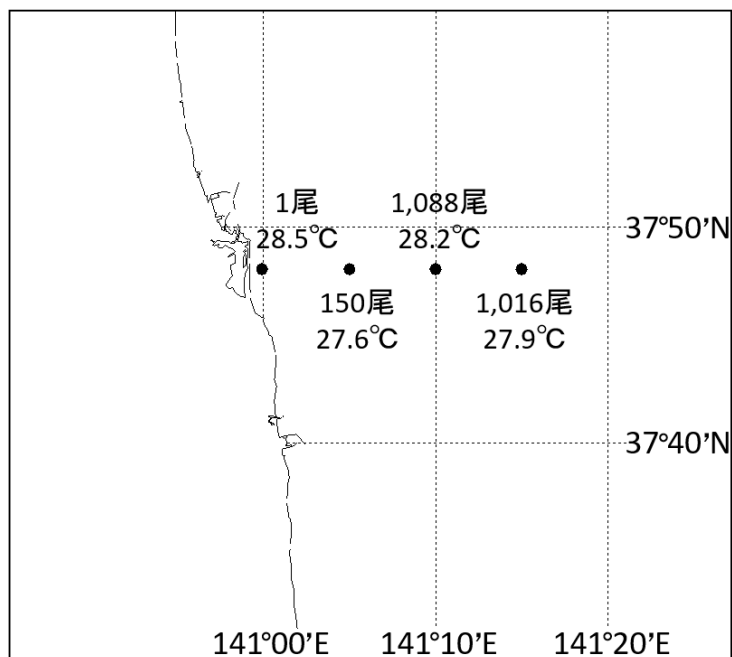


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：3.3～19.7mm(モード：8.0～10.0mm)

10mm 前後の群、15mm 前後の群の 2 つの群で構成されていました。

141-00E では 13mm のシラスが採捕されました。141-05E、141-10E、141-15E では 10mm 前後、15mm 前後の 2 つの群のシラスが採捕されました。

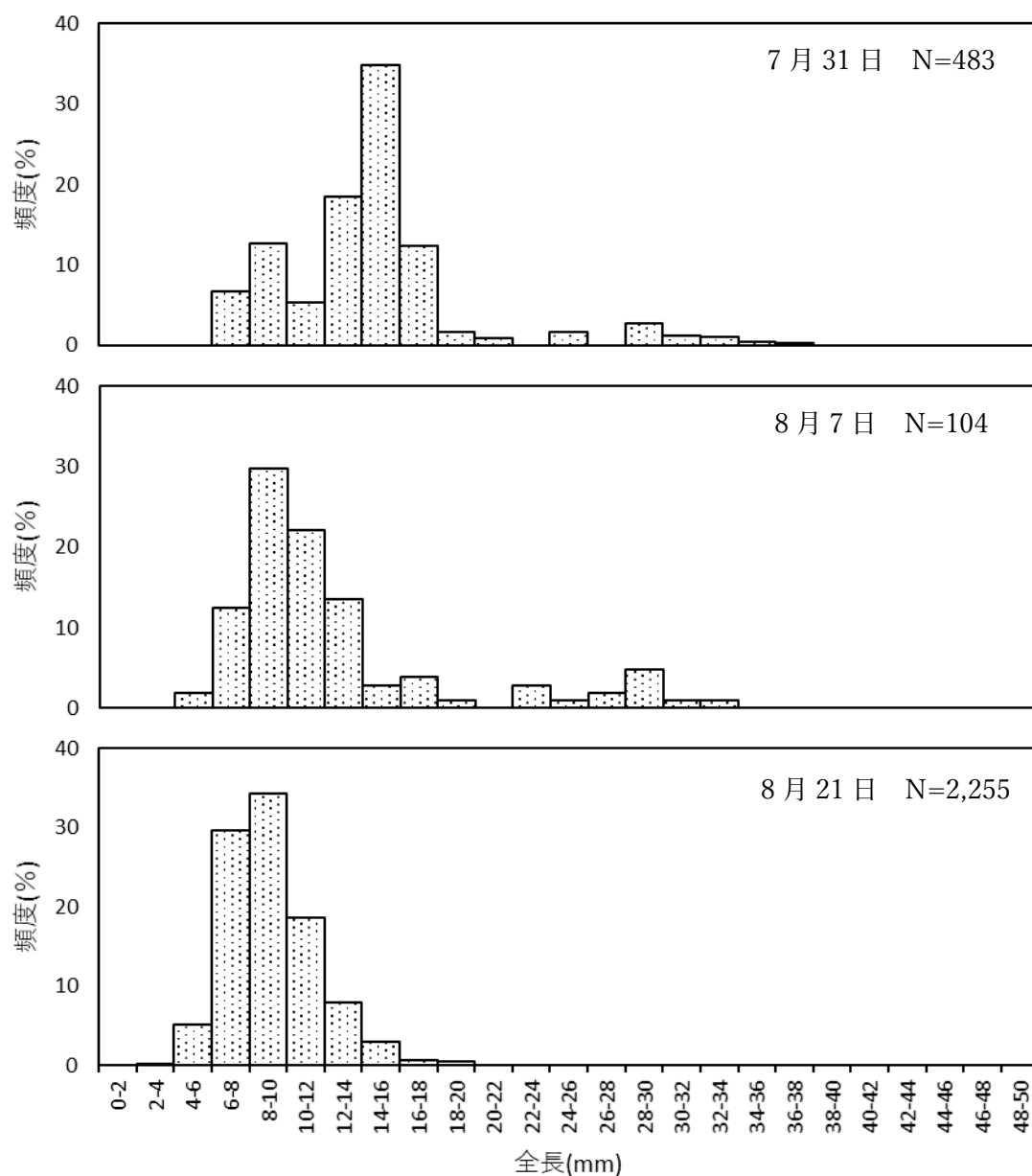


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成



(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 5 年 8 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で 5 番目に多い結果となりました(図 3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

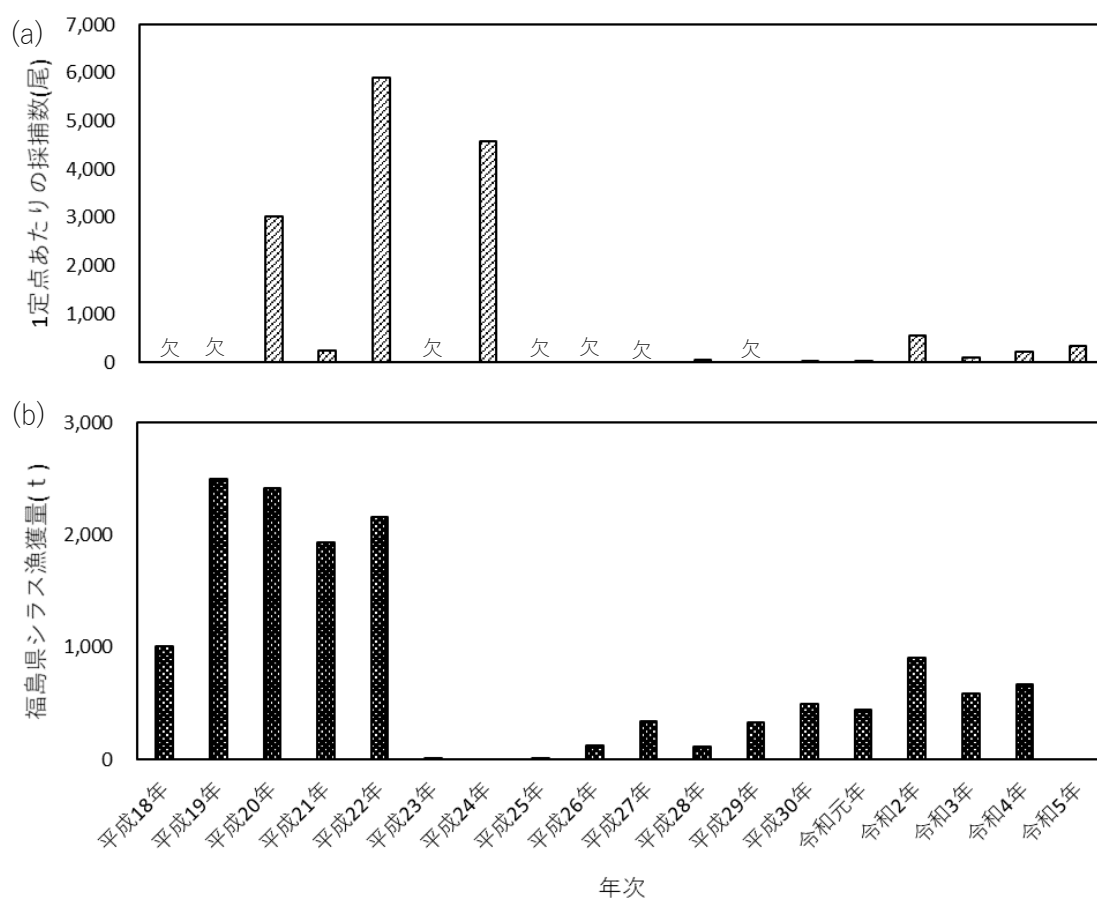
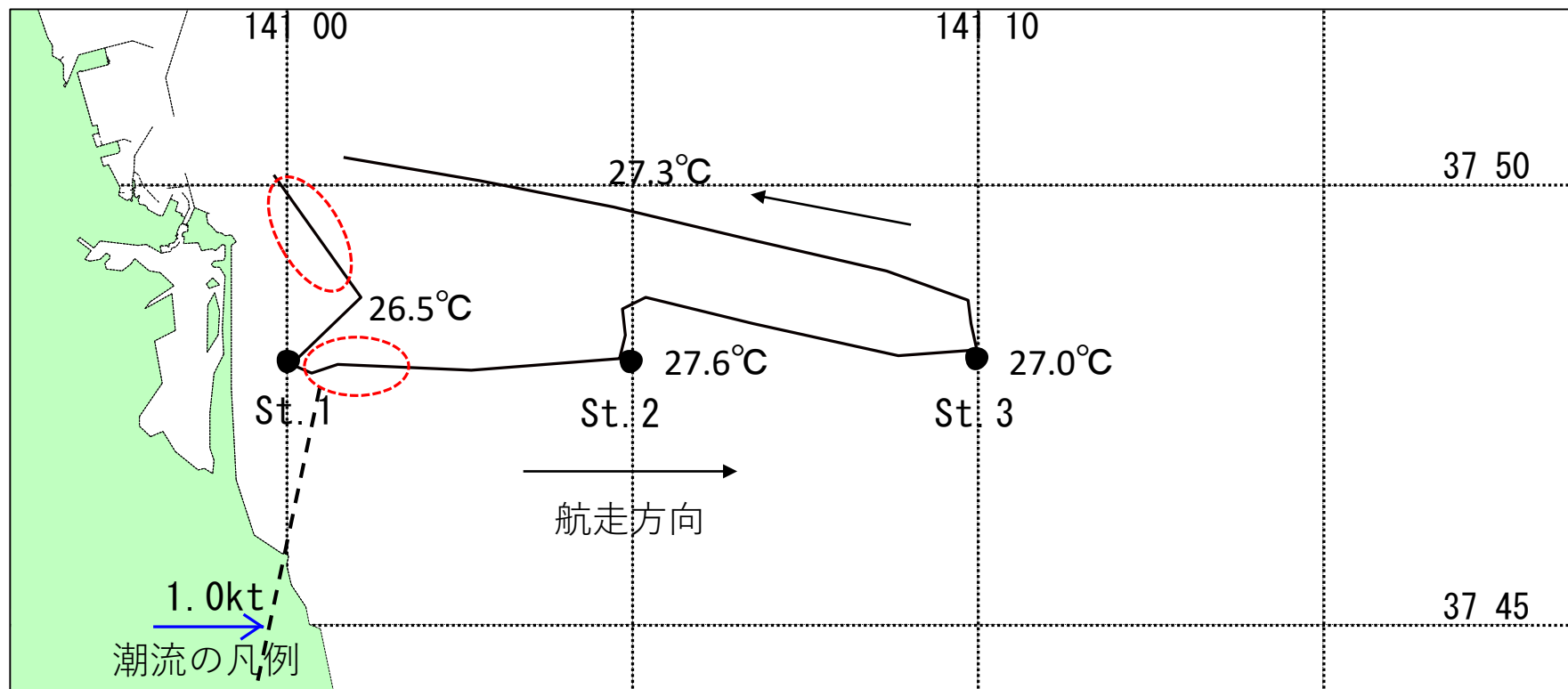
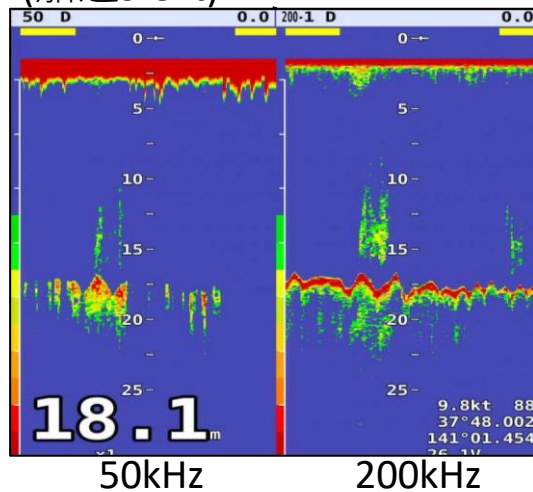


図3 (a)相馬海域における8月の1定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量

# シラス曳網調査 (R5.08.31 福島県水産海洋研究センター)



(船速9.8kt)



令和5年8月31日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査 (St.1~3) を実施しました。

その際の航跡、表層水温を示します。

St.1~3で数十尾のシラスが採捕されました。

シラスの全長は10~20mm程度でした。

(詳細な測定結果は後日お知らせします。)

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。

左図は反応の例です。

# 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 9 報)

令和 5 年 9 月 1 日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

8 月 31 日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 9m)、141-05E(水深 27m)、141-10E(水深 36m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

26.5℃～27.5℃

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 52～282 尾 (合計 471 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(8 月 21 日、灘側 3 点 1～1,088 尾、合計 1,239 尾)と比較し、減少しました。

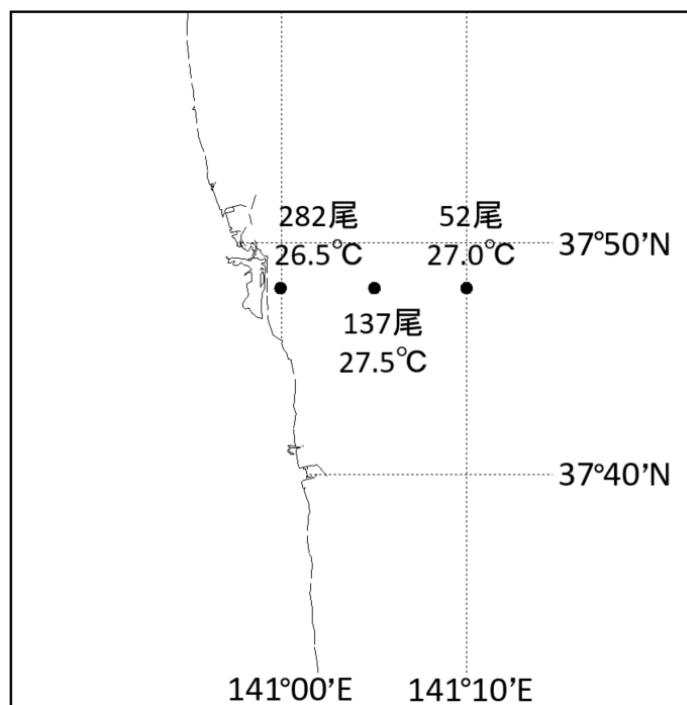


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：4.8～24.7mm(モード：10.0～12.0mm)

10mm 前後の群、15mm 前後の群、20mm 前後の群の3つの群で構成されていました。

141-00E は10mm 前後、15mm 前後、20mm 前後の3つの群で構成されていました。141-05E、141-10E は10mm 前後の群で構成されていました。

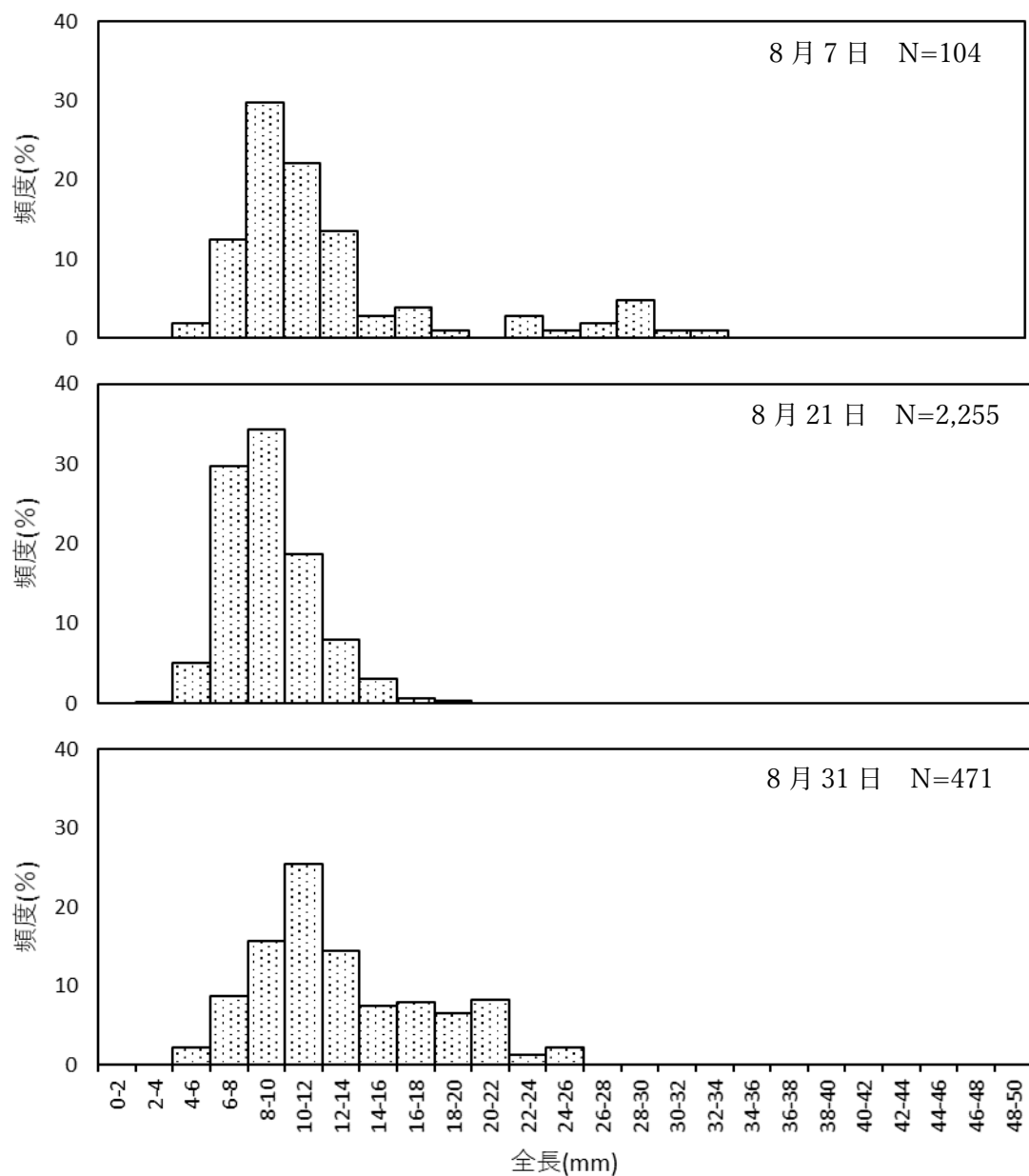


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 5 年 8 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で 5 番目に多い結果となりました(図 3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

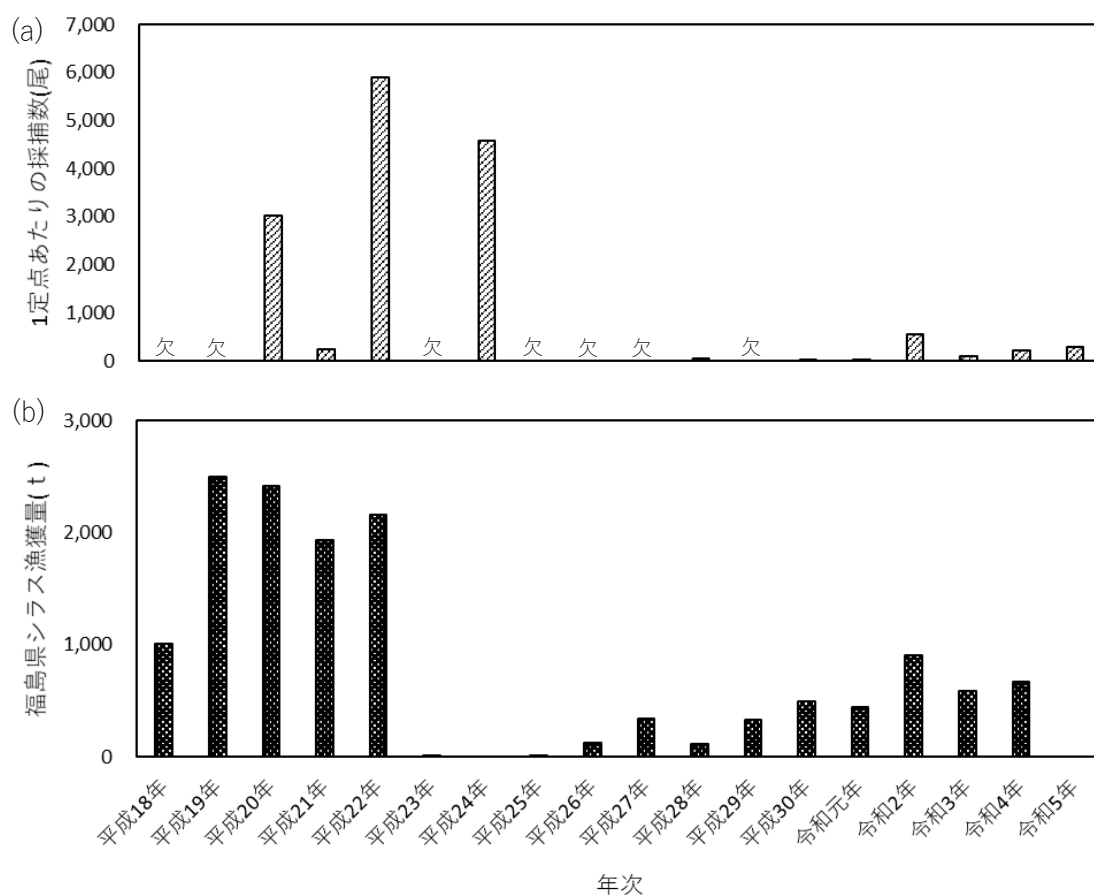
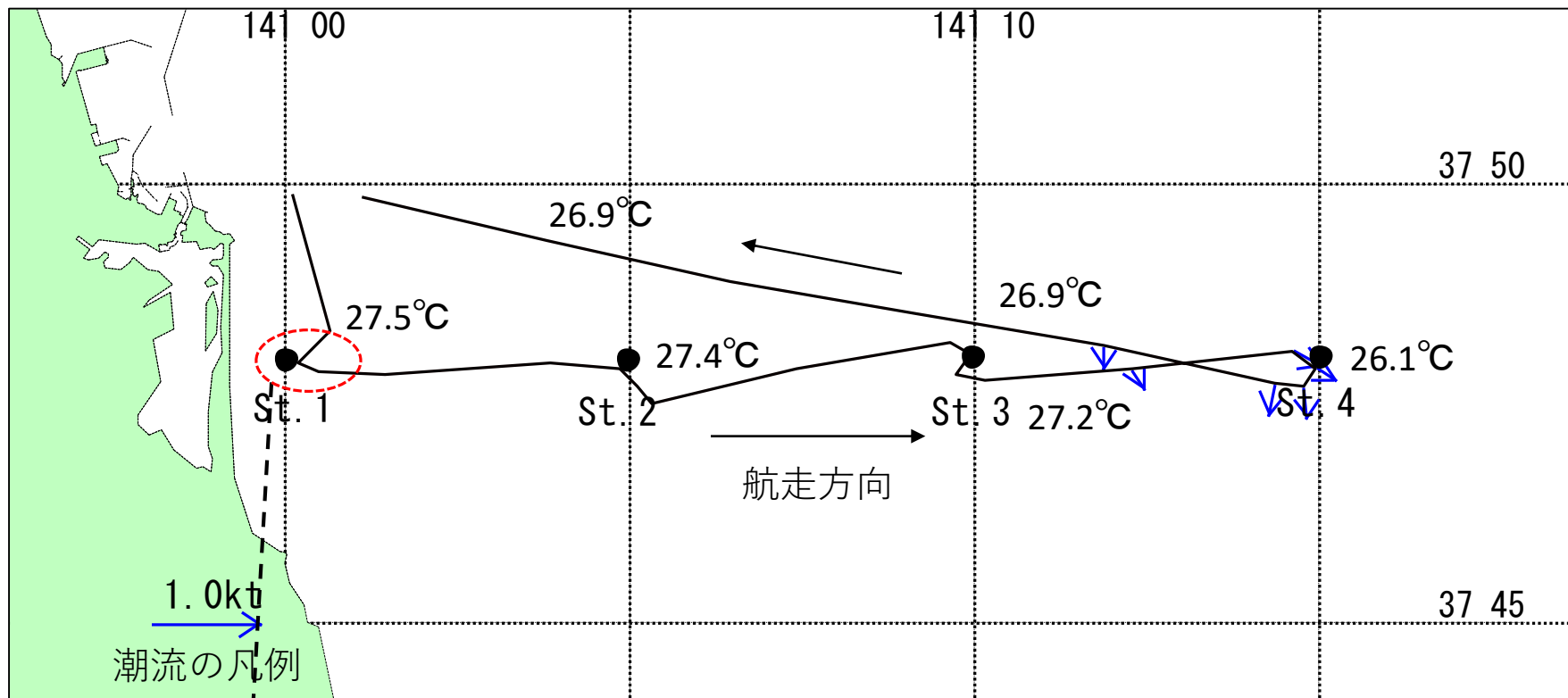
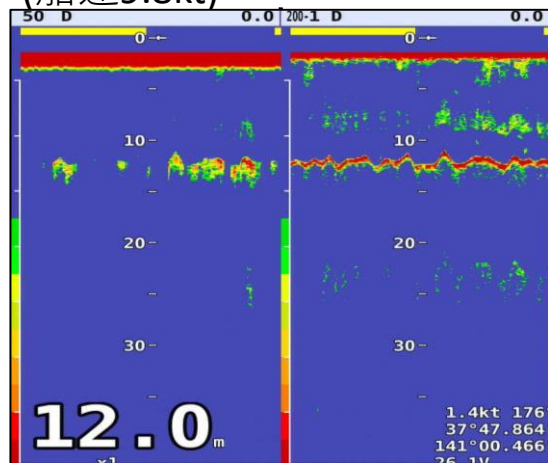


図 3 (a)相馬海域における 8 月の 1 定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量

# シラス曳網調査（R5.09.07 福島県水産海洋研究センター）



(船速9.8kt)



令和5年9月6日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査（St.1～4）を実施しました。

その際の航跡、表層水温を示します。

St.1～4で数十尾のシラスが採捕されました。

シラスの全長はSt.1では10～20mm程度、St.2～4では10mm程度でした。

（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。

左図は反応の例です。

# 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 10 報)

令和 5 年 9 月 8 日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

9 月 6 日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 33m)

141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 54m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網(船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

26.1℃～27.5℃

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 34～117 尾(合計 365 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(8 月 31 日、52～282 尾、合計 471 尾)と比較し、減少しました。

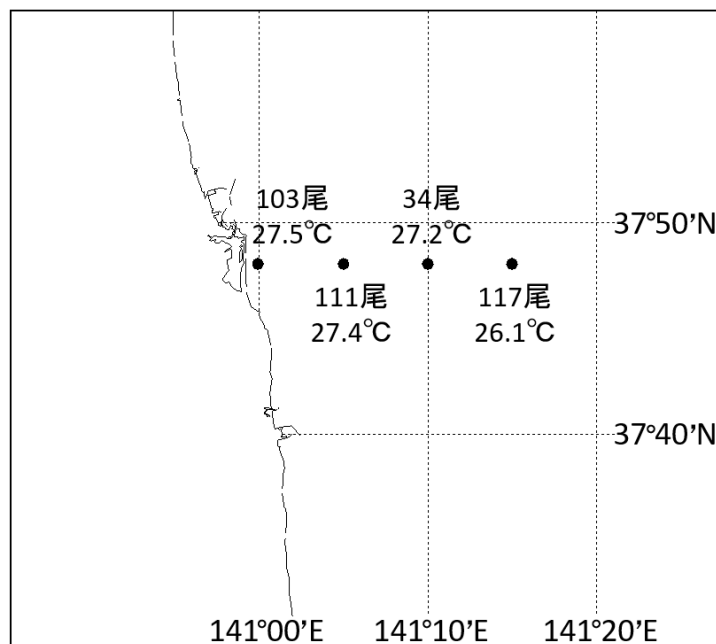


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：3.9～26.1mm(モード：12.0～14.0mm)

10mm 前後の群、15mm 前後の群、20mm 前後の群の 3 つの群で構成されていました。

141-00E では 10mm 前後、15mm 前後、20mm 前後の 3 つの群のシラスで構成されていました。141-05E は 15mm 前後の群、141-10E は 10mm 前後の群、141-15E は 5mm 前後、10mm 前後の 2 つの群のシラスで構成されていました。

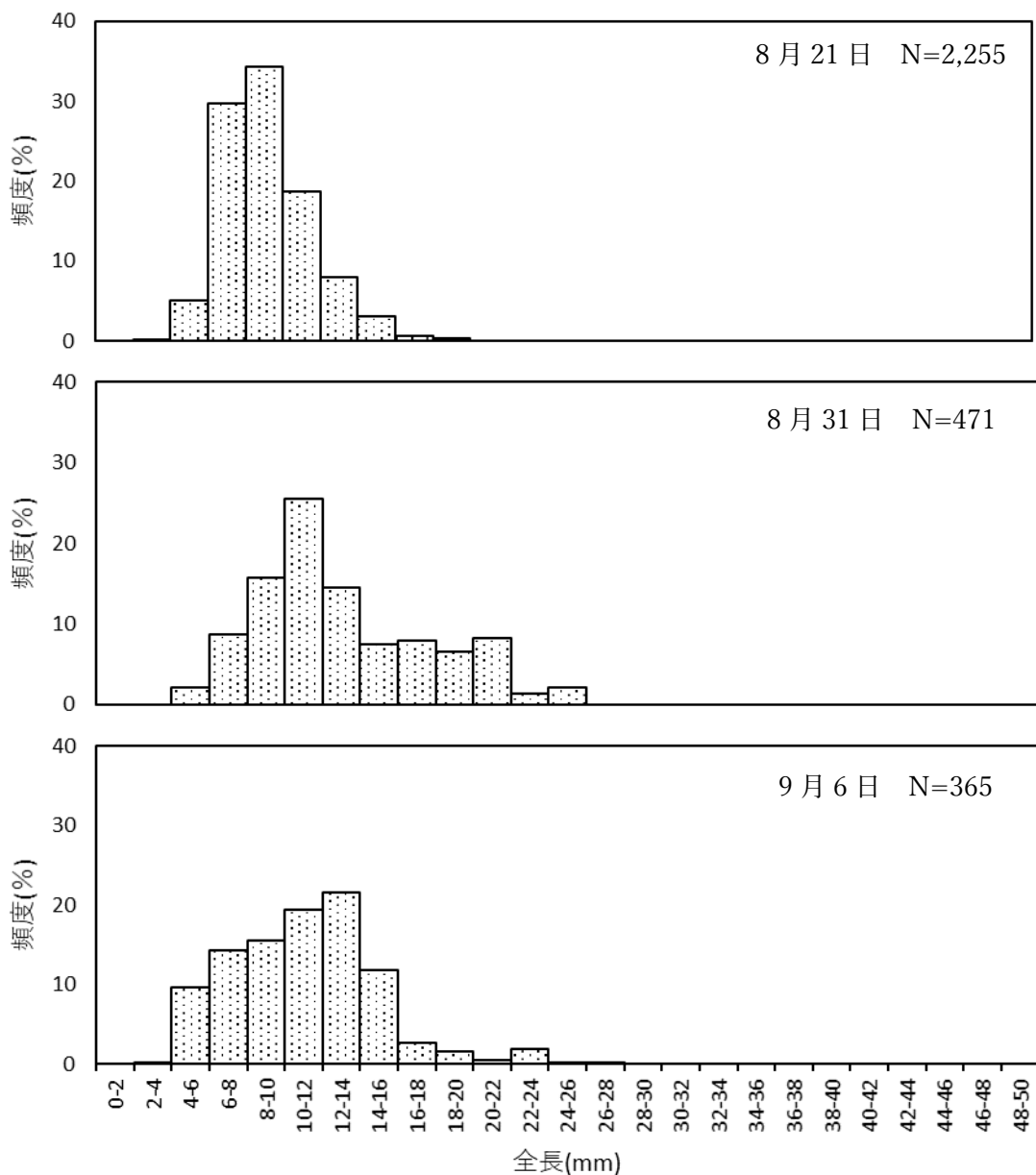


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成



(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 5 年 9 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で 3 番目に多い結果となりました(図 3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

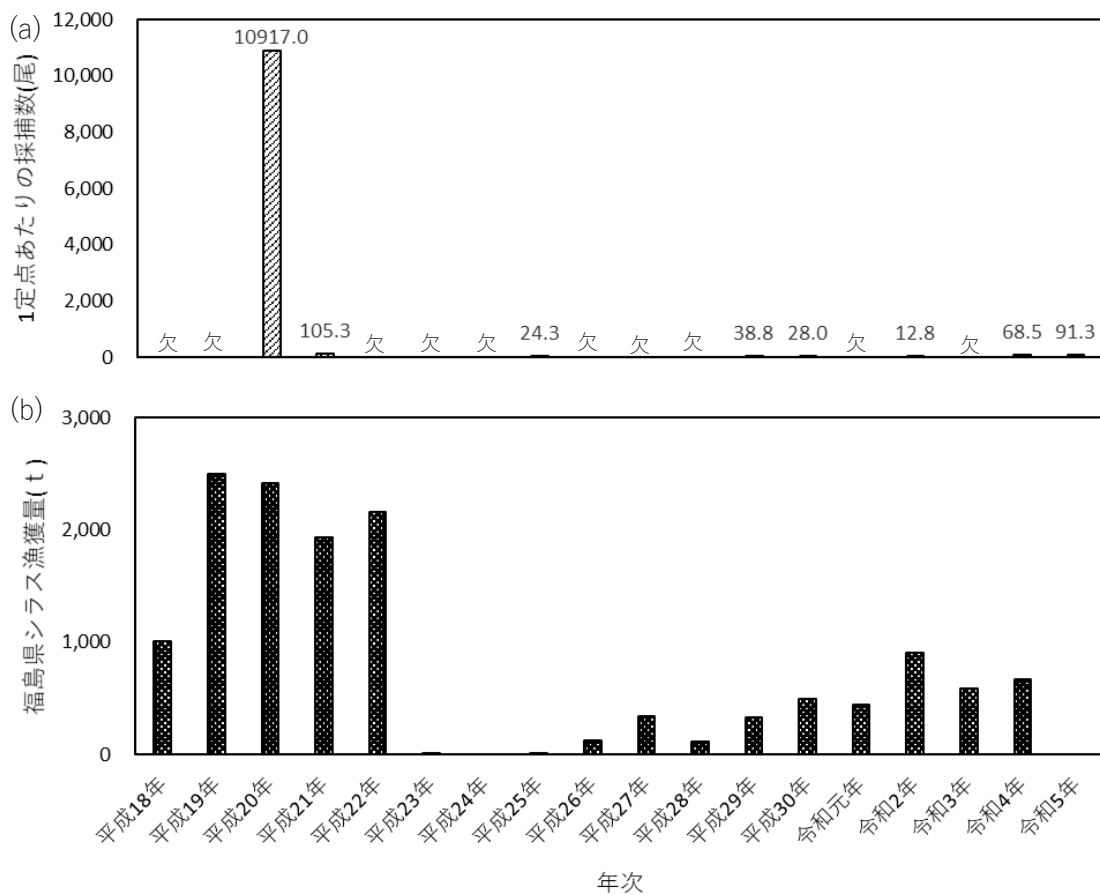
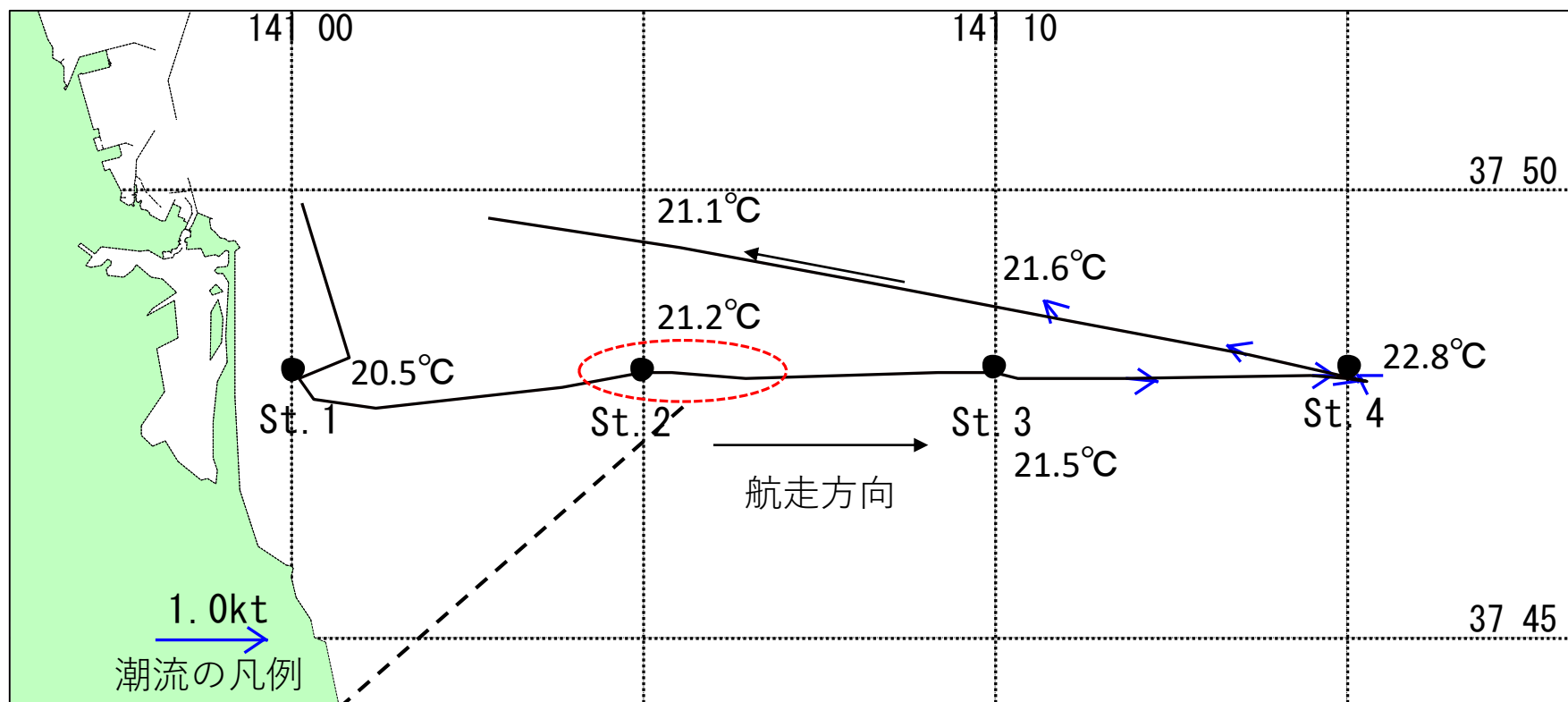
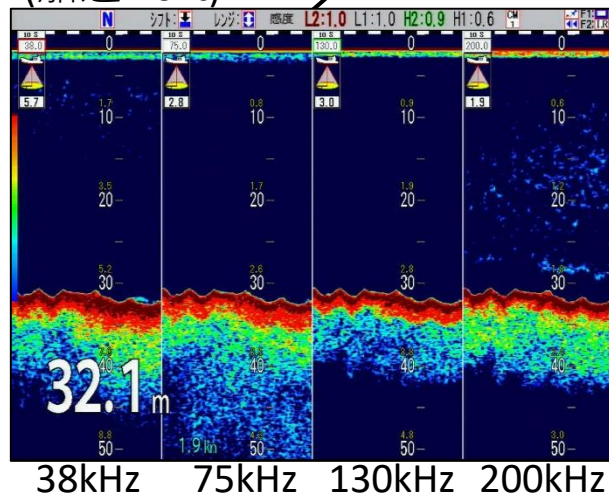


図 3 (a)相馬海域における 9 月の 1 定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量

# シラス曳網調査（R5.10.19 福島県水産海洋研究センター）



(船速2.0kt)



令和5年10月18日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査（St.1～4）を実施しました。

その際の航跡、表層水温を示します。

St.1～4で数百尾のシラスが採捕されました。

シラスの全長はSt.1では20～30mm程度、St.2～4では10～20mm程度でした。（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。左図は反応の例です。

# 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 11 報)

令和 5 年 10 月 20 日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

10 月 18 日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 9m)、141-05E(水深 28m)  
141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 54m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

20.5℃～22.7℃

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 340～2,576 尾 (合計 5,860 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(9 月 6 日、34～117 尾、合計 365 尾)と比較し、増加しました。

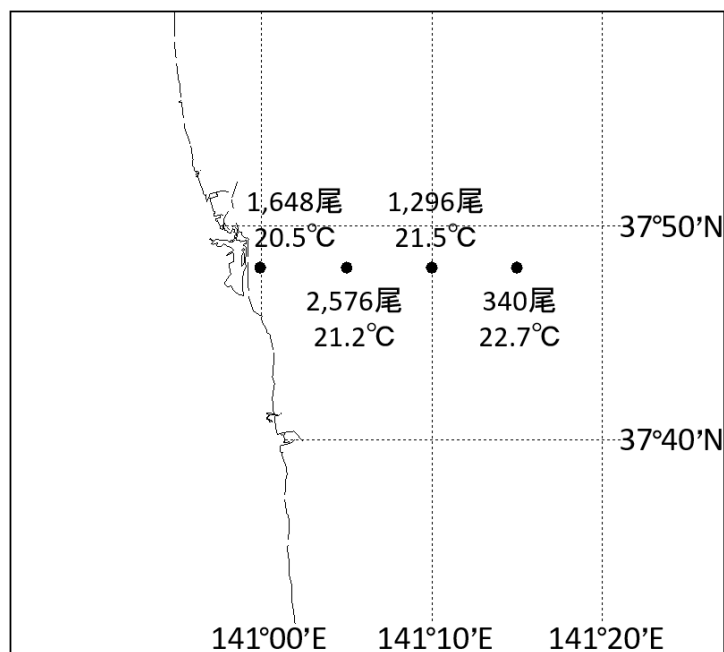


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：6.0～34.7mm(モード：10.0～12.0mm)

10mm 前後の群、15mm 前後の群、30mm 前後の群の 3 つの群で構成されていました。

141-00E では 15mm 前後、30mm 前後の 2 つの群、141-05E、141-10E、141-15E は 10mm 前後、15mm 前後の 2 つの群のシラスで構成されていました。

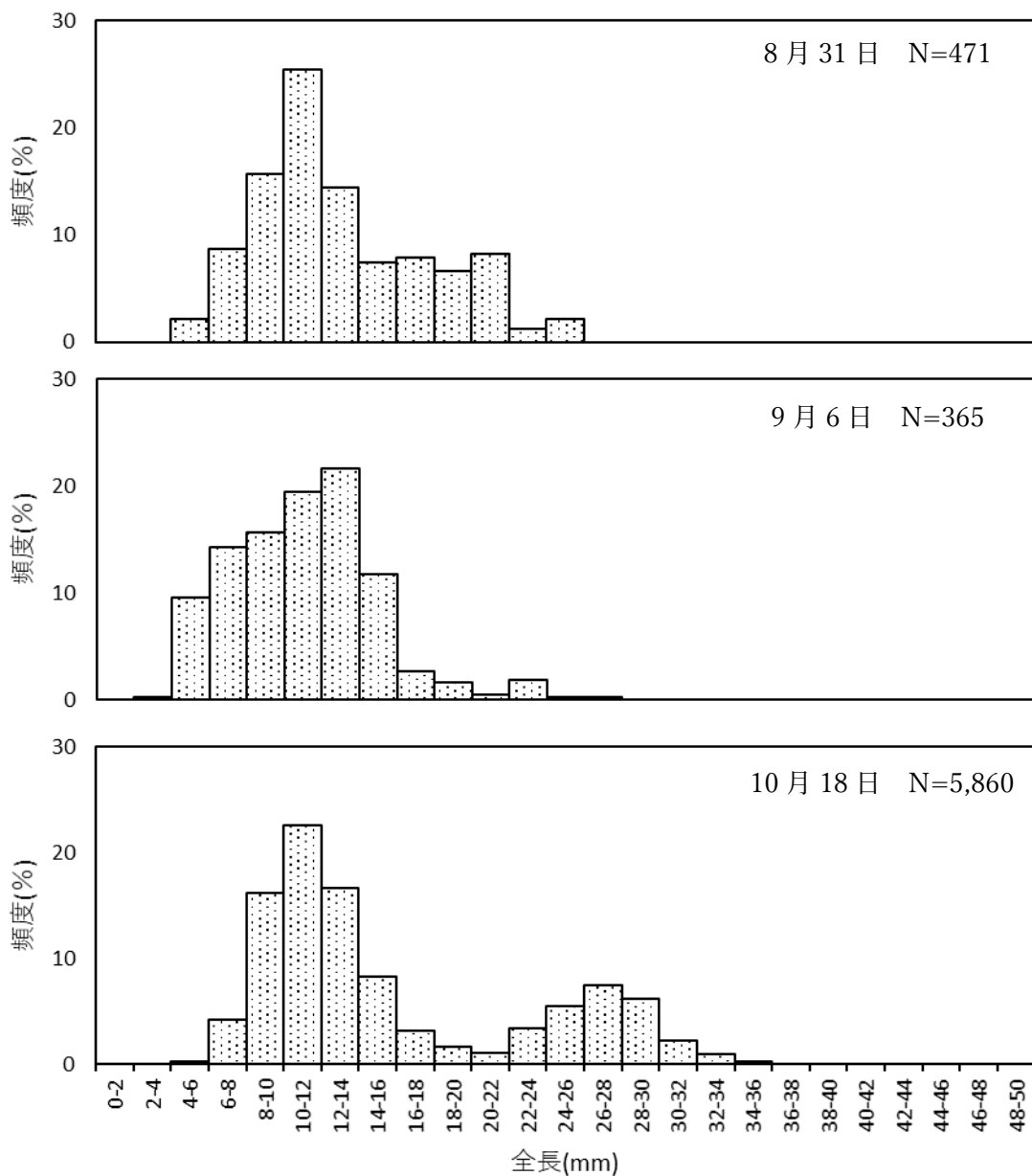


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 5 年 10 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で最も多い結果となりました (図 3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

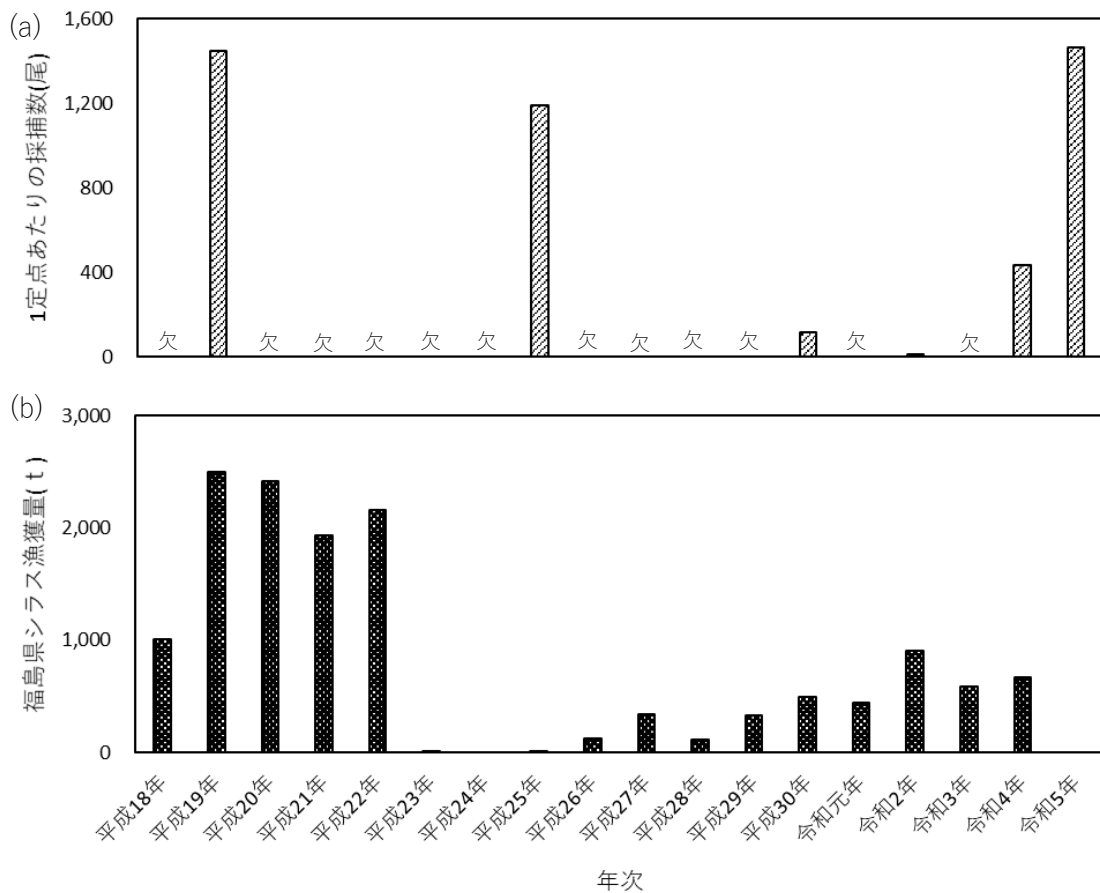
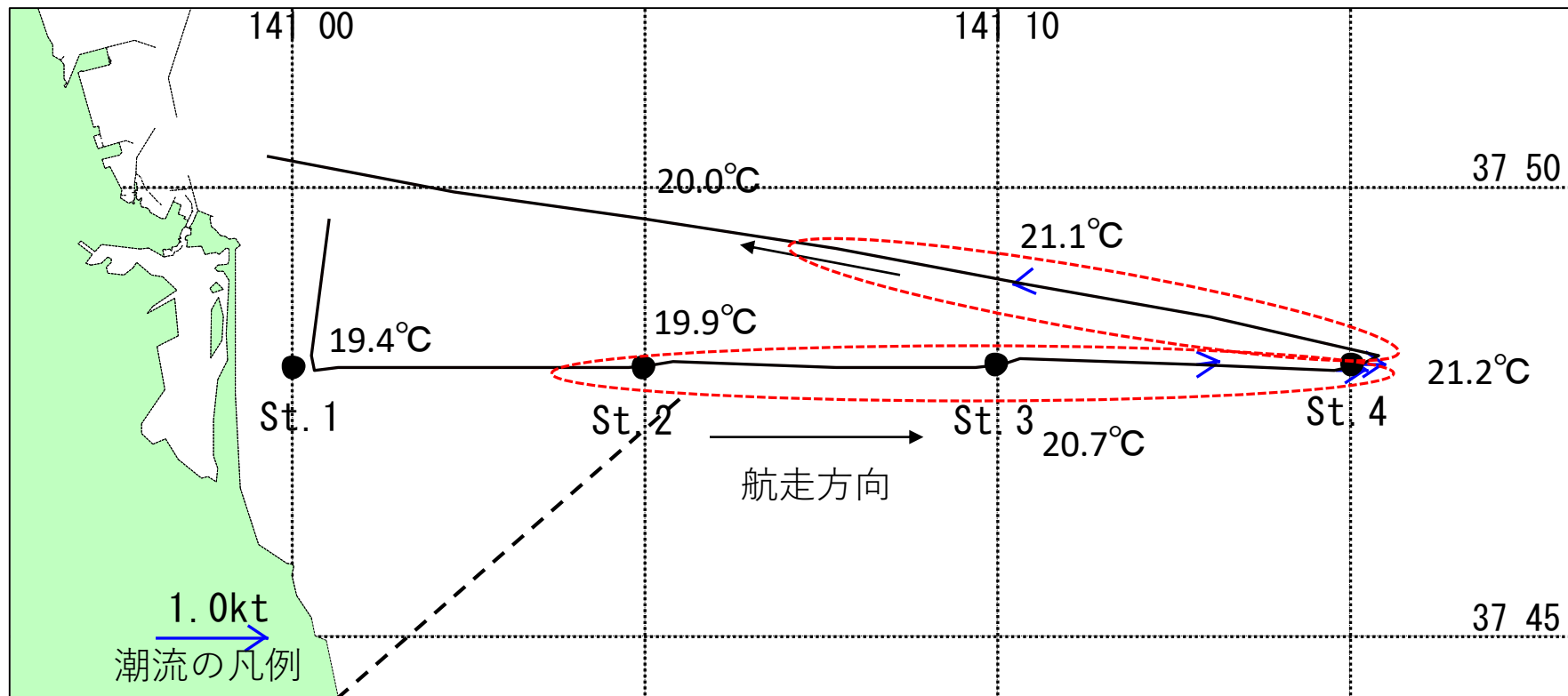
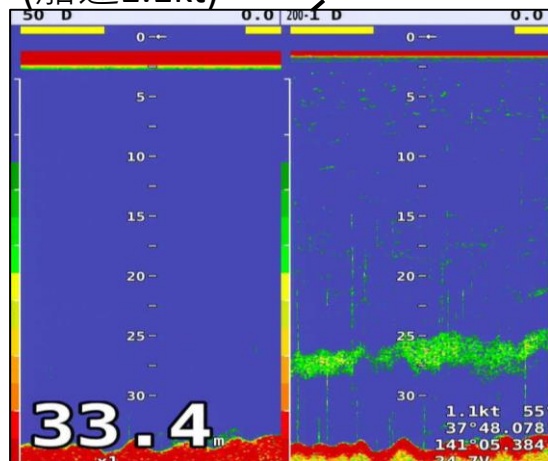


図 3 (a)相馬海域における 10 月の 1 定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量

# シラス曳網調査（R5.11.02 福島県水産海洋研究センター）



(船速1.1kt)



令和5年11月2日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査（St.1～4）を実施しました。

その際の航跡、潮流、表層水温を示します。

**St.1～4で数百尾のシラスが採捕されました。**

シラスの全長はSt.1では20mm程度、St.2～4では10～15mm程度でした。

（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。

左図は反応の例です。

# 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 12 報)

令和 5 年 11 月 7 日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

11 月 2 日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 28m)

141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 54m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網(船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

19.4℃～21.2℃

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 492～4,384 尾(合計 7,820 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(10 月 18 日、340～2,576 尾、合計 5,860 尾)と比較し、増加しました。

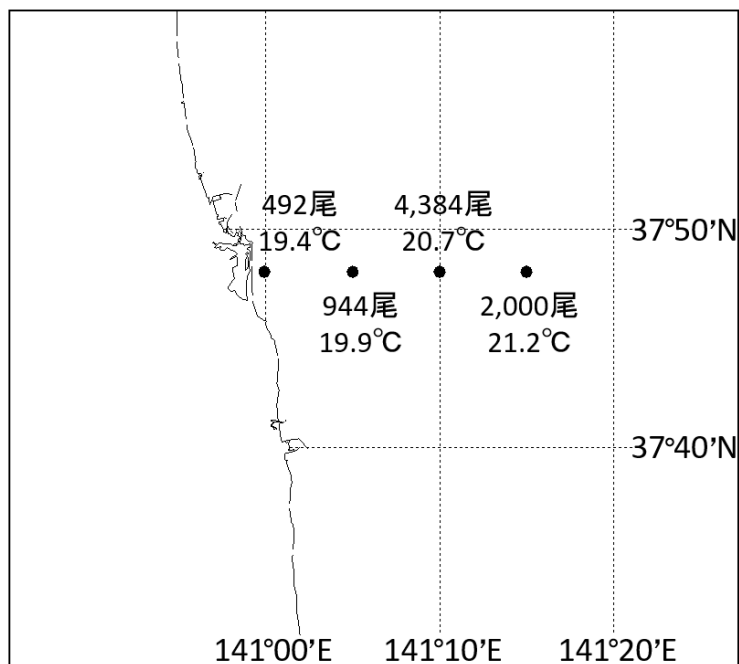


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：7.1～38.2mm(モード：10.0～12.0mm)

10mm 前後の群、15mm 前後の群、30mm 前後の群の 3 つの群で構成されていました。

141-00E では 20mm 前後、30mm 前後の 2 つの群、141-05E では 15mm 前後、30mm 前後の 2 つの群、141-10E では 10mm 前後の群、141-15E では 10mm 前後、15mm 前後の 2 つの群のシラスで構成されていました。

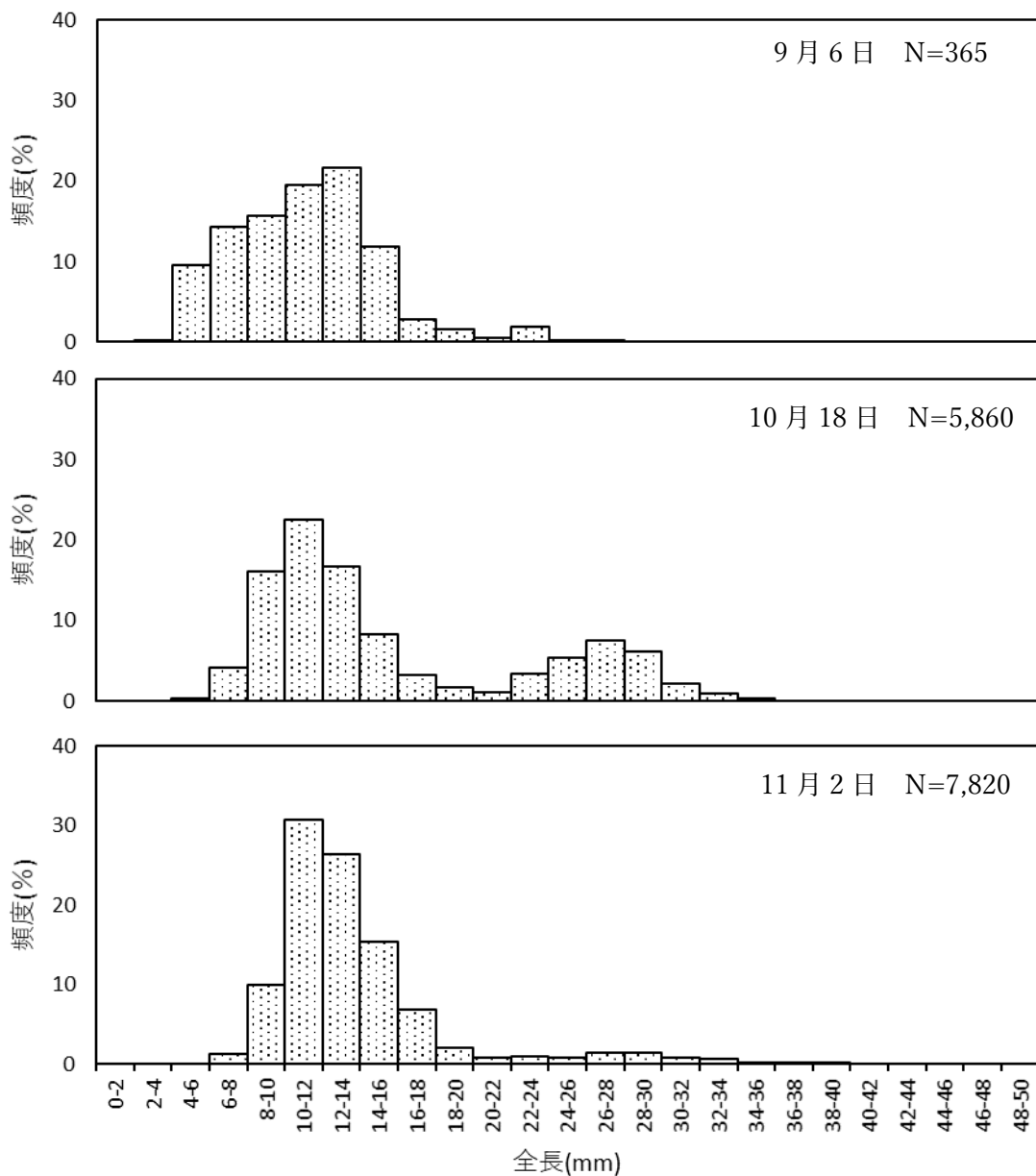


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成



(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 5 年 11 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で最も多い結果となりました (図 3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

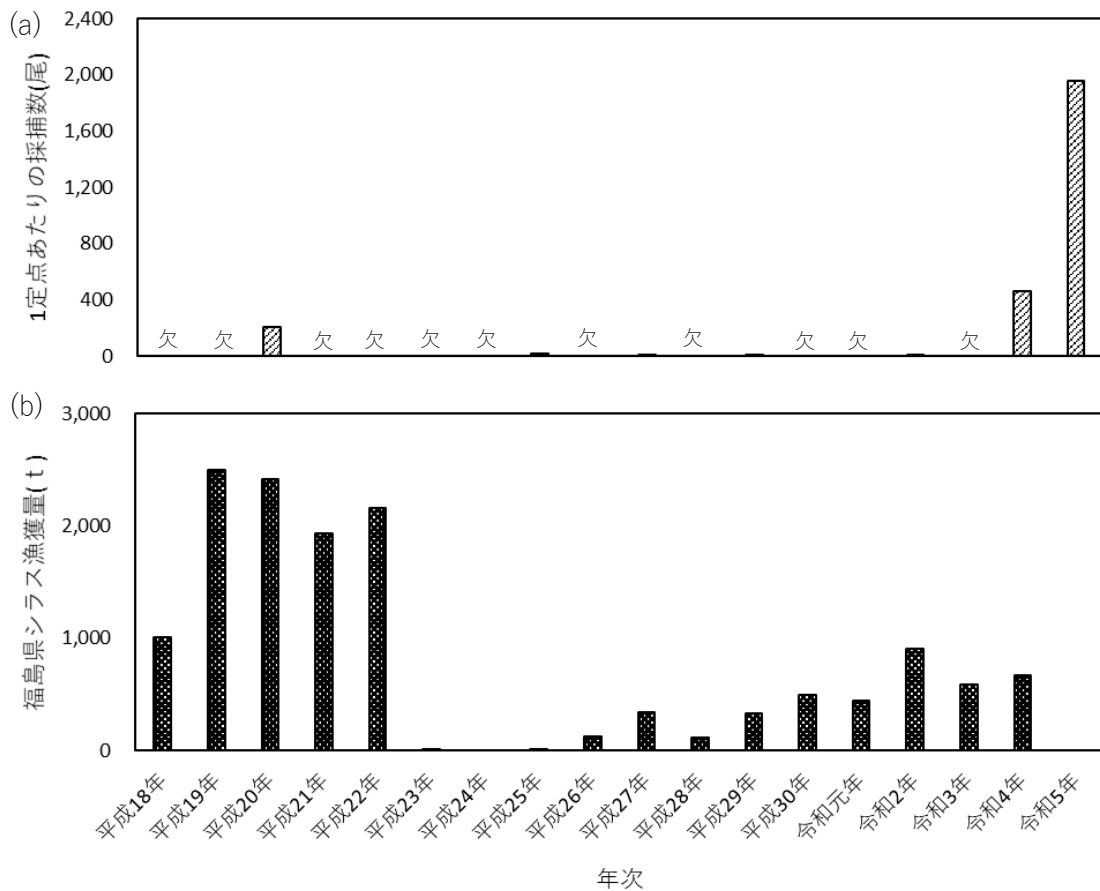
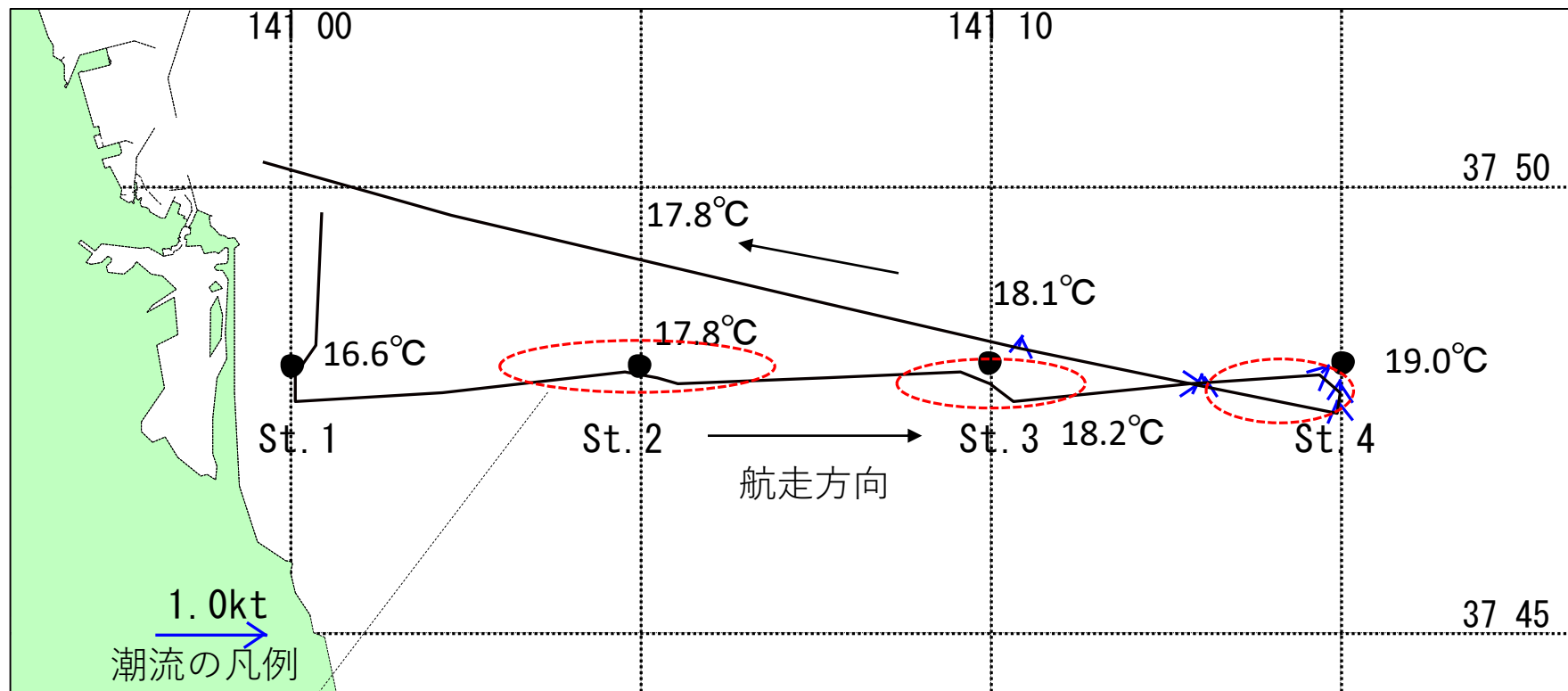
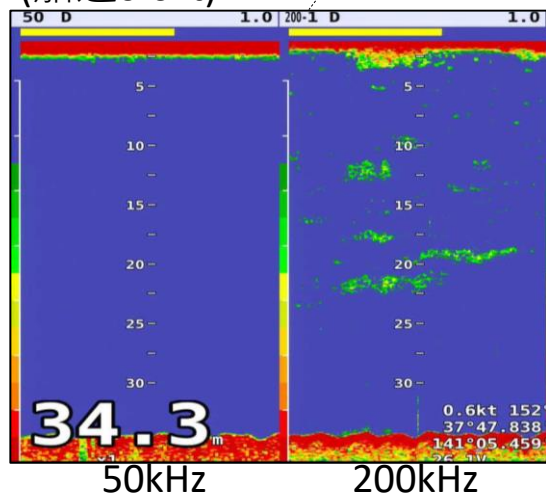


図 3 (a)相馬海域における 11 月の 1 定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量

# シラス曳網調査（R5.11.17 福島県水産海洋研究センター）



(船速0.6kt)



令和5年11月16日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査（St.1～4）を実施しました。

その際の航跡、潮流、表層水温を示します。

**St.1で数十尾、St.2～4で数百尾のシラスが採捕されました。**

シラスの全長はSt.1では20mm程度、St.2～4では10～20mm程度でした。

（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。

左図は反応の例です。

# 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 13 報)

令和 5 年 11 月 21 日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

11 月 16 日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 31m)

141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 53m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網(船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

16.6℃～18.9℃

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 68～189 尾(合計 594 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(11 月 2 日、492～4,384 尾、合計 7,820 尾)と比較し、減少しました。

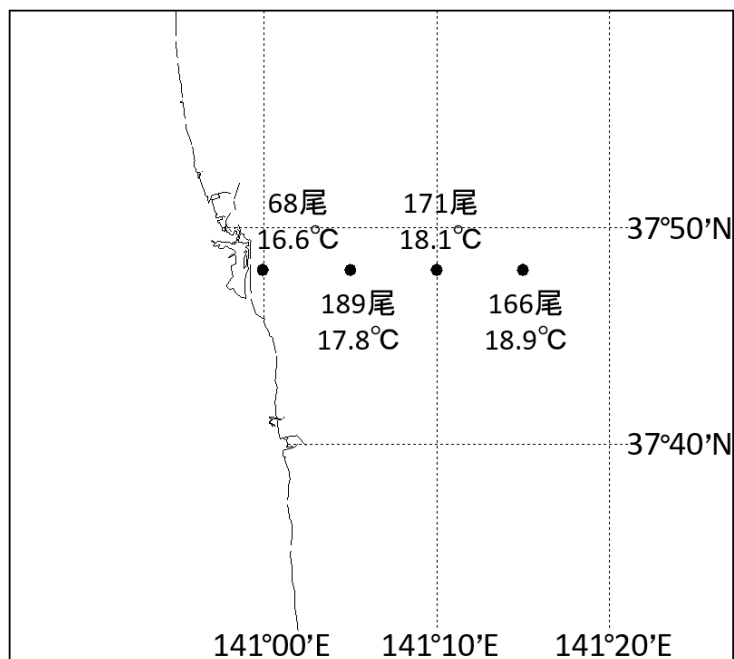


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：4.7～36.8mm(モード：10.0～12.0mm)

10mm 前後の群、15mm 前後の群の 2 つの群で構成されていました。

141-00E では 20mm 前後の群、141-05E、141-10E では 10mm 前後、15mm 前後の 2 つの群、141-15E では 10mm 前後の群のシラスで構成されていました。

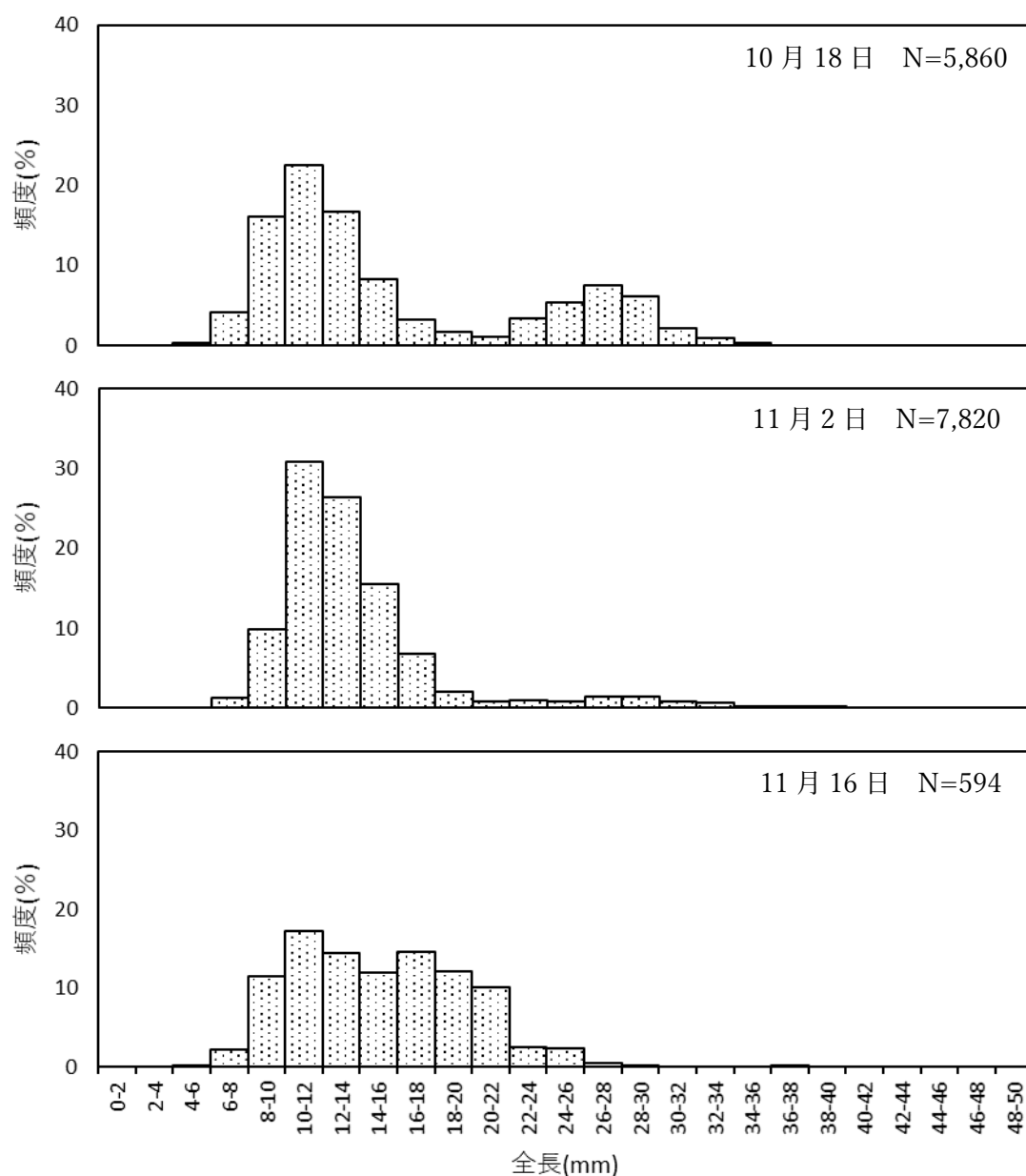


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成

#### (4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和5年11月のシラス採捕数は平成18年以降で最も多い結果となりました(図3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

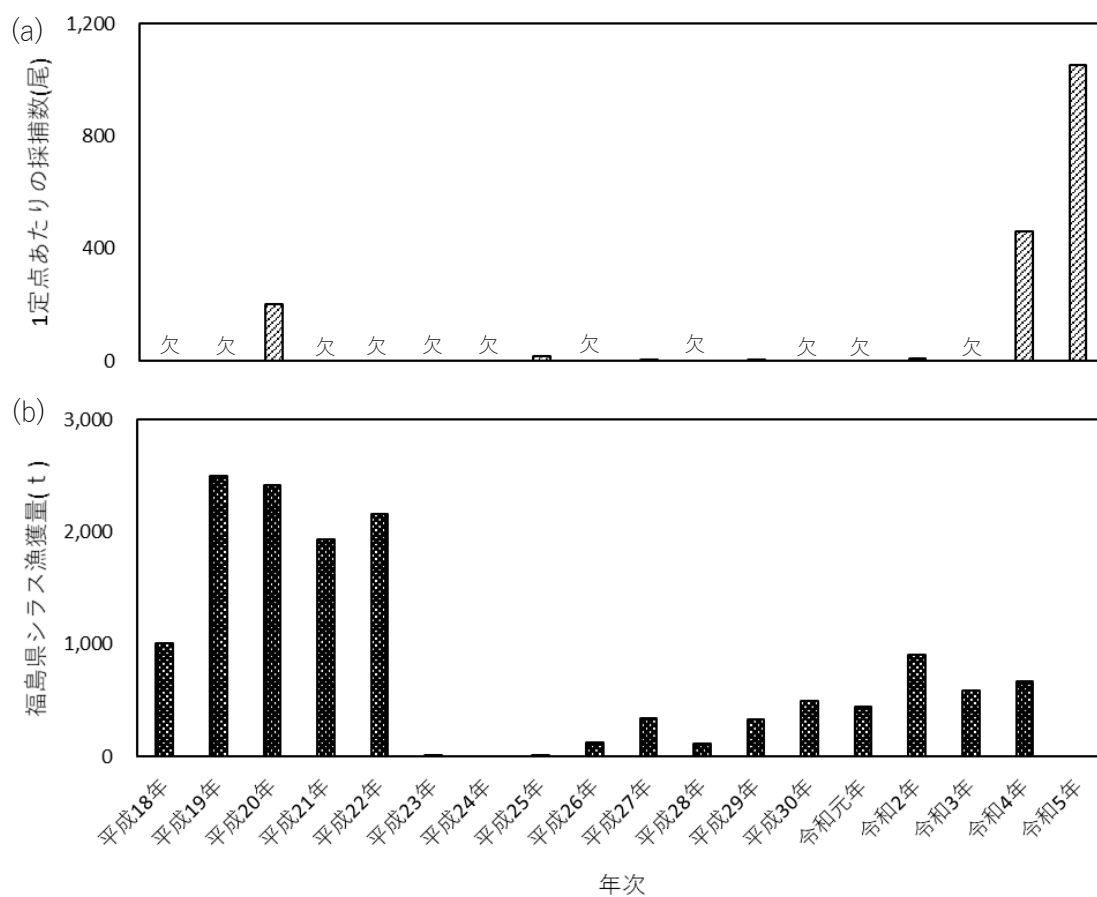
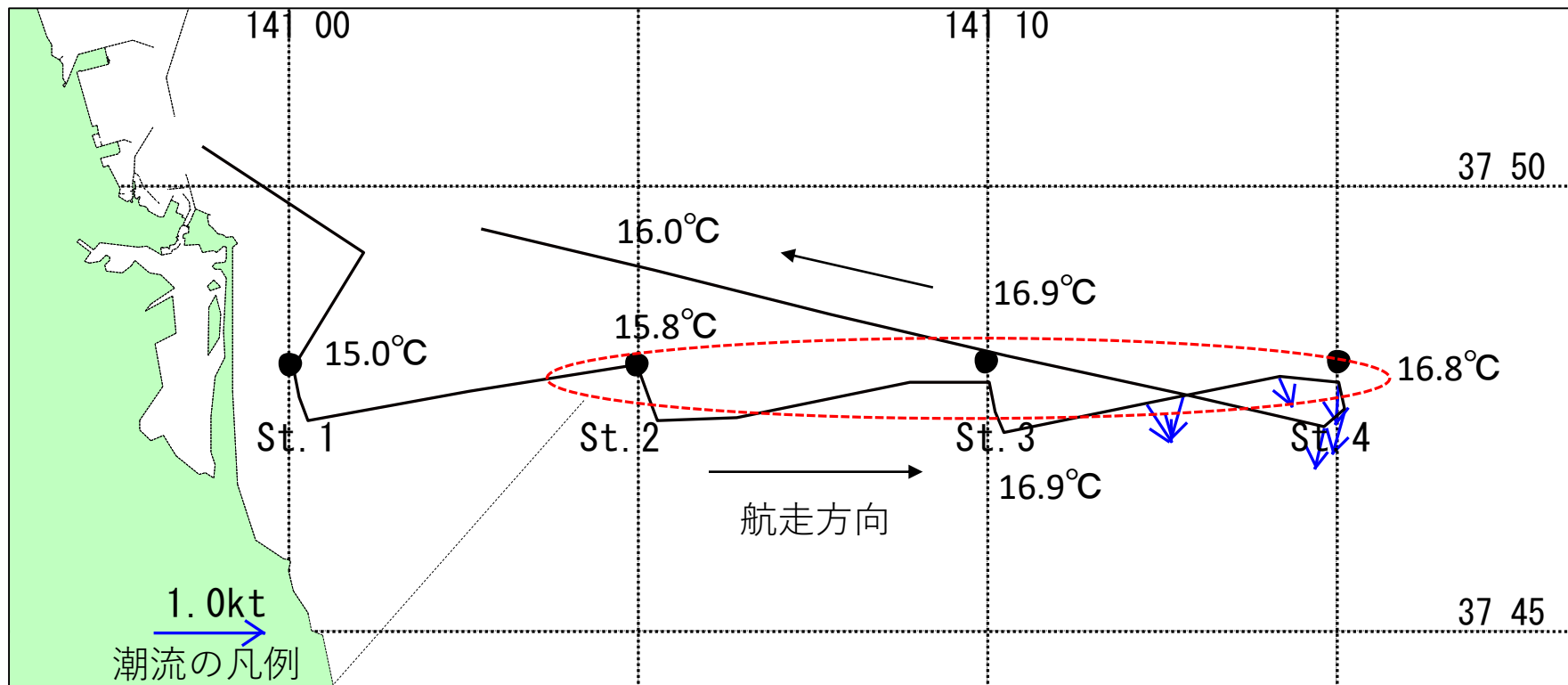
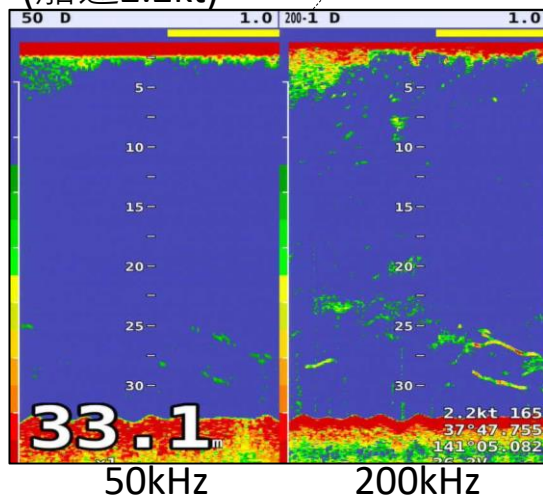


図3 (a)相馬海域における11月の1定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量

# シラス曳網調査（R5.12.04 福島県水産海洋研究センター）



(船速2.2kt)



令和5年11月30日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査（St.1～4）を実施しました。

その際の航跡、潮流、表層水温を示します。

St.1で数尾、St.2で数十尾、St.3～4で数百尾のシラスが採捕されました。シラスの全長はSt.1では20mm程度、St.2～4では10～20mm程度でした。

（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。左図は反応の例です。

## 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 14 報)

令和 5 年 12 月 4 日  
福島県水産海洋研究センター

### 1 調査日

11 月 30 日

### 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 31m)

141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 54m)

### 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網(船速 約 2kt)

### 4 調査結果

#### (1)表面水温(図 1)

14.9℃～16.8℃

#### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 0～312 尾(合計 679 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(11 月 16 日、68～189 尾、合計 594 尾)と比較し、増加しました。

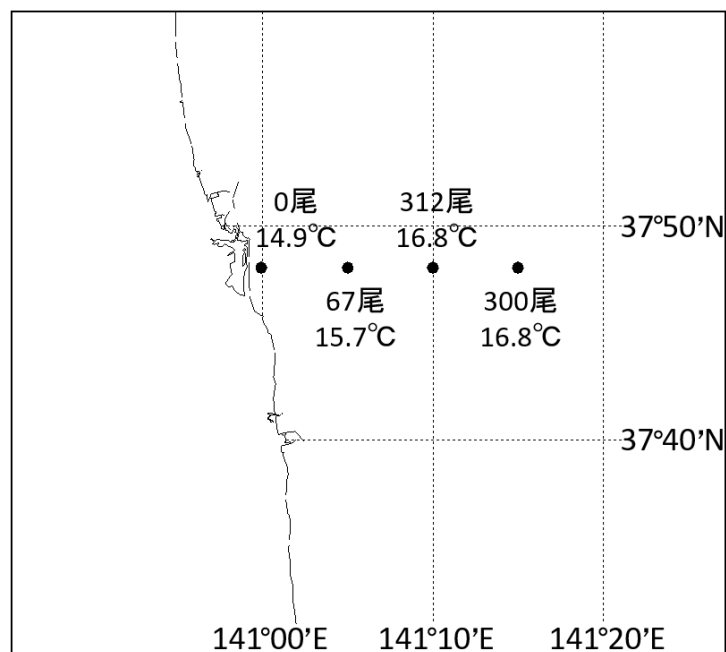


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：7.9～27.0mm(モード：14.0～16.0mm)

15mm 前後の群のシラスで構成されていました。

141-05E では 15mm 前後、20mm 前後の 2 つの群、141-10E、141-15E では 15mm 前後の群のシラスで構成されていました。

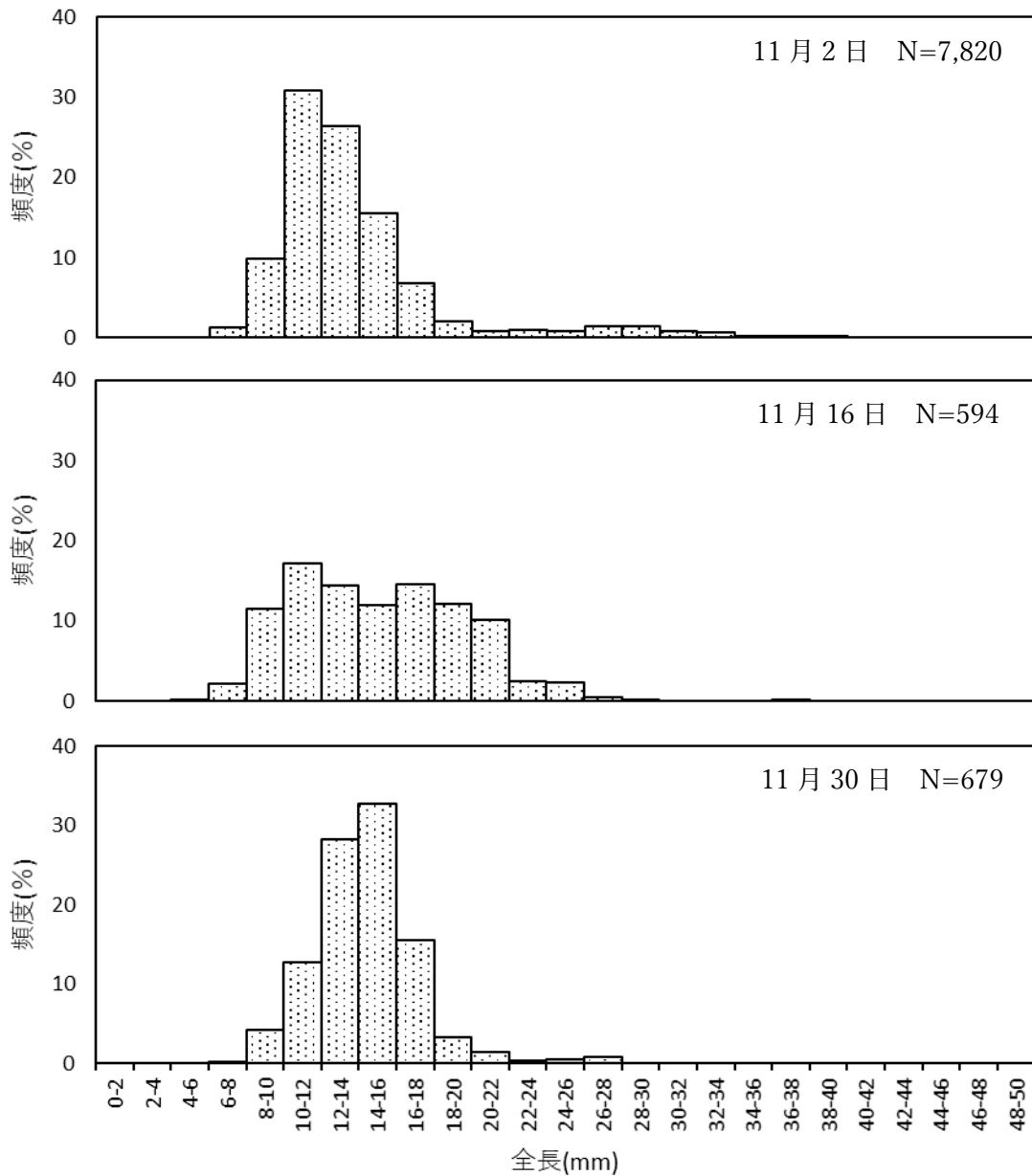


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成



(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 5 年 11 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で最も多い結果となりました (図 3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

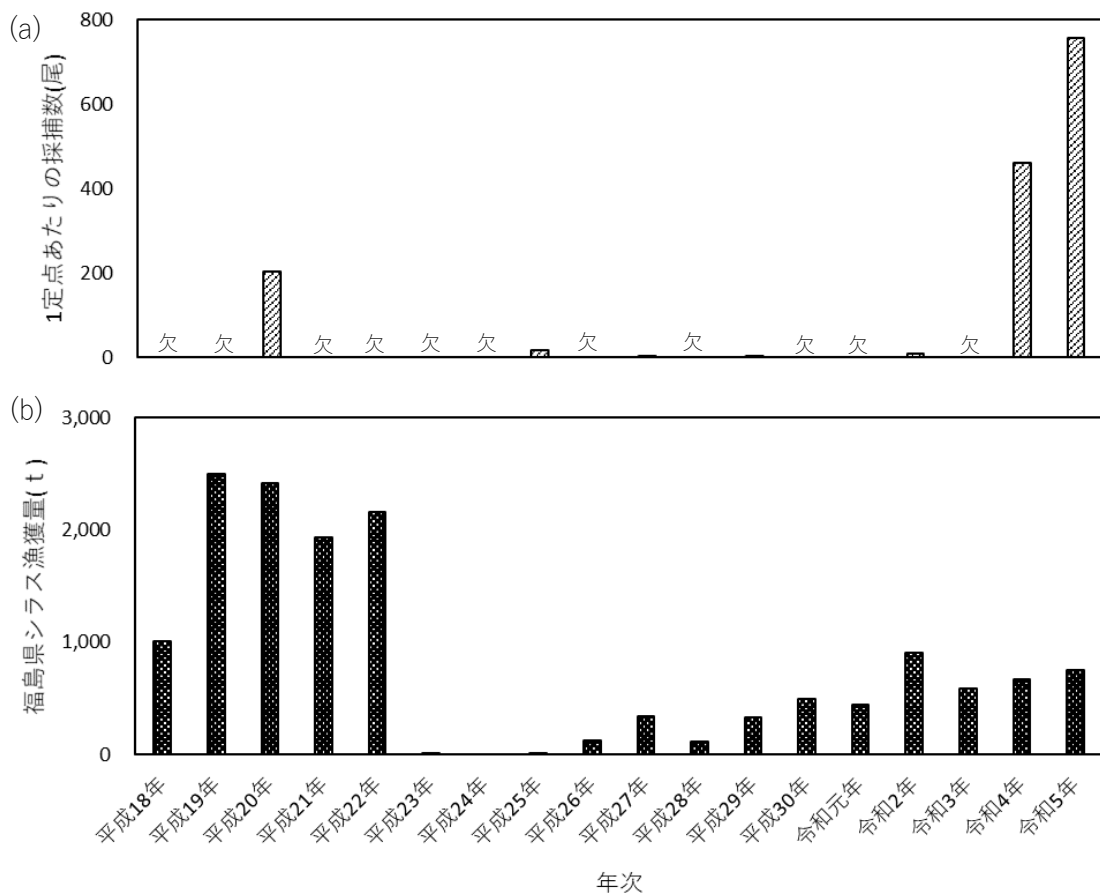
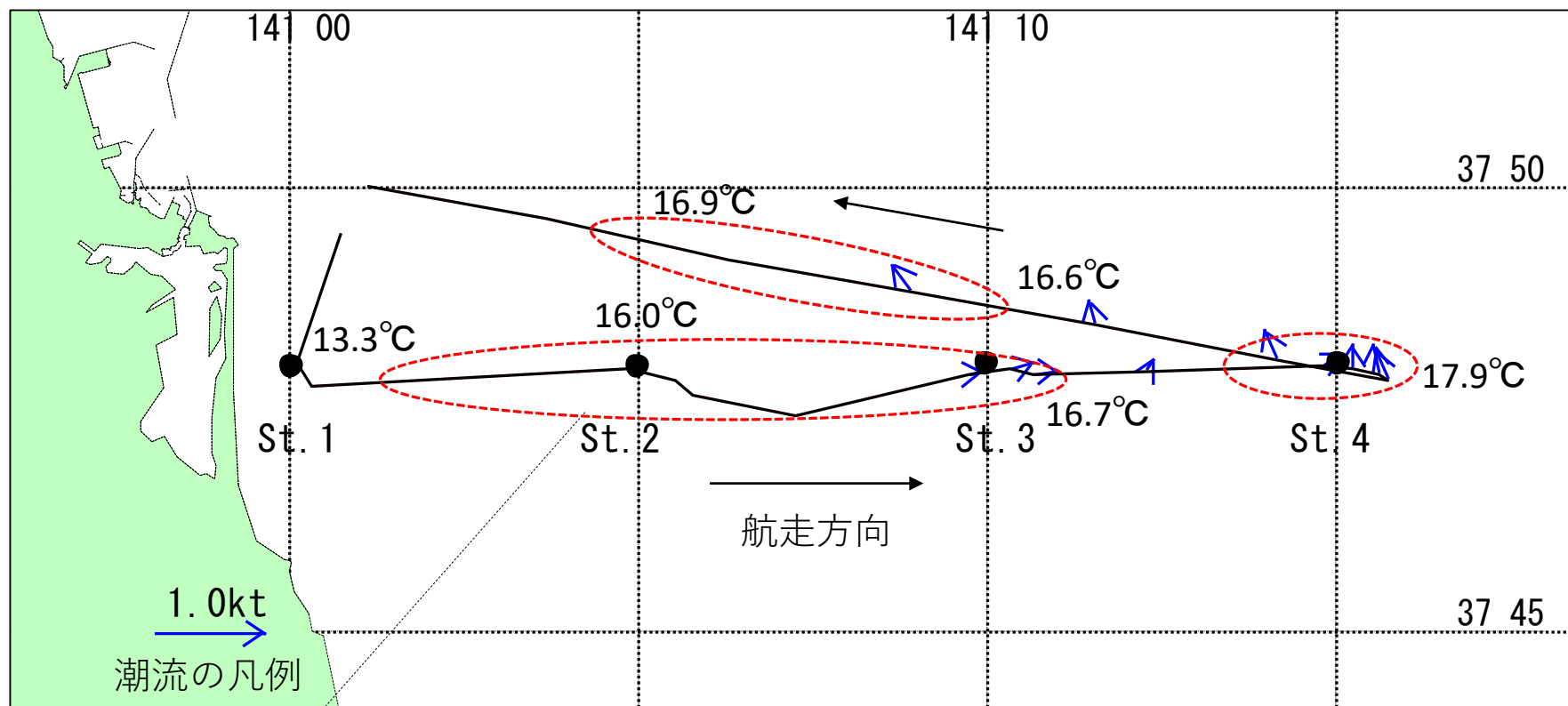
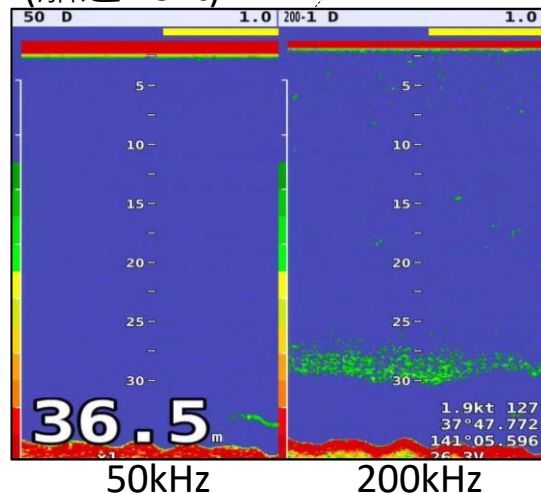


図 3 (a)相馬海域における 11 月の 1 定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量(10 月末現在)

# シラス曳網調査（R5.12.15 福島県水産海洋研究センター）



(船速1.9kt)



令和5年12月14日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査（St.1～4）を実施しました。

その際の航跡、潮流、表層水温を示します。

St.1ではシラスは採捕されませんでした。St.2では数百尾、St.3～4で数十尾のシラスが採捕されました。

シラスの全長はSt.2では20～30mm程度、St.3、4では10～20mm程度でした。（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。左図は反応の例です。

# 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 15 報)

令和 5 年 12 月 18 日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

12 月 14 日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 32m)

141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 55m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網(船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

13.2℃～17.8℃

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 0～82 尾(合計 126 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(11 月 30 日、0～312 尾、合計 679 尾)と比較し、減少しました。

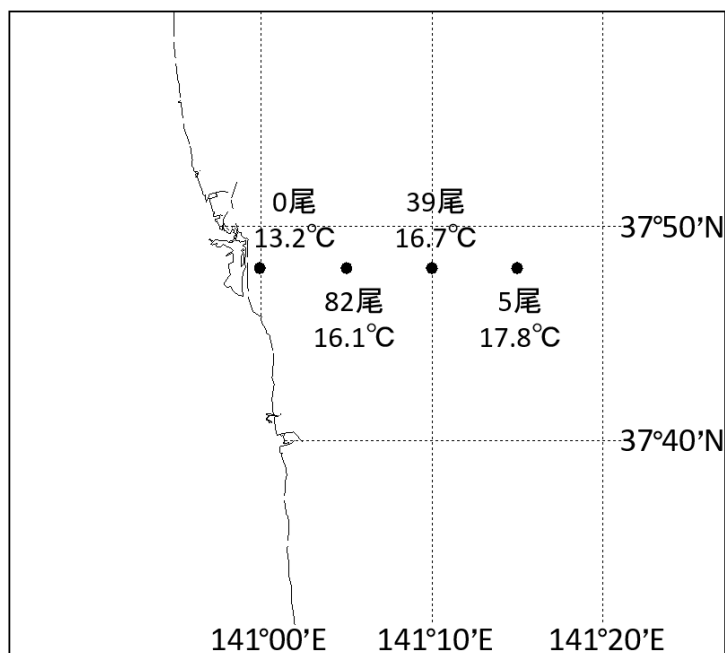


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：9.3～27.7mm(モード：16.0～18.0mm)

15mm 前後、20mm 前後の 2 つの群のシラスで構成されていました。

141-05E では 20mm 前後の群のシラスで構成されていました。141-10E、141-15E では 15mm 前後、20mm 前後のシラスが採集されました。

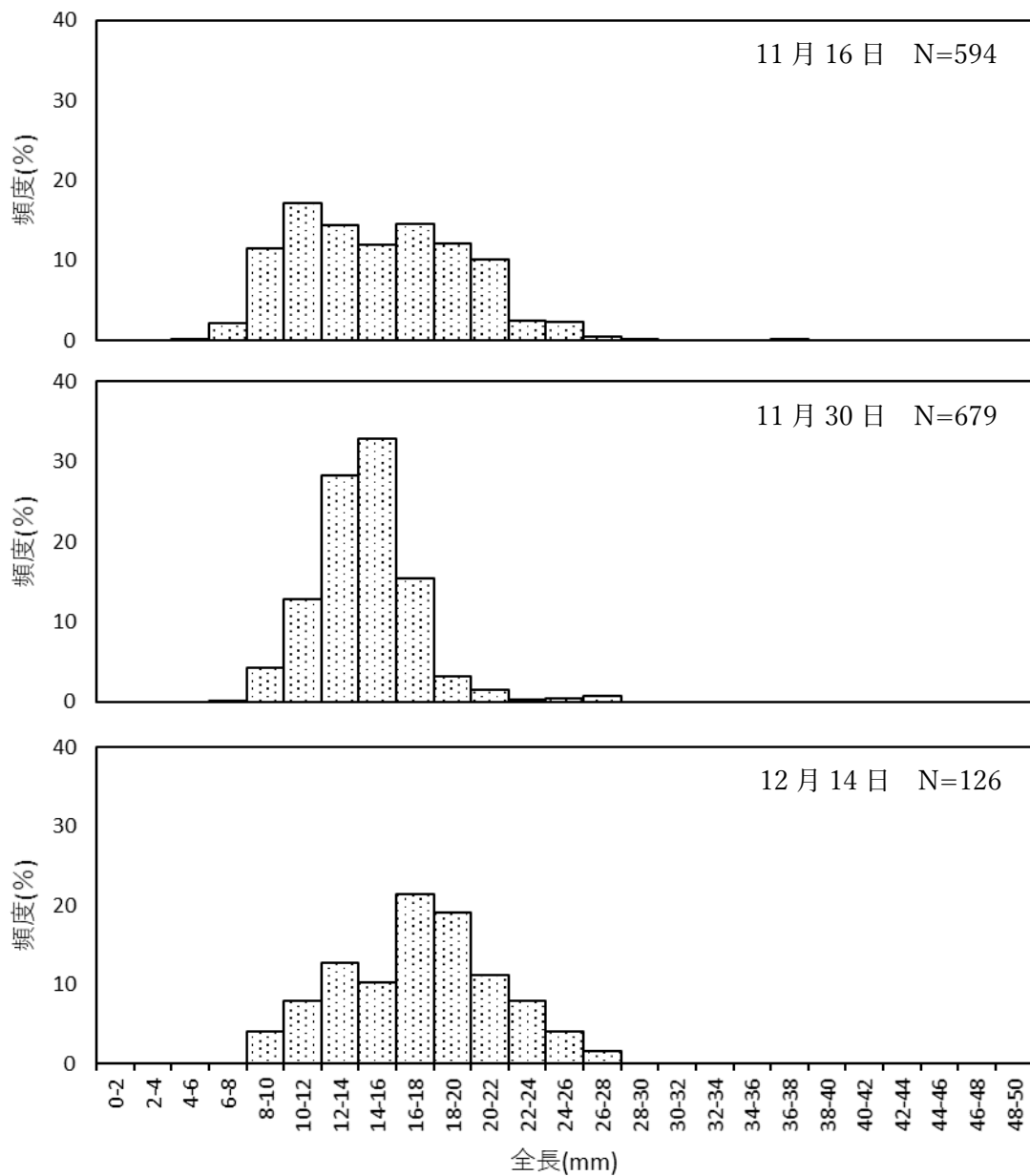


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 5 年 12 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で最も多い結果となりました (図 3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

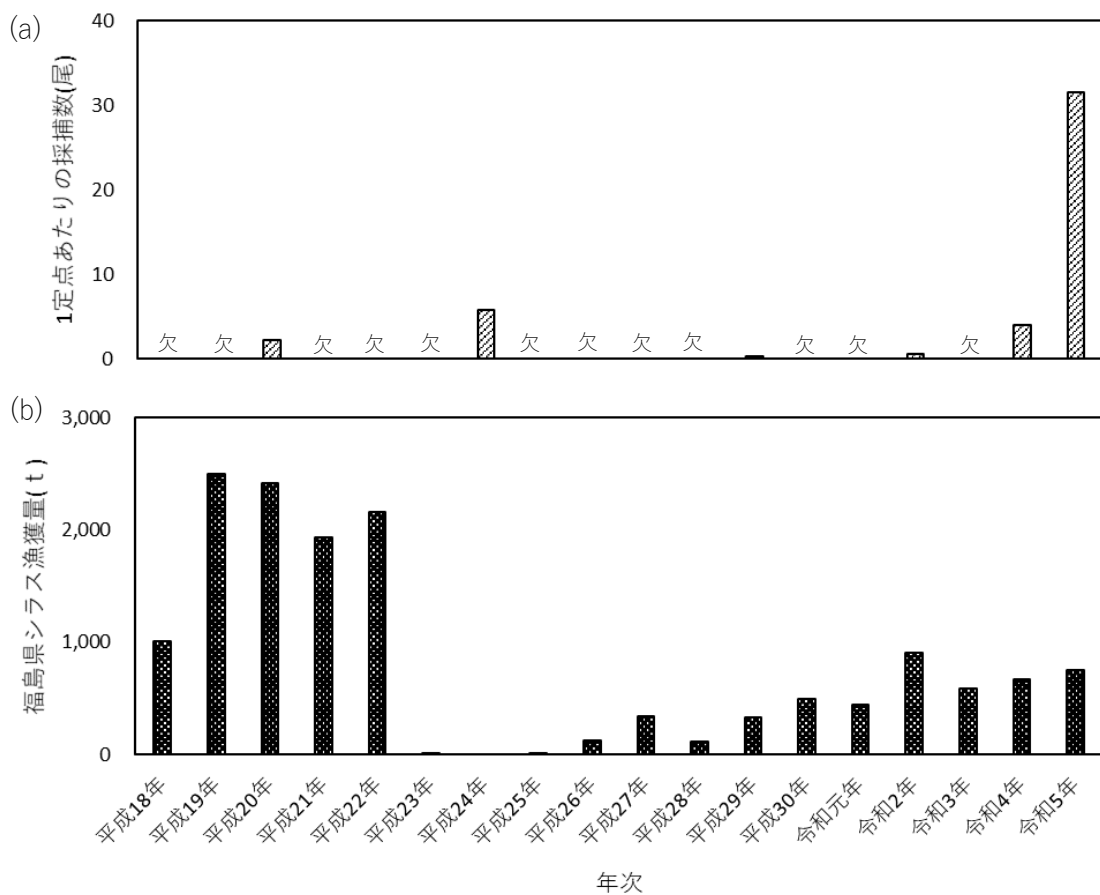
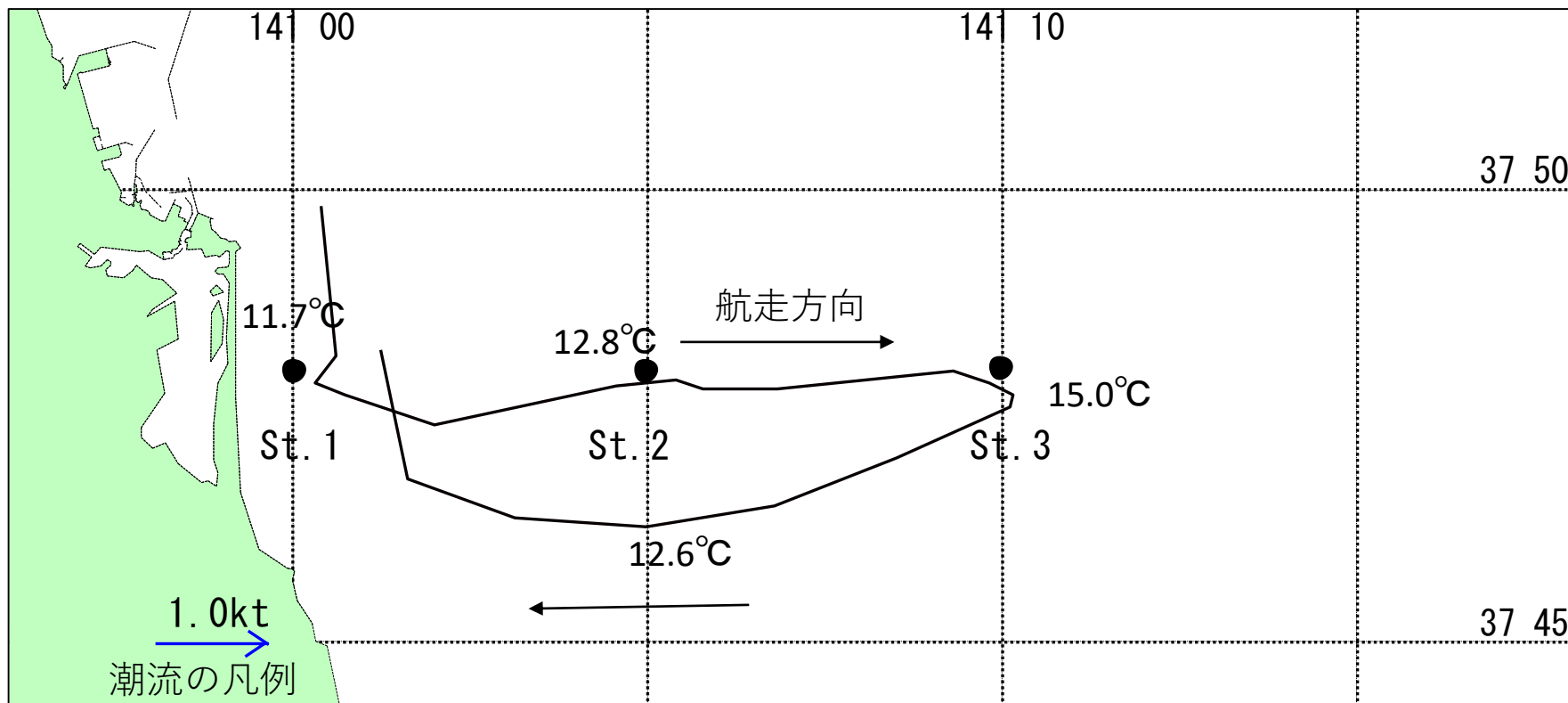


図 3 (a)相馬海域における 12 月の 1 定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量(令和 5 年データ：11 月末現在)

## シラス曳網調査（R5.12.27 福島県水産海洋研究センター）



令和5年12月27日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス曳網調査（St.1～3）を実施しました。

その際の航跡、潮流、表層水温を示します。

**すべての定点で数尾のシラスが採捕されました。**

シラスの全長はSt.1、2では20～30mm程度、St.3では10～30mm程度でした。

（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

なお、高周波に特異的な魚探反応は確認されませんでした。

# 令和 5 年シラス曳網調査結果 (第 16 報)

令和 5 年 12 月 28 日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

12 月 27 日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 31m)、141-10E(水深 38m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

11.7℃～15.1℃

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 6～15 尾 (合計 29 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(12 月 14 日灘側 3 定点、0～82 尾、合計 121 尾)と比較し、減少しました。

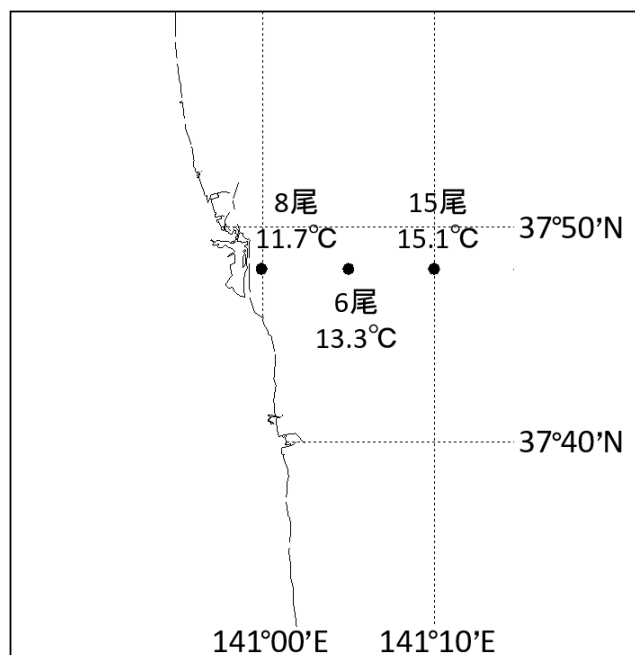


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：13.7～42.9mm

20mm 前後、35mm 前後、40mm 前後のシラスが採捕されました。

141-00E では 30～40mm、141-05E、141-10E では 15～40mm のシラスが採集されました。

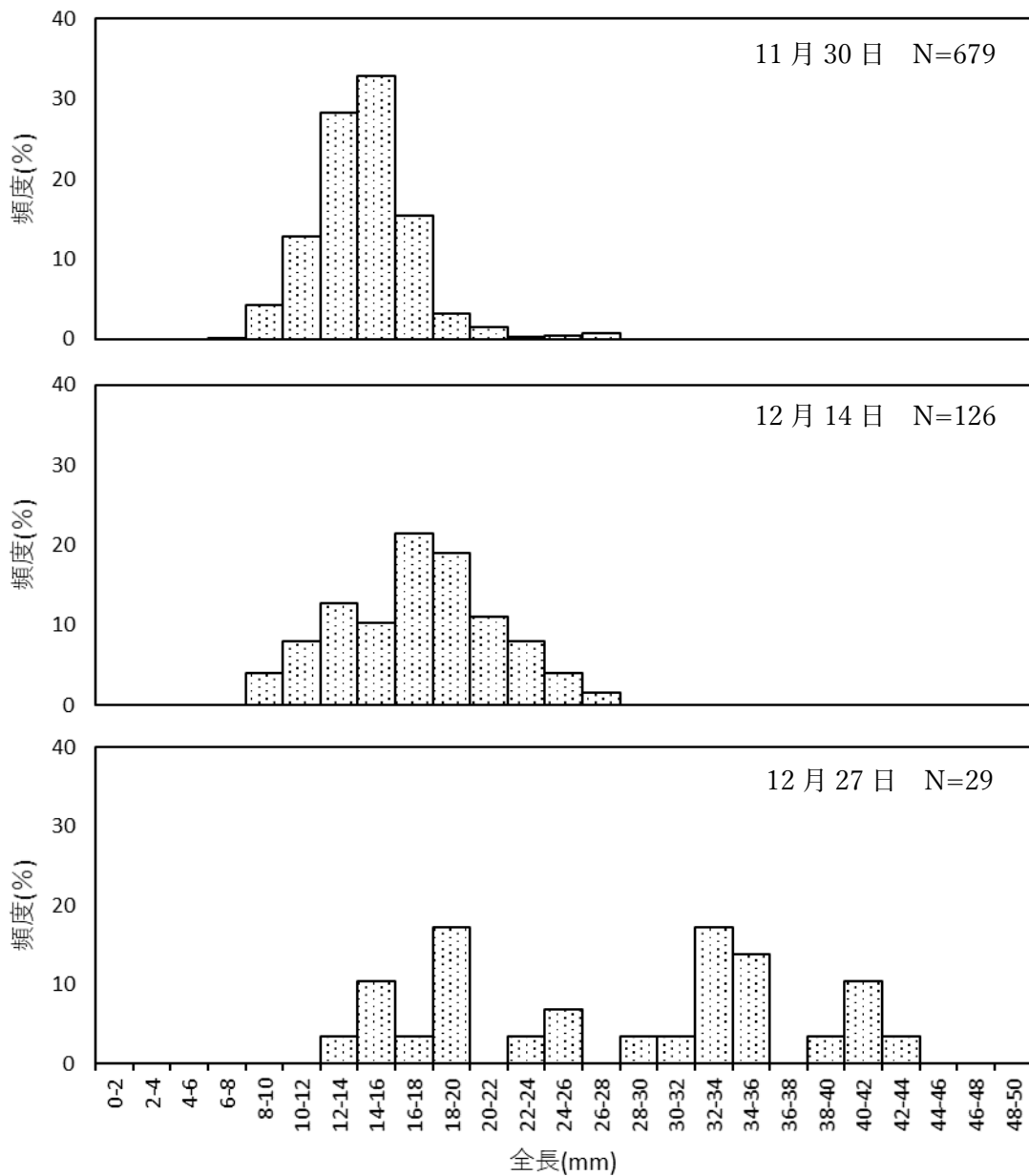


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成



(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 5 年 12 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で最も多い結果となりました (図 3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図 3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

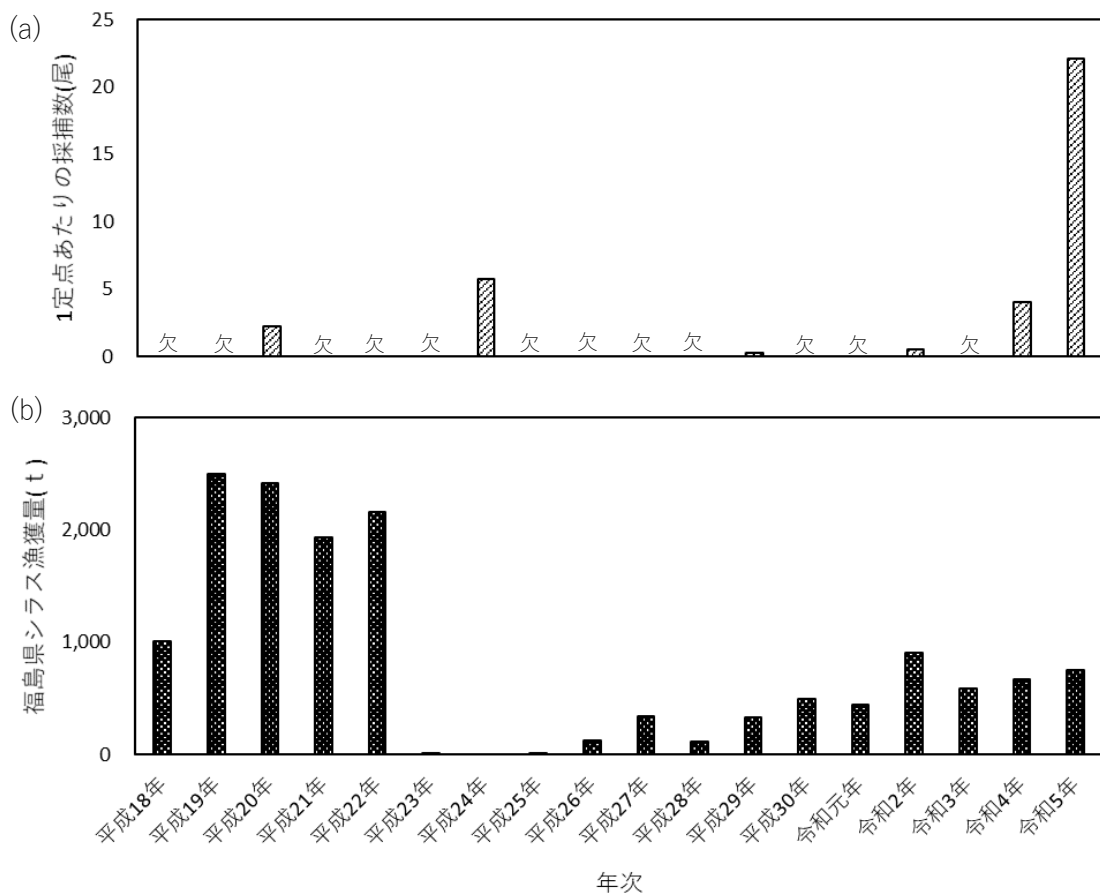


図 3 (a)相馬海域における 12 月の 1 定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量(令和 5 年データ：11 月末現在)